

can-am



OUTLANDER X MRシリーズ

オペレーターズガイド

安全性、使用およびメンテナンスに関する情報が記載されています

NON NON NON 4

⚠ 警告

このオペレーターズガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。

推奨されるオペレーターの最少年齢：16才以上

このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

このOHRVに搭載された蒸発ガス関連部品の取り外しまたは改造は、違法行為となります。

違反した場合、カリフォルニア州法または連邦法によって民事罰または刑罰が科せられる場合があります。

⚠ 警告

運転には危険が伴います。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

安全のため、このオペレーターズガイドおよび車両上のラベルに示されているすべての警告を読み、これらに従ってください。これらの警告に従わない場合、重傷や死亡事故を招くおそれがあります。

このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

⚠ 警告

本オペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

⚠ 警告

この車両は、運転経験のある他の車両の性能を超えている可能性があります。新しい車両に慣れるまで十分に時間をかけてください。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告警告

⚠ 警告

オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があります。これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、

www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

TM®で示される以下の商標は、BRPまたはその関連会社が所有しています。以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社に帰属します。

法域によっては、商標が登録されていない場合があります。

Can-Am®

D.E.S.S.™

DPST™

Outlander™

ROTAX®

TTI™

XPS®

無断複写転載を禁じます。本オペレーターズガイドの内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc.の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2023

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

対象モデル
Outlander 850 X mr
Outlander 1000R X mr

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. およびBRPのその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) または提携機関が行います。

目次

一般的な情報

一般情報	8
乗車前に確認すべきこと	8
安全メッセージ	9
このオペレーターズガイドについて	9

安全情報

一般的な注意	12
一酸化炭素中毒の回避	12
ガソリンによる火事や他の危険の回避	12
高温部分による火傷の回避	12
アクセサリーと改造	12
安全上の特別な警告	14
運転に関する警告	17
路面上での車両	20
走行前点検	40
走行前点検用チェックリスト	40
車両の搭乗	43
ライディングギア	44
同乗者を乗せた運転	44
レクリエーション走行	45
泥地での走行	45
環境	46
設計上の制限	46
オフロードでの運転	46
走行技術	47
荷物の運搬と作業の実施	56
車両を使用した作業	56
荷物の運搬	56
カーゴラックへの搭載	57
貨物のけん引	57
トレーラーの牽引	58
重要な製品ラベル (カナダ/米国)	60
セーフティハングタグ	60
安全ラベル	61
コンプライアンスハングタグ	75
重要な製品ラベル (カナダ/米国以外)	76
安全ラベル	77
安全面での欠陥の報告	88

車両についての情報

基本コントロール	90
ハンドルバー	91
スロットルレバー	91
ブレーキレバー	91
ブレーキロックレバー	91
ブレーキペダル	92
エンジンストップスイッチ	92

RF D.E.S.S.キーおよびポスト	93
二次コントロール	95
スロットルレバーコントロールハウジング	96
シフトレバー	99
多機能スイッチ	100
トリップ/メニュースイッチ (装備されている場合)	102
ウィンチコントロールスイッチ	102
クラクションボタン	102
装備品	103
運転席	103
グローブボックス (装備されている場合)	103
フットペグ	104
泥地走行用のフットレスト	105
12Vの電源ソケット	105
リアストレージコンパートメント	105
カーゴラック	106
ゲージサポート	106
ラジエーターカバー	106
車載工具	107
ウィンチ (装備されている場合)	107
リカバリフック	108
トレーラーヒッチ	108
車両下部保護プレート	109
4.5 インチデジタルディスプレイ	110
多機能表示	110
インジケーターランプ	111
設定	112
7.6 インチデジタルディスプレイ	115
基本機能	115
設定	118
燃料	121
燃料に関する要件	121
車両への給油手順	122
慣らし運転期間	123
慣らし運転中の運転	123
基本手順	124
電子システムの起動	124
エンジンを始動させます	124
エンジンの停止方法	125
パーキングブレーキのかけ方	125
選択したギヤの変更	125
特殊な手順	126
プラグがかぶってしまったとき	126
CVTに浸入した水	126
エアフィルターハウジングへの浸水	126
車両が転覆した場合	127
車両が水没した場合の対処	128
走行に関する調整	129
サスペンション調整 – 工場出荷時の設定	129
ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整 (DPS 装備モデル)	130

車両の持ち上げ.....	132
リフトに関する一般安全情報.....	132
車両全体のリフト.....	132
車両の移送.....	134
車両の力を利用して牽引装置に載せる.....	135
ウィンチを使用して車両を牽引装置上まで引く.....	135
移送時の車両の固定.....	136
トレーラーから車両を降ろす.....	137

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール.....	140
EPA規制 - カナダおよび米国向け車両.....	140
極端な環境下で運転した後のお手入れ.....	140
過酷な粉塵環境.....	141
深い泥地/水場での使用.....	141
メンテナンスのスケジュール.....	142
メンテナンス記録.....	154
メンテナンスの手順.....	163
メッセージのリセット：メンテナンスが必要.....	163
エンジンエアフィルター.....	163
CVTエアフィルター.....	166
エンジンオイル.....	167
エンジンオイルフィルター.....	169
蒸発排ガスシステムフィルター.....	170
燃料ベントブリーザーフィルター.....	171
ラジエーター.....	171
エンジンクーラント.....	172
エキゾーストシステム.....	175
ギアボックス.....	176
スパークプラグ.....	178
CVTカバー.....	179
ドライブベルト.....	180
ドライブおよびドリブンプーリー.....	181
バッテリー.....	181
ヒューズ.....	182
ライト.....	183
ドライブシャフトベローズおよびプロテクター.....	185
ホイールベアリング.....	185
ホイールおよびタイヤ.....	186
ステアリング.....	189
サスペンション.....	189
ブレーキ.....	190
車両のお手入れ.....	192
車両の清掃と保護.....	192
保管、シーズン前の準備.....	194

技術情報

車両識別表示.....	196
車両識別番号.....	196

エンジン識別番号(EIN).....	196
コンプライアンスハングタグ.....	196
適合ラベル.....	198
技術情報ラベル.....	200
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー).....	201
騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国).....	202
騒音放出および振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く).....	203
EC適合宣言書.....	204
UK適合宣言書.....	205
EAC適合宣言書.....	206

技術仕様

技術仕様.....	208
-----------	-----

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン.....	216
エンジンが回らない.....	216
エンジンを回しても始動しない.....	216
エンジンの加速力やパワーが不足している.....	217
エンジンのオーバーヒート.....	218
エンジンバックファイア.....	218
エンジンの失火.....	219
車両が最高速度に達しない.....	219
シフトレバーが動きにくい.....	220
回転数は上昇するが、車両が動かない.....	220
パワーステアリングアシスト機能の低下.....	220
デジタルディスプレイメッセージ.....	221

保証

BRP限定保証 (米国およびカナダ) : 2024 CAN-AM® ATV.....	226
米国EPA排出ガス関連保証.....	229
カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定.....	231
BRP国際限定保証 : 2024 CAN-AM® ATV.....	234
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証 : 2024 CAN-AM® ATV.....	238

顧客情報

データプライバシーについて.....	244
お問い合わせ先.....	246
アジア太平洋.....	246
欧州、中東、アフリカ.....	246
中南米.....	246
北米.....	246
住所と所有権の変更.....	247

一般的な情報

一般情報

新しいCan-Am® ATV車をご購入いただきありがとうございます。本製品は、BRPの限定保証および、お客様が必要とされる部品、アクセサリ、そしてサービスを用意している認定Can-Am Off-Roadディーラーのネットワークによって支えられています。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト(Predelivery Check List)にお客様からご署名を頂いております。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。一般的なサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

乗車前に確認すべきこと

ご自身や同乗者の事故のリスクを減らすために、このオペレーターズガイドを読んでから車両を運転してください。

また、車両に貼付されているすべての警告ラベルを読み、以下のサイトにある安全講習ビデオをご覧ください。

<https://can-am.brp.com/off-road/safety>

または以下のQRコードを使用してください。



この車両はオフロード専用車です。主に一般的なレクリエーションでの使用を意図したものですが、多目的用としても利用できます。

オペレーターズガイドの警告に従わないと、重傷や死亡事故につながる恐れがあります。

推奨年齢

この車両のカテゴリーはSです。必ず推奨年齢に従ってください。

- 16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。

トレーニングコース

適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。トレーニングコースを受講してください。どの運転者もはじめは経験豊富な認定インストラクターからの指導を受ける必要があります。

ATVの安全性に関する詳細および受講可能なトレーニングについては、Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

米国内の場合は米国特殊車両協会 (SVIA) (電話: 1 800 887-2887)、カナダの場合はカナダ安全評議会 (CSC) (電話: 1 613 739-1535) にお問い合わせください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用されているかは以下で説明されています。

安全警告記号 \triangle は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

\triangle 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

\triangle 注意

指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

このオペレーターズガイドは、新しい車両の所有者・運転者に、あらゆる制御、メンテナンス、安全な操作に関する指示を的確に説明するようデザインされています。これは、製品を正しく使用するうえで欠かせないものです。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンスやトラブルシューティングの際、また他の人に指導する際に参照してください。

また本ガイドは各種言語に翻訳されており、内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトアクセスしてください。

www.operatorsguides.brp.com

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および / または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

 **警告**

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

安全情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることがあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ガソリンが体にかかった場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の回避

ブレーキローターや排気用コンポーネントなど、特定のコンポーネントは運転中に高温になります。火傷を防止するために、運転中や運転直後はこれらにコンポーネントに触らないでください。

アクセサリーと改造

BRPが認定したアクセサリーの改造や追加は、車両のハンドリング性能に影響する場合があります。改造が行われた後は安全のため、車両に慣れる時間をとって、運転挙動に適応する方法を理解することが重要です。

BRPによって車両専用に認定されていない装置の取り付けや、許可されていない改造は行わないでください。これらの改造や装置はBRPによってテストされておらず、危険が生じる場合があります。たとえば、

- 操作不能になったり衝突したりするリスクが高まります
- オーバーヒートや短絡が生じ、火災ややけどのリスクが高まります。
- 車両の保護機能に影響します。
- 車両輸送中のトレーラーの挙動に影響します。
- 輸送中に路上で物品が紛失するリスクがあります。

また、その車両の走行が違法になることもあります。

所有する車両に適したアクセサリーについては、最寄りのBRP認定ディーラーにお問い合わせください。

安全上の特別な警告

この車両は玩具のような車両ではなく、運転に危険を伴うものです。

- この車両は、バイクや乗用車などの他の車両とは異なる動きをします。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、重傷または死亡事故につながる可能性があります。

- このオペレーターズガイドと製品に貼付されているすべての警告ラベルをよく読み、記載されている操作手順に従ってください。安全講習ビデオをよく見てから車両を運転してください。
- 必ず推奨年齢に従ってください。16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 使用が認められた適切なサイズのヘルメットや必要とされる他の保護具を着用せずにこの車両に絶対に乗らないでください。詳細は、車両の走行のセクションの保護具を参照してください。
- 必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。日常点検のセクションを参照してください。このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。メンテナンスのセクションを参照してください。
- 1-UPモデルでは、同乗者を収容するために改造したり、ラックを使用して同乗者を運んだりしないでください。
- この車両で同乗者を運ばないでください。同乗者は車両バランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる恐れがあります。
- この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適してしていません。
- この車両を歩道、車道、駐車場、通りなどの舗装面で運転しないでください。
- この車両は、舗装面を走行するように設計されていません。車両を舗装面で短時間だけ使用しなければならぬ場合は、ステアリング、アクセルペダルおよびブレーキの急な操作を避けてください。速度を落としてください。
- この車両は、一般道や高速道路を走行するように設計されていません（大半の場合は違法行為となります）。一般道や高速道路でこの車両を走行すると、他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 疲れているときや病気のと看、薬物やアルコールを使用した後は絶対にこのATVを操作しないでください。これは同乗者にも適用する必要があります（該当する場合）。そのような状態は、状況に対する反応時間や判断力に大きな影響を与え大変危険です。ATVは必ず慎重に運転してください。
- 絶対にワイリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。
- 過剰な速度で運転しないでください。必ず地形、視認性、運転条件、およびご自分の経験に適した速度で走行してください。
- 必ずゆっくり走行し、不慣れた地形上を運転するときは十分注意してください。この車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。
- 極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。そのような類の土地では、特に注意を払ってください。
- 走行技術のセクションで説明されている転回時の正しい手順に必ず従ってください。
- 車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。

- 走行技術のセクションで説明されている登坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を上る前に、地形をよく確認してください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面でのブレーキ操作および降坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を下る前に、地形をよく確認してください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面を横切るときの正しい手順に必ず従ってください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。
- 登坂時にエンストしたり後方に倒れた場合は、必ず正しい手順に従ってください。エンストを避けるには、登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保つようにしてください。登坂時にエンストしたり後方に倒れた場合は、走行技術のセクションで説明されている走行技術に関する手順に従ってください。
- 新しい土地で運転する前に、障害物がないか必ず確認してください。大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。障害物上を運転するときは、走行技術のサブセクションで説明されている正しい手順に必ず従ってください。
- スリップまたは横滑りしているときは十分注意してください。水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップの発生を抑えるために十分に気を付けてください。
- 後進するときは、車両後ろ側に障害物や人がいないことを必ず確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。
- 運転者、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。荷物は均等に載せてしっかり固定してください。速度を下げて、このガイドにある荷物の運搬やトレーラーの牽引に関する指示に従ってください。制動距離を長めに取ってください。
- この車両はジャンプするために設計されたものではありません。ジャンプなどの動きの際に発生する大きな衝撃エネルギーを車両が十分に吸収できないため、そのエネルギーが運転者に伝わると危険なことになります。ウィリーを行うと、車両がひっくり返って自身が下敷きになる可能性があります。ジャンプおよびウィリーの両操作は危険であるため、どのようなときも避ける必要があります。
- 水深が深いまたは水の流れが速い場所では絶対に運転しないでください。水面は、ホイール上面よりも下になければなりません。ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水、沼地または雪から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。
- 制動距離は、天候や地形条件、ブレーキシステムやタイヤの条件、車両速度や姿勢、および牽引物を含む車両の負荷（ただしこれらに限定されません）の影響を受けやすいことを、必ず覚えておいてください。これらの条件に応じて走行を加減するようにしてください。
- 後進する場合、BRPはATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。体が前方に移動してスロットルレバーに体重がかかり、思わぬ加速が生じて制御不能になる場合があります。
- 操作装置類が正常に機能しない場合は、絶対に車両を運転しないでください。

- 必ず適切なタイヤ空気圧を維持してください。タイヤを交換するときは、推奨されているサイズとタイプのタイヤだけを使用してください。タイヤの情報については、このガイドの技術仕様のセクションを参照してください。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度で走行すると負傷する場合があります。安全に運転を継続できる程度のスロットルを開けるようにしてください。統計から、事故や負傷は高速での転回時によく起きていることが示されています。この車両が重いことを忘れないでください。車両が転倒すると、車両重量が重く、運転者が脱出できず、負傷する場合があります。
- アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。BRPが使用を認めたアクセサリーのみを使用してください。
- 運転者、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。荷物は均等に載せてしっかり固定してください。速度を下げ、このマニュアルにある荷物の運搬やトレーラーのけん引に関する指示に従ってください。制動距離を長めに取ってください。

運転に関する警告

下記の警告と様式は米国消費者製品安全委員会によって要求されているものであり、すべてのATVのオペレーターズガイドに掲載する必要があります。

下記の図は参考用です。使用されているモデルは異なる場合があります。

正しい説明を受けずに車両を運転した場合

⚠ 警告



考えられる危険

適切な説明を受けることなくこの車両を運転する。

起こる事象

運転者が各種の状況や地形におけるこの車両の正しい運転方法を知らない場合、事故の危険が非常に高くなります。

危険の回避方法

初心者や経験の浅い運転者はトレーニングコースを受講する必要があります。その後、コースで学んだ技術やオペレーターズガイドに記載されている運転技術を定期的に練習する必要があります。

トレーニングコースに関する詳細は、認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

推奨年齢

⚠ 警告



16才未満
運転禁止
16

V00A1AQ

考えられる危険

この車両の推奨年齢に従わない。

起こる事象

この推奨年齢に従わないと、未成年が重傷を負ったり死亡する可能性があります。

未成年がこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

危険の回避方法

16才未満の人はこの車両を運転しないでください。

同乗者を乗せた運転



1-UPモデルのみ



考えられる危険

この車両で同乗者を運ぶ。

起こる事象

この車両のバランスを取って制御する運転者の能力が大幅に低下します。事故を起こし、自身や同乗者が負傷する可能性があります。

危険の回避方法

絶対に同乗者を運ばないでください。運転者の動きを制限することのない長いシートであっても、同乗者を運ぶために設計されたものではありません。

路面上での車両

⚠ 警告



考えられる危険

舗装面でこの車両を運転する。

起こる事象

タイヤは、オフロード専用として設計されています（舗装路で使用するためのもではありません）。

舗装面はこの車両のハンドリング特性や制御に大きな影響を与え、車両の操作が不能になる場合があります。

危険の回避方法

この車両を歩道、車道、駐車場、通りなどの舗装面で運転しないでください。

公道、一般道、または高速道路での走行

⚠ 警告



考えられる危険

公道、一般道、または高速道路を走行する。

起こる事象

他の車両と衝突する可能性があります。

危険の回避方法

土や砂利がある場合でも、この車両を公道、一般道または高速道路上で絶対に運転しないでください。この車両を公道、一般道、または高速道路で走行することは、多くの州で違法とされています。

保護具未着用での運転

⚠ 警告



考えられる危険

使用が認められたヘルメット、ゴーグルおよび保護具を着用することなくこの車を走行させる。

起こる事象

- 使用が認められたヘルメットを着用せずに走行すると、事故の際に頭部に重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。
- ゴーグルを着用せずに走行すると事故を起こしたり、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。
- 保護具を着用せずに走行すると、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。

危険の回避方法

正しく装着できる認められたヘルメットを着用してください。また、次のものを着用してください：

- 目の保護具（ゴーグルやフェイスシールド）
- 硬質のチンガード
- グローブとブーツ
- 長袖シャツまたはジャケット
- ロングパンツ

薬物やアルコール

⚠ 警告



V00A07Q

考えられる危険

薬を服用したりアルコールを摂取した状態でこの車両を使用する。

起こる事象

判断力に深刻な影響を与える可能性があります。

状況に対する反応がより遅くなる可能性があります。

バランスと認識力に影響を与える可能性があります。

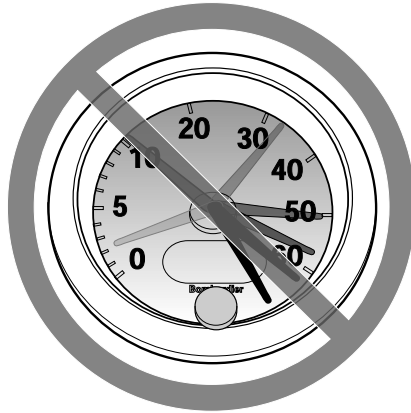
事故を起こしたり死亡する可能性があります。

危険の回避方法

運転者は、薬を服用したりアルコールを摂取したりした状態でこの車両を絶対に使用しないでください。

スピードの出しすぎ

警告



V00A08Q

考えられる危険

過剰な速度でこの車両を運転する。

起こる事象

車両が制御不能になる可能性が高まり、事故を起こすことがあります。

危険の回避方法

必ず地形、視認性、運転条件、および自身の経験に適した速度で走行してください。

ウイリーやジャンプなどのスタント操作

警告



考えられる危険

ウイリーやジャンプなどのスタント操作を行う。

起こる事象

転覆などの事故を起こす可能性が高まります。

危険の回避方法

ウイリーやジャンプなどのスタント操作を絶対に行わないでください。目立とうとする行動はお止めください。

車両の点検

⚠ 警告

考えられる危険

車両の点検を行わずに運転する。

車両を正しく維持しない。

起こる事象

事故を起こしたり装置が損傷する可能性が高まります。

危険の回避方法

走行前に必ず車両を点検し、車両が安全な運転状態にあることを確認してください。

このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。

凍結した水路

⚠ 警告

考えられる危険

凍結した水路上で走行する。

起こる事象

氷の上でブレーキをかけると重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

車両とその荷重、および動く車両によって生じる力を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認するまでは、凍結面上でこの車両を走行させないでください。

車両での適切な姿勢

⚠ 警告



考えられる危険

運転中に運転者が手をハンドルバーから放したり、足をフットレストから放す。

起こる事象

一方の手や足を放すだけでも、車両の制御能力が低下したり、バランスを崩して車両から落下する可能性があります。フットレストから足を放すと、足が後輪に当たり、負傷したり事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

運転者は常に両手でハンドルバーをつかまなければなりません。車両の運転中は、両足をフットレストに乗せる必要があります。

不慣れな地形

⚠ 警告



考えられる危険

不慣れな地形で車両を運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

反応するのに十分な時間がない状態で隠れた岩、隆起部、または穴に出くわすことがあります。

車両が転覆したり操作不能になったりする可能性があります。

危険の回避方法

ゆっくり走行し、不慣れな地形上を運転するときは十分注意してください。

車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ地形では十分に注意してください

⚠ 警告



考えられる危険

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地で運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

トラクションの喪失または車両が制御不能な状態を引き起こす可能性があります。これにより、転覆などの事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。

そのような類の土地では、特に注意を払ってください。

不適切な転回

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な転回。

起こる事象

車両が操作不能となり、衝突や転覆を引き起こす可能性があります。

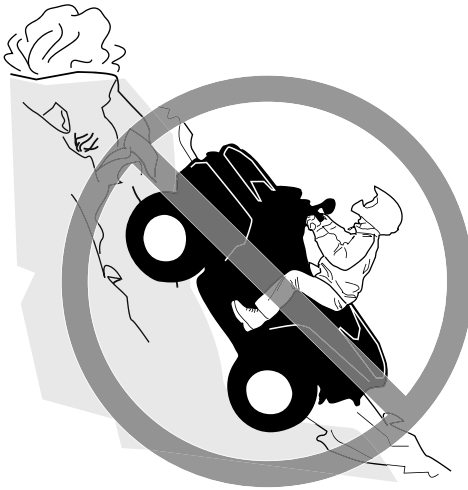
危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の転回手順に必ず従ってください。低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

過剰な速度で転回しないでください。

勾配が急な斜面

警告



考えられる危険
勾配が急な斜面での運転。
起こる事象

勾配が急な斜面では、水平面や軽微な斜面に比べて車両がより簡単に転覆する可能性があります。

危険の回避方法

車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。

軽微な斜面で練習してから急な斜面で運転してください。

登坂走行

⚠ 警告



考えられる危険
不適切な登坂走行。

起こる事象

操作不能になったり車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の登坂手順に必ず従ってください。

斜面を上る前に、必ず地形をよく確認してください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。

体重を前方へ移動してください。

スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

傾斜地の頂上を高速で走り抜けしないでください。斜面の向こう側に障害物や急な落ち込みがあったり、他の車両や人がいる可能性があります。

降坂走行

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な降坂走行。

起こる事象

操作不能になったり車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の降坂手順に必ず従ってください。

注記：

降坂時のブレーキ操作には特殊な技術が必要です。

斜面を下る前に、必ず地形をよく確認してください。

体重を後方へ移動してください。

絶対に高速で斜面を下らないでください。

車両が片側にきつく傾くような傾斜のある斜面を下るのは避けてください。できる限り斜面を真っ直ぐ降りてください。

斜面の横断または斜面での転回

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な斜面の横断または斜面での転回。

起こる事象

操作不能になったり車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

オペレータズガイドに記載されている転回技術を水平面で習得するまでは、斜面で車両の転回を絶対に行わないでください。斜面で転回するときは十分気をつけてください。

可能な場合は、勾配が急な斜面を横切るのを避けてください。

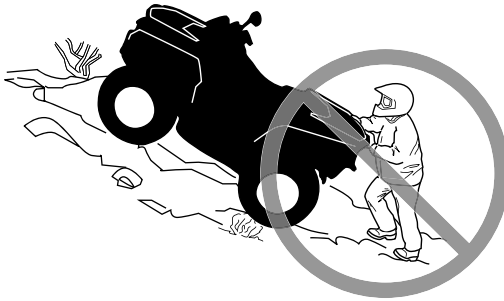
斜面を横切るときは：

このオペレータズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。

登坂中のエンスト、後方への転倒、または降車

⚠ 警告



考えられる危険

登坂中のエンスト、後方への転倒、または不適切な降車。

起こる事象

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保つようにしてください。

前進速度を失った場合：

- 運転者は、体重を斜面の上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。
- ブレーキをかけます。
- 停止したらパーキングブレーキをかけます。
- 斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は、斜面の上側から降車します。

後方に倒れかけている場合：

- 運転者は、体重を斜面の上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。
- 後方にひっくり返ろうとしている間は、絶対にリアブレーキをかけないでください。
- フロントブレーキを徐々にかけます。
- 完全に停止したら、リアブレーキをかけてパーキングブレーキをかけます。
- 斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は、斜面の上側から降車します。
- 車両の周りを回って乗車し、このオペレーターズガイドに記載されている手順に従います。

障害物を乗り越えて走行する

⚠ 警告



考えられる危険

障害物の上を誤った方法で運転する。

起こる事象

操作不能になったり衝突したりする可能性があります。

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

新しい土地で運転する前に、障害物がないか確認してください。

大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。

障害物上を走るときは、このオペレーターズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

横滑りやスライディング

⚠ 警告



考えられる危険

誤った方法でスリップや横滑りをする。

起こる事象

この車両の制御を失う場合があります。

また、突然トラクションが回復して車両が転覆する場合があります。

危険の回避方法

水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。

氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップや横滑りの発生を抑えるために十分に気を付けてください。

水深が深いまたは水の流れが速い場合

⚠ 警告



考えられる危険

水深が深いまたは水の流れが速い場所でこの車両を運転する。

起こる事象

タイヤが浮いてトラクションや制御を失い、事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

水深が深いまたは水の流れが速い場所ではこの車両を絶対に運転しないでください。

水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。水面は、ホイール上面よりも下になければなりません。

ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。

リバースでの運転

⚠ 警告



考えられる危険
誤った方法で後進する。

起こる事象
車両後方の障害物や人にぶつかり、重傷を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法
リバースギヤを選択したときに、車両後方の障害物や人がないことを確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。

タイヤ空気圧

⚠ 警告



考えられる危険
不適切なタイヤを使用して、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転する。

起こる事象
この車両に不適切なタイヤを使用する、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転すると、制御不能になったり、タイヤが破裂したり、タイヤガリムの周りを動いたり、事故の危険が高まる場合があります。

危険の回避方法
オペレーターズガイドの中でこの車両向けに規定されているサイズおよびタイプのタイヤを必ず使用してください。

このオペレーターズガイドに記載されている適切なタイヤ空気圧を必ず維持してください。
損傷しているホイールまたはタイヤは交換してください。

不適切な改造



考えられる危険

不適切な改造をした状態でこの車両を運転する。

起こる事象

この車両にアクセサリーを不適切に取り付けたり、不適切な改造を行うと、ハンドリング性能に変化が生じて場合によっては事故を引き起こすことがあります。

危険の回避方法

アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。この車両に加えられる部品やアクセサリーはすべて、BRPが認めたものでなくてはならず、指示に従って取り付けおよび使用されなければなりません。質問がある場合は、Can-Amディーラーにお問い合わせください。

1-UPモデルに市販の同乗席を取り付けたり、ラックを使用して同乗者を運んだりしないでください。

速度や性能を向上するための車両の改造は、所有する車両の限定保証の条件に違反する場合があります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しは、ほとんどの法律の下で違法となります。

荷物の搭載、運搬、牽引

⚠ 警告



考えられる危険

この車両への過積載、不適切な荷物の運搬または牽引。

起こる事象

車両のハンドリング性能に変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

運転者、他の貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。

荷物は均等に載せてしっかり固定してください。

荷物を運搬したりトレーラーを牽引するときは速度を下げてください。制動距離を長めに取ってください。

オペレーターズガイドに記載されている荷物の運搬またはトレーラーの牽引に関する指示に必ず従ってください。

可燃物または危険物の運搬

⚠ 警告



考えられる危険

可燃物または危険物の運搬で爆発を引き起こす可能性がある。

起こる事象

重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

可燃物または危険物を運搬しないでください。

走行前点検

⚠ 警告

走行前に、必ず走行前点検を実施し、運転中に発生する恐れのある問題を発見します。乗車前の点検により、問題になる前にコンポーネントの摩耗や劣化を確認できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減してください。

この車両を使用する前に、オペレーターは下記の走行前点検用チェックリストを使用して必ず点検を行ってください：

走行前点検用チェックリスト

エンジン始動前にすべきこと（キーはOFFの状態）

点検項目	実施する点検	✓
エンジンオイル	エンジンオイルのレベルを点検します。	
クーラント	クーラントレベルの点検	
ブレーキ液	ブレーキオイルレベルを点検します。	
漏れ:	車両の下に漏れがないか点検します。	
スロットルレバー	スロットルレバーを数回作動させて自由に動くか点検します。レバーを放したときは、レバーがアイドルリング位置に復帰しなければなりません。	
ブレーキロックレバー	ブレーキロックレバーをかけて、正常に機能するか確認します	
エンジンエアフィルター	エンジンエアフィルターを点検し、清掃します。	
CVTエアフィルター	CVTエアフィルターを点検し、清掃します。	
エキゾーストシステム	まだ行われていない場合は、排気システム周辺エリアを清掃します（特に、前回の運転で車両が沼地、湿地、または枯草や落ち葉がある場所で使用された場合）。	
ラジエーター	ラジエーターが汚れていないか点検します。	
シート	後方および上方に数回引いて、運転席が所定位置に正しく固定されたことを確認します。取り付け中に独特のスナップ音が聞こえても、適切にラッチされていることを確認するために、必ずそれを後ろに引き上げてください。	

点検項目	実施する点検	✓
グローブボックス (装備されている 場合)	グローブボックスが所定位置にあって正しく固定されているか点検します。	
タイヤ	タイヤの空気圧と状態を確認します。タイヤ圧と最大荷重ラベルを参照し、積載量に基づいて調整します。	
ホイール	損傷や異常な遊びがないかホイールを点検し、ラグナットが締め付けられていることを確認します。ホイールビードロックを締め付けます (装備されている場合)。トルク仕様については、メンテナンスの手順のセクションのホイールおよびタイヤを参照してください。	
ドライブシャフト ベローズ	ドライブシャフトベローとプロテクターの状態を点検します。	
カーゴ	荷物を運搬する場合は積載量を守ってください。カーゴラックへの搭載を参照してください。 荷物がラックに適切に固定されていることを確認します。	
	トレーラーや他の装置を牽引する場合： <ul style="list-style-type: none"> - ヒッチおよびトレーラーボールの状態を点検します。 - ヒッチに貼付されているラベルに記載の最大垂直荷重および最大牽引荷重を順守してください。技術仕様を参照してください。 - トレーラーがヒッチに正しく固定されていることを確認します。 	
ストレージコンパートメント	リアストレージコンパートメントが正しく固定されているか点検します。	
シャーシおよびサスペンション	車両の下を確認してシャーシやサスペンションコンポーネントに異物の付着がないか点検し、異物を取り除きます。	

エンジン始動前にすべきこと (キーはオンの状態)

点検項目	実施する点検	✓
デジタル表示	(キーをオンにして最初の数秒の間に) デジタルディスプレイのインジケータランプの動作を点検します。	
	デジタルディスプレイ上にメッセージがないか点検します。	

点検項目	実施する点検	✓
ライト	ヘッドライトとテールライトの動作および汚れが付着していないか点検します。	
	ロービームとハイビームの動作を点検します。	
	ブレーキライトの動作を点検します。	
燃料レベル	燃料レベルを確認します。	
Horn (ホーン)	ホーンの機能を確認します (装備されている場合)。	

エンジン始動後にすべきこと

点検項目	実施する点検	✓
ステアリング	ステアリングホイールを左右にいっぱいまで回し、支障なく動作することを確認します。	
シフトレバー	シフトレバー (P、R、N、HおよびL) の動作を点検します。	
2WD/4WDセレクトター	2WD/4WDセレクトターの動作を点検します。	
ブレーキ	ゆっくりと数フィート前進し、ブレーキレバーおよびブレーキペダルを別々に作動します。ブレーキが十分にかかる必要があります。レバーとペダルを放すと、それらが完全に元の位置に戻らなければなりません。	
エンジンストップスイッチ	エンジンストップスイッチが正常に動作するか確認します。	
RF D.E.S.S. ポスト	D.E.S.S. キーをD.E.S.S. ポストから引いてエンジンを停止することで、D.E.S.S. ポストが正常に動作しているか点検します。	

車両の搭乗

この車両を楽しく快適に乗るために、従うべきいくつかの基本的ルールとヒントがあります。これらのルールとヒントは、常識的なものであったりユーザーにとって初めての内容である場合があります。

時間を取って、このオペレーターズガイドおよび製品上のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオ (<https://can-am.brp.com/off-road/safety>) をご覧ください。乗る前にこの車両について知っておくべきことが十分に説明されています。

初心者または経験のある運転者かどうかに関わらず、個人の安全のために、この車両の操作装置と機能について知っておくことが重要です。また、正しい走行方法を知ることも同じように重要です。

本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

このオペレーターズガイドの情報がすべてではありません。地元当局、ATVクラブ、認定ATVトレーニング団体で詳細情報を取得して、トレーニングを受けること、または正規Can-Am Off-Roadディーラーに相談することを強く推奨します。

製品に貼付されている警告ラベルに記載の推奨年齢に従うことを推奨します。ユーザーがこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

認知機能障害や身体的障害を持つ方は、転覆や衝突の危険にさらされることが多く、負傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

どの車両も同じものではありません。各車両は、異なる性能特性、コントロール類、および特徴を備えています。乗り心地と操作性も異なっています。

オフロード条件で走り出す前に、操作装置や車両の一般的な動きを十分熟知してください。危険がなく各操作の応答を感じることができると適切な場所で、運転の練習を行ってください。練習は低速で行います。高速での走行は、十分な経験、知識、および適した走行条件が必要となります。

走行条件は場所ごとに異なります。それぞれの場所は天候条件の影響を受け、時間や季節によって激しく変化する場合があります。

砂地での走行は、雪上や森林、沼地での走行とは異なります。それぞれの場合では、非常に高い認識力とスキルが必要な場合があります。適切な判断を心掛けてください。常に注意を払いながら走行してください。立ち往生したり負傷する可能性のある危険を不用意に負わないようにしてください。

車両はどこでも安全に走行すると思いません。穴、くぼみ、バンク、柔らかいまたは硬い「地面」などの不規則性による突然の地形の変化によって、車両が転倒したり不安定になる場合があります。このような状況を避けるために、速度を下げ必ず前方の地形を確認してください。車両が転倒や横転を始めた場合、倒れる方向とは反対の方向に直ちに降りるのが最善の方法です。

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については、認定Can-Am Off-roadディーラーに相談してください。可能な限り、認定Can-Am Off-roadディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお勧め

します。認定Can-Am Off-roadディーラーを訪ねると、ご自身の車両が安全キャンペーンの対象になっているかどうかを確認できます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定Can-Am Off-roadディーラーにお問い合わせいただくようお願いいたします。

必要とするアクセサリーが入手できるかどうかについては、正規Can-Am Off-roadディーラーにご相談ください。

ライディングギア

実際の天候条件を確かめて、適切な服装を決めてください。予想される最も寒い天候に適した衣服を着用してください。肌の上に防寒用下着を着用すると、断熱性が高くなります。運転者は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、ブーツ、グローブ、長袖のシャツおよび長ズボンなど、適切な保護具と衣服を常に着用することが重要です。このような衣服によって、走行中に遭遇する軽微な危険から保護されます。運転者は、車両に巻き込まれたり、木の枝や背の低い木々に引っ掛かる恐れのある、スカーフなどのだぶついた衣類を着用しないでください。条件によっては、曇り止めゴーグルやサングラスが必要になる場合があります。ゴーグルやサングラスで利用できるさまざまな色のレンズは、地形の違いを見分けるのに役立ちます。サングラスは日中だけ着用してください。



適切な走行用保護具を着用した運転者

同乗者を乗せた運転

この車両は、運転者1人だけを乗せるように設計されています。同乗者を乗せようとして同乗席を取り付けたりラックを使用しないでください。

レクリエーション走行

他の人の権利や限度を考慮してください。他の種類のオフロード用途のために指定されている場所からは離れてください。これには、スノーモービルのトレイル、乗馬コース、スキーのクロスカントリーのコース、マウンテンバイクのトレイルなどがあります。トレイル上に誰もいないと想定しないでください。常にトレイルの右側を維持し、トレイルの片方からもう片方へとジグザグに進まないでください。他のトレイル使用者が前方に現れた場合は、停止するか脇へ寄せる準備をしてください。

地域の4輪バギークラブにご参加ください。このようなクラブでは、地図やアドバイスが提供され、走行できる場所の情報を入手することができます。近隣にクラブがない場合は、クラブの立ち上げにご協力ください。グループでの走行やクラブの活動は楽しいものであり、社会経験が得られます。

他のライダーからの安全離隔距離を保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的状態の判断、および自分自身が周りの人に対して持っている「判断の信用」は、適切な安全離隔距離をより良く判断するための助けとなります。他の原動機付き車両のように、この車両は「急には」止まれません。制動距離を長めに取ってください。2-UPモデルでは、走行時に同乗者がいると車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合があります。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。

走行する前に、どこに行くか、帰る予定時間を誰かに伝えましょう。

走行時間の長さに応じて、補助用のツール、飲食品、および非常用装置を搭載してください。ガソリンやオイルを補給できる場所も確認してください。遭遇しうる状況に対処するための準備を行ってください。

救急箱	モンキーレンチ
携帯電話	ナイフ
摩擦テープ	懐中電灯
ロープ	色付きレンズのゴーグル
予備の照明用バルブ	トレールマップ
付属の車載工具	軽食

泥地での走行

この車両は泥地での走行専用設計されています。ATVをトレイルで走行している場合を除き、低速ギヤを使用する必要があります。

この車両は、粗い地形や極度の条件に対応するように製造されていますが、誤って使用すると、特定のコンポーネントの回復不能な摩耗や故障を引き起こす場合があります。

スロットルを大きく開けて非常に深い泥地を走行しているときに、急にハンドルを切ったりいっぱいまでハンドルを切ったりしないでください。

点検およびメンテナンススケジュールを厳守する必要があります。

環境

この車両の長所の1つは、ほとんどの地域から距離のある、人里離れた場所へと向かえることです。しかし、自然そして他の人の楽しむ権利を常に大切にすることがあります。環境保護指定区域には乗り入れないでください。森林でできる作物や低木の上での走行、木の伐採、フェンスの取り壊し、ホイールのスパイン、地形の破壊はしないでください。「そっと」走るようにしてください。

ごみや異物などがこの車両のエキゾーストやエンジンの他の高温箇所の近くに堆積して着火し、それが乾燥した草に落下した場合、火が発生する可能性があります。ごみや異物が堆積するような湿地帯、湿原、背の高い草がある所での走行は避けてください。これらの場所で走行する場合は、エンジンおよび高温箇所を点検し、ごみや異物を取り除いてください。詳細は、車両のお手入れを参照してください。

野生動物を追いかけることは、多くの地域で違法とされています。野生動物は、原動機付き車両に追いかけられた後に、極度の疲労で命を落とすこともあります。トレイル上で動物に出くわした場合は、車両を停止して、注意しながら静かに見守ってください。これは、人生の中の良い思い出の1つとなるでしょう。

「持ち込んだ物は持ち帰る」というルールを守ってください。ごみを散らかさないでください。許可を得ていない限り、キャンプファイヤーは行わないでください。行う場合は、乾燥した地域から離れた場所でのみ行ってください。トレイル上で自身が生み出す危険が、後日であっても他人や自分自身を負傷させる場合があります。

農地を大切にしてください。私有地を走る前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。穀物、家畜、土地の境界線を大切にしてください。

最後に、小川や湖、川を汚さないでください。車両の排気ガス量が変わるため、エンジンやエキゾーストシステムを改造したり、それらのコンポーネントを取り外したりしないでください。

設計上の制限

車両は同クラスの中でも非常に丈夫なものですが、軽量の車両として定義されており、その運転も特定の目的に制限されています。

車両の一部に荷重を追加すると、重力的安定性や性能に変化が生じます。

オフロードでの運転

オフロードでの運転特性は危険なものです。車両走行のために特に整備されていない地形には、地面を構成する物質、形状、険しさが予測できない内在的な危険が存在します。地形自体が連続する危険な要素を呈しており、この地形を走破しようとするオペレーターは、このことを承知の上で受け入れなければなりません。

車両をオフロードで走らせるオペレーターは、最も安全な経路を選択し目の前の地形から目を離さないよう、常に最大限の注意を払う必要があります。この車両に適用される走行時の指示に十分慣れていない人にこの車両を運転させたり、険しく不安定な地形で運転するのは絶対に止めてください。

走行技術

このガイドの情報がすべてではありません。認定されたトレーニングコースの指示に従い、知識やスキルを向上させてください。

配慮、注意、経験および運転技術は、車両を運転する際の危険に対する最も良い予防策となります。

トレイル上のすべての標識を厳守してください。標識は、自身や他の人を手助けするために設置されています。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーとトラクションが重要になります。視認性や自身の能力に見合わない速い速度での運転はせず、取り得る安全なルートを選択してください。

傾斜、そして岩や切り株などの障害物に突然の変化がないか、目の前の地形を常に確認してください。これらのものにより安定性を損ない、転倒や横転を引き起こす可能性があります。

また、傾斜やバンクの反対側の地形条件を知っておくことも、賢明な考えです。対応や降下が不可能な急激な落ち込みもよくあります。

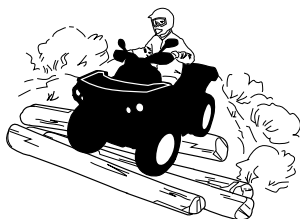
障害物や一部の地形に車両が安全に対処できることにわずかでも疑いがあるときは、必ず別のルートを選択してください。

必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。

乗車姿勢

正常操作を維持するため、両手をハンドルバーに置き、すべての操作装置類に簡単に手が届くようにすることを強く推奨します。これは、フットペグ上の足についても言えることです。足が負傷する可能性を最小限に抑えるため、足は常にフットペグ上に置いてください。つま先を外側に向けたり転回時の補助として足を伸ばしたりしないでください。そのようにすると、足が障害物に当たったりからんだりして、足がホイールに当たる場合があります。

この車両にはサスペンションがあるものの、不快に感じる「連続した凹凸」のような粗い地形条件があつて、背中に振動が伝わり背中を痛める可能性もあります。かがんだ姿勢で「構えたり」走行することも頻繁に求められます。速度を下げ、足を固定して衝撃エネルギーの一部を吸収できるようにしてください。



道路の横断

道路を横断しなければならない場合は、両側をよく見て接近して来る人や車などがいないか確認し、道路の向こう側にある到達位置を決めます。その位置に向

かって真っ直ぐ走行してください。急な針路の変更や急加速はしないでください。横転する状況を引き起こす場合があります。歩道や自転車用レーンは人や自転車用に特別に指定されたものであるため、それらの上を走行しないでください。

旋回

低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

転回中は、一定の速度を維持するか若干加速してください。

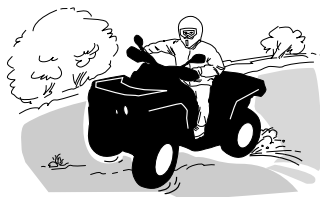
横転のリスクを減らすために：

- 転回時には注意してください。
 - 速度や環境に対してハンドルバーを大きく回しすぎたり、速く回しすぎたりしないでください。状況に応じて操舵操作を調整してください。
 - カーブにさしかかったら速度を下げてください。曲がっているときは、急ブレーキをかけないでください。
 - 曲がっているときは、たとえ停止した状態からであっても急加速しないでください。
- ドーナツターン、スリップ、横滑り、フィッシュテール、ジャンプなどのスタント操作を行わないでください。車両がスリップまたは横滑りし始めた場合は、スリップまたは横滑りの方向に操舵してください。ブレーキを強くかけないでください。ホイールがロックします。
- 舗装面は避けてください。この車両は舗装面を走行するように設計されていないため、舗装面では横転する恐れがあります。舗装面で走行しなければならない場合は、ゆっくり曲がり、低速で進み、急加速や急ブレーキを避けてください。

転回中にステアリング、スロットル、またはブレーキを急に操作しないでください。

⚠ 警告

過剰な速度で転回しようとししないでください。



横滑りやスリップが発生した場合は、再度コントロールが得られるまでハンドルバーを滑っている方向に回すと役に立つ場合があります。急ブレーキをかけてホイールをロックさせないでください。

⚠ 警告

この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適してしていません。また、この車両にはリアディファレンシャルが装備されていません（リアホイールは常時同じスピードで回っています）。そのため、舗装された道は車両のハンドリング性能や制御に大きな影響を与えます。

ブレーキ

ブレーキをかけるときは、必ず両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

ブレーキの練習を行って、ブレーキの応答に慣れるようにします。

- 最初は低速で練習してから、速度を上げていきます。
- 直線のコースでさまざまな速度で走り、さまざまな制動力をかけることで、ブレーキの練習を行います。
- 非常ブレーキの練習を行います。最適なブレーキは、直線コースにおいて、高い力をかけてホイールがロックしない状態のときに得られます。

制動距離は車両速度、負荷、および路面のタイプによって異なることを忘れないでください。また、タイヤおよびブレーキの状態は重要な役割を果たします。

注記：

前進の場合、ブレーキをかけると車重がフロントホイールに移動します。より高い停止効率を得るために、ブレーキシステムはより多くの制動力をフロントホイールに分配します。これは、強くブレーキをかけたときの車両のハンドリング性能や操舵制御に影響します。ブレーキをかけるときはこのことを考慮してください。

後進走行

後進走行の際は、車両後ろ側の経路に人や障害物がないことを確認してください。ゆっくりと進み、急旋回は避けてください。

後進する場合、当社はATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。運転者の体重が前方に移動してスロットルレバーにかかる、不意に加速するおそれがあります。

⚠ 警告

ATVを後退させているときに突然加速すると、操作不能になる恐れがあります。

障害物

「トレイル」上の障害物は、注意して乗り越える必要があります。障害物には、ぐらついた岩、倒木、滑りやすい路面、フェンス、ポスト、盛り土、およびくぼみなどがあります。

可能なかぎり、これらを避けるようにしてください。障害物には、乗り越えるのに大きすぎるまたは危険すぎるため、避けなければならない場合があることを覚えておいてください。

小さな岩や倒木は、それらに対して直角の方向から近づくことで安全に乗り越えることができます。

ひざを曲げた状態でフットレストの上に立つようにしてください。勢いを失わないように速度を調整して、急に加速しないでください。

ハンドルバーをしっかりと握ってください。体重を後方に移動して進んでください。

車両のフロントホイールを地面から浮かせようとしないでください。障害物は滑りやすく、乗り越えているときに移動する可能性があることに気を付けてください。

登坂走行



登坂走行の前に、下記の内容を念頭に置いてください。

登坂走行は、経験のある運転者だけが行ってください。

傾斜の緩やかな場所から発進します。

上り坂に対して真っ直ぐ進み、体重は坂の頂上側に維持します。

足はフットレストの上に置き、ATVを低速ギヤに入れてから加速して、登坂を始めます。

一定の速度を保つよう心掛け、スロットルは控えめにして加速は避けます。

急な傾斜や地形の変化、または1つのホイールが障害物に乗った状態は、車両前方が浮いた状態になるため安定性に大きな影響を与え、転倒する危険が高まります。

また、斜面が急すぎて安全に停止できない、または上るのに失敗した後で回復できない場合もあります。

急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、登坂時に転倒する可能性があります。

斜面が急すぎて進めないまたは車両が後退し始めた場合は、横滑りしないよう注意しながらブレーキをかけ、パーキングブレーキをかけます。左側に降車して「K」ターンを行います（ブレーキレバーに手をかけた状態で車両の横（車

両よりも頂上側)に立ち、後進方向にゆっくり歩きながらハンドルを切って、車両後方が頂上側を向いてから降坂します)。

必ず車両よりも頂上側に降りて、車両に近づきすぎないようにしてハンドルバーを回しながら歩いてください。

転倒し始めた場合は、車両をつかもうとせず離れてください。

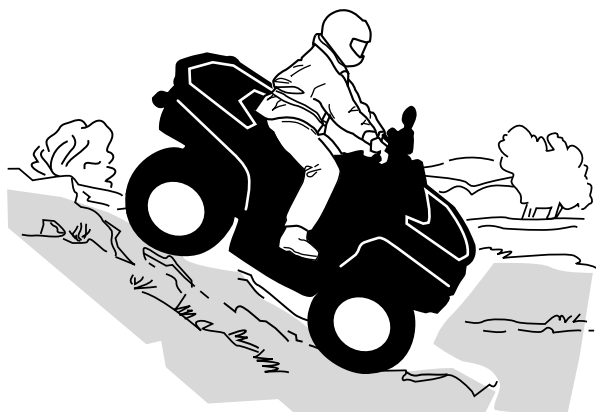
高速で頂上を走り抜けないでください。急な落ち込みや障害物などがある場合があります。

車両の挙動

構成によって、この車両は非常に優れた登坂能力を備えているために、トラクションを失う前に転倒する可能性があります。例えば、坂道の頂上がある程度侵食されて、先端が急激に盛り上がっているという地形状況に遭遇するのはよくあることです。車両はそのような状況にすばやく対応できるものの、動作している間に車両前部が車両のバランスが後方に移るポイントまで達すると、転倒する可能性があります。

搭載している物が原因で車両前部が想定よりも高い位置になると、同じような状況が発生する場合があります。転倒の可能性が発生した場合は、別のルートを通ってください。斜面を横方向に走行する際の危険に注意してください。後述の斜面の横断のセクションを参照してください。

降坂走行



体重を後方に保ち、座った状態を維持します。スリップしないようにブレーキを徐々にかけます。エンジン圧縮の状態またはニュートラルに入れた状態で、斜面を「惰性」で下らないでください。

滑りやすい下り坂に対処しながら下ると、車両が滑り下りるようになります。着実な速度を維持して、若干加速するなどして、コントロールを得るようにしてください。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、降坂時に転倒する可能性があります。

車両の挙動

この車両は、安全に下ることができる斜面よりも急な斜面を上ることができます。そのため、上る前に、斜面を下るための安全な経路があることを確認するのが重要です。

斜面の横断

斜面の横断は、車両バランスが大きく変化することがあるため、最も危険な走行の1つとされています。可能な場合は避けるようにしてください。しかし、斜面を横断する必要がある場合は、必ず体重を斜面の上側に維持し、車両が転倒し始めた場合に降車する体制を整えておくことが重要です。

車両の片側が反対側よりも高い状態で、片側がさらに高くなって横転を引き越すような障害物やくぼみはすべて避けてください。

⚠ 警告

止まろうとしたり、立ち往生している車両を救出しようとししないでください。

⚠ 警告

液体リザーバーを載せて運搬するときは注意してください。リザーバーによって下方向に引かれて横転のリスクが高まり、斜面を横断しているときの車両の安定性に影響を及ぼします。



急な落ち込み

⚠ 警告

急な落ち込みの上での走行は避けて後退し、回避ルートを選択してください。

通常は、フロントまたはリアホイールのいずれかが急な落ち込みの上に差しかかって車両の「底」が当たると、車両は停止します。落ち込みが急で深い場合は、車両が先端から落下したり転倒したりします。

水たまりの横断

水たまりは独特の危険物となり得ます。水たまりが深すぎると、車両が「浮いて」転覆する場合があります。水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。

水面はタイヤよりも下になければなりません。

水たまりおよび水たまりのバンクの双方において、岩、草、丸太などの滑りやすい面に気を付けてください。トラクションを喪失する場合があります。高速の状態の水たまりに入らないでください。水は制動力の役割を果たすため、自身が車両から投げ出されて地面に落下する可能性があります。



水による制動は、車両の制動能力に影響します。車両が水たまり、泥または雪から離れた後は、ブレーキを数回かけて乾燥させてください。制動距離を長めに取りてください。

水たまりの近くでは、泥や沼地に遭遇する場合があります。突然の「穴」や深さの変化に備えてください。同様に、特に植物などに覆われた岩や丸太などの危険物に注意してください。

氷の上での走行

経路に凍結した水路がある場合、自身、車両およびその荷重を含む総重量を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認してください。水がないか特に注意して見張ってください。水は氷の厚さが変化している確かな証拠です。

氷は車両の制御にも影響します。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。アクセルをふかしてもタイヤがスピンするだけであり、車両が転倒する可能性があります。

急ブレーキは避けてください。急ブレーキは、制御不能な横滑りや車両の転倒を引き起こす可能性があります。

急ブレーキは避けてください。急ブレーキによって制御できない横滑りが生じ、車両が転倒したり、同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される可能性があります。

泥は車両の運転や制御を妨げる可能性があるため、どのようなときでも避けてください。

雪で覆われた路面での走行

日常点検を行うときは、雪や氷の場所に特に注意してください。雪や氷が溜まっていると、テールランプやリフレクターの視認性が阻害され、通気口が詰まり、ラジエーターやファンを妨げ、コントロールレバー、スイッチおよびブレーキペダルの動きと干渉する場合があります。ATVを始動する前に、ステアリング、スロットル、ブレーキレバーおよびペダルコントロールの自由な動きが干渉されていないか確認してください。

雪で覆われた走行路上をATVが走るとき、通常はタイヤのグリップが下がり、運転者からの入力操作に対する車両の応答が異なってきます。グリップが低い面では、ステアリングの応答に切れがなく不正確で、制動距離が長くなり加速性も鈍くなります。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。アクセルをふかしてもタイヤがスピンするだけであり、オーバーステア

リングにより車両の横滑りが発生する可能性があります。強いブレーキは避けてください。ブレーキが強いと、車両が真っ直ぐ滑る可能性があります。もう一度言いますが、操作を予測して安全に速度を下げ、スピンして制御を失う前に、時間と距離に余裕を持って車両全体のコントロールを維持するのが最善の方法です。

ATVを緩い雪で覆われた面の上で走行させると、動いている車両の後方乱気流に雪塵が巻き込まれ、むき出しになっているコンポーネント（ブレーキディスクのような可動部品など）に雪が接触、堆積し、溶けるようになります。水、雪、または氷は、ATVのブレーキシステムの応答時間に影響を与える場合があります。車速を下げる必要がないときであっても、ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防止し、ブレーキパッドやディスクを乾燥させてください。そのようにする一方で、リスクが低い走行状態においてグリップレベルのテストを行い、入力操作に対する車両の応答の仕方を理解するようにしてください。ブレーキペダル、フットレスト、フロアボード、ブレーキおよびスロットルレバーに雪や氷が付着していない状態を維持してください。シート、ハンドグリップ、ヘッドライト、テールライトおよびリフレクターの雪を頻繁に拭き落としてください。

積雪によって、岩や木の株などの障害物が隠れることがあります。それらが濡れた状態であれば、車両の身動きが取れなくなったり、ぬかるんだ雪の中で完全にトラクションを失ったりして、走行性能が完全に阻害される場合があります。遠い先を見て、そのような障害物の存在を示している場合がある目視可能な手がかりに、常に注意してください。疑わしい場合は避けるようにしてください。氷がATV、乗員、および積載された荷物を安全に支えられることが確認されるまでは、凍った水路上を走行しないでください。氷がスノーモービルを支えるのに十分な厚さであっても、同じ重量のATVを支えることができない場合がありますので注意してください。これは、スノーモービルのトラックやスキーに比べて、4つのタイヤの場合は荷重がかかる接触面積が小さくなるためです。

快適性を最大限して霜焼けにならないようにするには、走行時の天候に適した衣服やATV乗車時の保護具を必ず着用してください。

運転が終わるたびに車体およびすべての可動部品（ブレーキ、ステアリングコンポーネント、ドライブライン、操作装置類、ラジエーターファンなど）に堆積している雪や氷を除去するのは良い習慣です。水気のある雪は停止している間に氷に戻るため、次の走行前点検のときに取り除くのがより困難になります。

雪の中で走行しているときは、ブレーキによる停止能力が低下する場合があります。安全に速度を下げて、制動距離を長く取ってください。雪が付着していると、ブレーキコンポーネントや操作装置類の上に氷ができたり雪が堆積する場合があります。ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防いでください。

砂地での走行

砂地および砂丘での走行は、独特の走りを味わえるものですが、守るべき基本的な注意事項があります。

濡れた深いまたは細かな砂は、トラクションを喪失させ、車両が横滑りしたり、落ちたり、「身動きがとれない」状態になる恐れがあります。

こうした状況が発生した場合は、硬い土台となるものを探してください。もう一度言いますが、速度を下げて状況に注意を払うことが最善の方法です。

砂丘を走行する際は、車両にアンテナタイプの安全フラグを装備しておくといでしょう。これにより、付近の砂丘にいる他の人から自身の位置がより見えやすくなります。

別の人の安全フラグが目に見える場合は、慎重に走行を続けてください。

アンテナタイプの安全フラグは、自身の体に引っ掛かったり跳ね返ることがあるため、突き出た低い枝や障害物がある場所では使用しないでください。

走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。

緩い石地での走行

緩い石地や砂利上での走行は、氷の上での走行と非常によく似ています。緩い石地や砂利は車両の操舵に影響し、特に高速時に横滑りや転倒を引き起こす（その結果、運転者が投げ出される）可能性があります。

もう一度言いますが、速度を下げて状況に注意を払うことが最善の方法です。

また、制動距離に影響する場合があります。アクセルを「ふかしたり」横滑りを起こしたりすると、緩んだ石を、後方にある他の人の走路に向けて飛ばしてしまうこととなりますので、覚えておいてください。こうしたことを意図的に行わないでください。

荷物の運搬と作業の実施

車両を使用した作業

車両は、除雪や木材の牽引、荷物の運搬に至るさまざまな軽作業を行うのに役立ちます。認定Can-Am Off-roadディーラーでさまざまなアクセサリーを入手することができます。考えられる負傷を防止するため、アクセサリーに付属の説明書や警告に従ってください。車両の最大積載重を必ず守ってください。過積載は車両のコンポーネントに過剰な応力をかけるため、故障を引き起こす可能性があります。重い荷物を引いたり持ち上げたり、または車両を手で押す際、無理をしないようにしてください。

⚠ 警告

車両から離れる前に、取り付けた機器類を必ず地面に下ろしてください。

荷物の運搬

車両に積まれた荷物は、車両のハンドリング性能、安定性、および制動距離に影響します。

運転者、同乗者、荷物およびアクセサリーの重量、ならびにトレーラー垂直荷重を含む車両の許容積載量を超えないでください。技術仕様を参照してください。

貨物が固定され、適切に搭載され、正常操作やライトの邪魔になっていないことを必ず確認してください。

「荷物」が滑ったり落下して事故を起こす可能性があることに注意してください。

荷物を横に突き出して載せるのは避けてください。茂みやその他の障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。

貨物を運搬したりトレーラーを牽引しているときは、地形に合わせて安全に速度を下げます。

制動距離を長めに取ってください。

できるだけ積荷を低くしてリヤラックに固定し、重心が高くなることによる影響を抑えます。

⚠ 警告

ラックに荷物を搭載して車両を使用すると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響します。そのため、正しい積載および重量配分が重要です。絶対に不適切に過負荷、牽引または荷物を積んだりしないでください。車両を運転する前に、荷物がラックに適切に載せられ、安全に固定されていることを必ず確認してください。荷物を運搬したりトレーラーを牽引するときは、地形条件に応じて安全に速度を下げ、傾斜や粗い地形は避けてください。特に、傾斜面上であったり同乗者（2-UPモデルの場合）がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。できるだけ積荷を低くしてラックに固定し、重心が高くなることによる影響を抑えます。ここで示した推奨事項に従わないと、車両のハンドリング性能に変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

最大積載量表		
許容総積載量	189 kg (417 lb)	運転者、荷物およびアクセサリーの重量、 ならびにトレーラー牽引荷重を含む。
リアカーゴエリア	90 kg	均等に搭載された状態 リアラック、リアストレージボックス、リア アグロープボックス (装備されている場合) およびトレーラー垂直荷重を含む。

適切な車両総積載量の例				
車両総積載量	オペレーター	荷物の積載量	アクセサリー	ヒッチ荷重
189 kg (417 lb)	86 kg (190 lb)	70 kg (154 lb)	10 kg	23 kg (51 lb)

カーゴラックへの搭載

荷物はできるだけ低く積んでください - 荷物が高いと車両の重心が高くなり、安定性が低下します。荷物はできるだけラック上に均等に置いてください。

カーゴラックでは荷物を固定してください。車両の他の部分に荷物を固定しないでください。正しく固定されていないと、荷物が滑ったり落下したりして乗員や居合わせた人に当たる可能性があります。また、走行中にずれて、車両のハンドリング性能に影響することもあります。

高い位置にある物はオペレーターの視認性に影響し、事故の際に発射物のような動きをする場合があります。横に突き出した荷物は、茂みや木の枝などの障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。荷物がブレーキライトを覆ったり邪魔したりしないようにしてください。荷物がカーゴラックから突き出ていないこと、および荷物が視界を遮っておらず、車両の操作装置と干渉していないことを確認してください。

注意

カーゴラックの容量を超えないでください。技術仕様を参照してください。

貨物のけん引

貨物をバンパーに取り付けて牽引しないでください。車両の転倒を引き起こす可能性があります。貨物をけん引するには、トレーラーヒッチ (取り付けられている場合) のみを使用してください。

緊急事態の場合、リカバリーフックを使用して立ち往生した車両を正常な状態に戻してください。リカバリーフックのセクションを参照してください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは:

- 発進する前にたるみがなく、けん引中は張力を保つようにしてください。
- ブレーキは徐々にかけるようにしてください。貨物の慣性によって衝撃が発生することがあります。

⚠ 警告

たるみにより、チェーンやケーブルが破断したり反発したりすることがあります。

貨物をけん引するときは、最大けん引荷重を守ってください。トレーラーの牽引のセクションを参照してください。

別の車両をけん引するときは、別の人に被けん引車を運転してもらうようにしてください。被けん引車に乗っている人は、車両のブレーキをかけたり、制御不能にならないようにステアリングホイールを操作する必要があります。

貨物をけん引しているときは速度を下げて、徐々に曲がってください。

斜面や粗い地形を避けてください。

険しい傾斜は避けてください。

特に斜面では制動距離を長めにとってください。

スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーの牽引

注意

トレーラーをけん引するにあたり、BRP 認定のリアヒッチが車両に正しく取り付けられている必要があります。

トレーラーを装備した車両の運転は、特に傾斜のあるスロープにおいて転倒するリスクが非常に高くなります。車両の後ろでトレーラーを使用する場合は、そのヒッチが車両側のヒッチに対応していることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平になっていることを確認します。(一部の場合、車両側ヒッチに専用のエクステンションの取り付けが必要になる場合があります。) セキュリティーチェーンやケーブルを使用して、トレーラーを車両に固定します。

トレーラーをけん引しているときは速度を下げて、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上であったり同乗者(2-UPモデルの場合)がいるときは、制動距離を長めに取ってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーに対して貨物を不適切に搭載すると、制御不能になる可能性があります。

牽引荷重や(ヒッチにかかる)垂直荷重を超えないでください。技術仕様を参照してください。

タンクにいくらかの重量がかかっていることを確認してください。

貨物がトレーラーに安全に固定され、荷重が均等に分散された状態であることを必ず確認してください。均等に分散されてバランスの取れたトレーラーであれば、運転も楽になります。

トレーラーのけん引時は、シフトレバーを必ずL（ローレンジ）にしてください。さらに、トルクを高めにする事で、ローレンジでの運転がリアタイヤへの荷重の増加を補助することになります。

停止または駐車するときは、車両およびトレーラーのホイールをブロックして動かないようにします。

貨物を積載したトレーラーを切り離すときは注意してください。貨物が自分自身や他の人の上に倒れる場合があります。

トレーラーけん引するときは、ヒッチ上のラベルに示されている最大けん引荷重を順守してください。

最大牽引荷重はトレーラー重量を含みます。

⚠ 警告

車両と牽引される車両の間のエリアには近づかないでください。

⚠ 警告

搭載されているまたは牽引されている機械またはトレーラーのオペレーターズガイドに記載の説明を遵守してください。連結された車両-機械、または車両-トレーラーを操作する場合は、必ずすべての説明を遵守してください。

重要な製品ラベル (カナダ/米国)

セーフティハングタグ

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。

S

スポーツモデル

このATVは
十分な経験を持つ運転者が使用する
レクリエーション用車両です。

運転者のみ使用可 - 同乗禁止

16才未満運転禁止

このカテゴリーS(スポーツ)のATVは、オフロード専用の高性能ATVです。この車両は、高い技量と十分な経験を持つ運転者がスポーツタイプのレクリエーションおよび競技で使用するためのものです。


ATVの運転技術を学べるトレーニングコースをご利用いただけます。詳細は最寄りのディーラーにお問い合わせください。

ATVの運転に関する地域の法規制については、最寄りのディーラーにご確認ください。


この品質表示票は、販売前に取り外すことはできません。
704903318

警告


ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。




使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を運ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は絶対に運転しないでください。

- ATVに関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両と衝突する可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

必ず下記のことを行ってください。

- 正しい運転を心掛けて、曲がっているときや坂道や粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。すべての指示および警告に従ってください。

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーターまたはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。

ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

注記：

このオペレーターズガイドの説明と車体の間に何らかの矛盾がある場合、車体の警告ラベルが本書よりも優先されます。

全般的警告ラベル

警告

ATV を正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を運ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は **絶対に運転しないで** ください。

- ATV に関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

次のことを **必ず** 確認してください。

- 必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

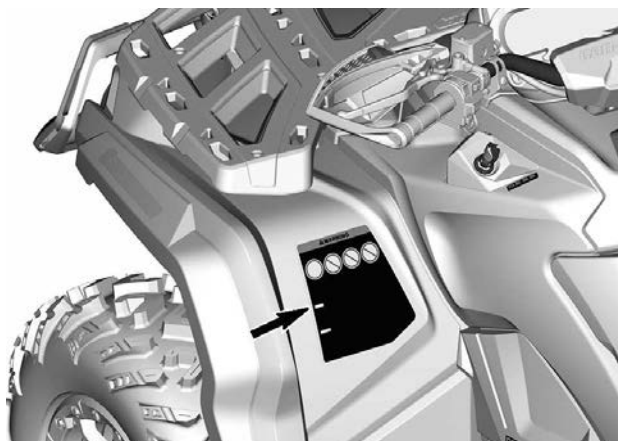
運転する前にすべての警告ラベルを読んで理解し、オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、QR コードリンクを使用するか Can-am ウェブサイトにアクセスして安全講習ビデオをご覧ください。

オペレーターズガイドの場所を確認し、読みます。

すべての指示および警告に従ってください。

特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html

8010_JA



同乗者警告ラベル



同乗者を乗せ **ないで**
ください。

同乗者を乗せると制御不能
となり、重傷や死亡事故を
引き起こす恐れがあります。



704906851_JA



グローブボックスの取り付け – 警告ラベル

X mr 1000R

▲ 警告

重傷を負う危険を減らすため、車両を使用する前に必ず

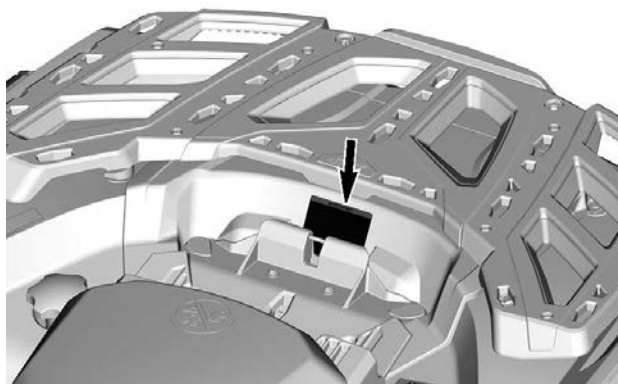
- この位置にグローブボックスを取り付けてください。
- グローブボックスがこの位置にロックされていることを確認してください。

グローブボックスの取り付け方法

- グローブボックスカバーを開き、ハンドルをロック解除位置に回します。
- グローブボックスのラッチングシステムをこの車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。
- ハンドルをロック位置に回します。
- カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。



704906855



タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

⚠ 警告

不適切なタイヤ圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

表示されている適切なタイヤ圧を維持してください。貨物を積載するときは最大圧まで膨張させてください。

タイヤ空気圧を最低圧力未満にしないください。タイヤがリムから外れる原因となります。

運転者、貨物、アクセサリ、およびトレーラーの垂直荷重を含む車両の積載量(189 kg)を超えないでください。

ATVへの積載およびトレーラーのけん引

- ・貨物の積載やトレーラーのけん引は安定性やハンドリングに影響します。貨物はラックに均等に載せてください。
- ・貨物を載せたリトレーラーをけん引するときは
 - 速度を下げてください。
 - 十分な停止距離を確保してください。

積載量	冷間時のタイヤ空気圧
最大 189 kg	フロント
	最大: 48.3 kPa
	最小: 41.4 kPa
	リア
	最大: 48.3 kPa
	最小: 41.4 kPa



704906848



最大ラック荷重 - 警告ラベル

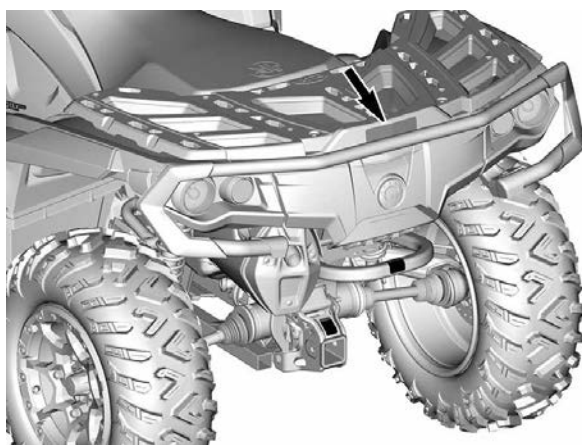


警告

- ・絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- ・リア側最大積載量：均等に載せた状態で
90 kg。
(トレーラーの垂直荷重 (該当する場合) を含む)



704906857



推奨年齢 - 警告ラベル



公道での使用禁止 - 警告ラベル

⚠ 警告

この車両は全地形対応車であり、公道での使用
を意図したものではありません。 704905680_JA

⚠ WARNING

This vehicle is an all terrain vehicle and is
not intended for use on public
roads.



車両性能 - 警告ラベル

 **警告**

このATVについてよく理解してください。この車両は、これまで運転経験がある他のATVの性能を上回っている場合があります。

本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

704905707_JA



シフト手順 - 注意ラベル

通知

- 必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。
- 必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。

704905695_JA



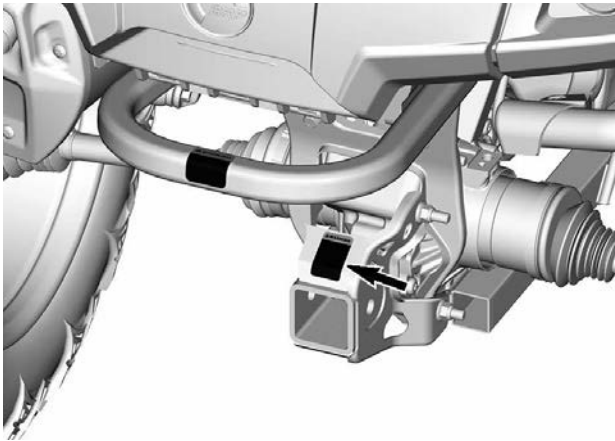
牽引およびヒッチ荷重 - 警告ラベル

警告

トレーラーに対して貨物を適切に搭載しないと制御不能となり、重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

- 最大けん引荷重（ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時）：
750 kg
- 最大垂直荷重（ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時）：
75 kg

7406_JA



ラックを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

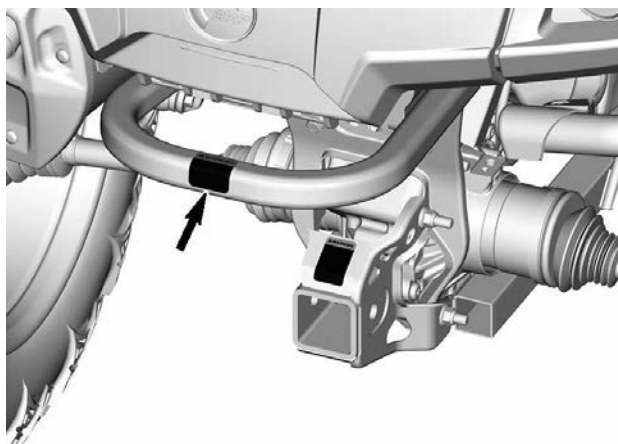
警告

この位置やラゲージラックに取り付けて貨物をけん引しようとししないでください。

車両が転倒する恐れがあります。

貨物を牽引するには、必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用してください。

704905698_JA



クーラント高温 - 警告ラベル

⚠ 警告

高温時は開けないでください。



やけど注意 - 警告ラベル



コンプライアンスハンガタグ

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ **警告:** オフロード車両の操作や保守、メン
テナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタ
ラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける
可能性があり、これらはカリフォルニア州法で発
がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原
因となることが知られています。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要
時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性
のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着
用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳しい情報は

[www.P65Warnings.ca.gov/
products/passenger-vehicle](http://www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle)
を参照してください。



704906872_JA

重要な製品ラベル (カナダ/米国以外)

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、ドライバー、同乗者またはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

以下のラベルは車両に付いており、車両の一部として扱ってください。ラベルは、常にきれいな状態で見えるようにしておく必要があります。紛失または損傷している場合は、交換する必要があります。警告ラベルは無償でご利用いただけます。認定Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

警告ラベルがある部品を交換する際、交換用部品に警告ラベルが取り付けられていない場合は、該当の警告ラベル (無償) を注文してください。

注記：

このガイドおよび車体)にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーターまたはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

これらのラベルは、オペレーター、同乗者 (2-UP) または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。

ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

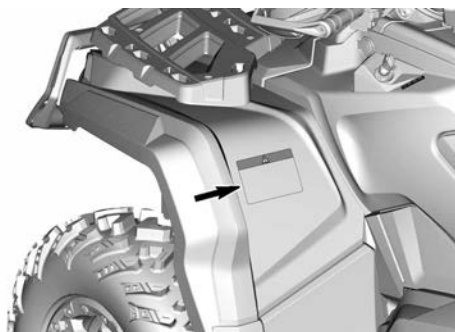
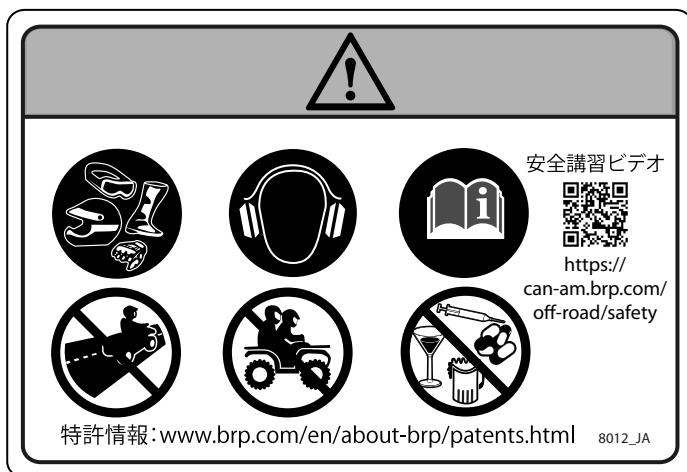
注記：

このオペレーターズガイドの説明と車体の間に何らかの矛盾がある場合、車体の警告ラベルが本書よりも優先されます。

一般警告ラベル

⚠ 警告

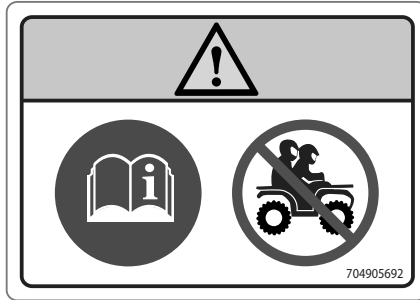
- ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。すべての指示および警告に従ってください。
- 必ず認定されたヘルメットおよび保護具を着用してください。
- 必ずゴーグルを着用してください。
- オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、安全講習ビデオをご覧ください。
- 絶対に公道で使用しないでください。
- 1-UPモデルで同乗者を絶対に運ばないでください。
- 薬物やアルコールを採取した場合は、決して乗船しないでください。



同乗者警告ラベル

⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、安全講習ビデオをご覧ください。ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。
- 1-UPモデルで同乗者を絶対に運ばないでください。



タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、安全講習ビデオをご覧ください。ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。
- 表示されている適切なタイヤ空気圧を維持してください。不適切なタイヤ空気圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。
- 運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーのヒッチ荷重を含め、積載量が189 kg (417 lb) を超えないようにしてください。
- 必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用して貨物を牽引してください。
- 絶対に最大牽引重量750 kg (1,654 lb) を超えないようにしてください。
- 最大垂直荷重75 kg (165 lb) を超えないようにしてください。



最大:48.3 kPa 最大:48.3 kPa

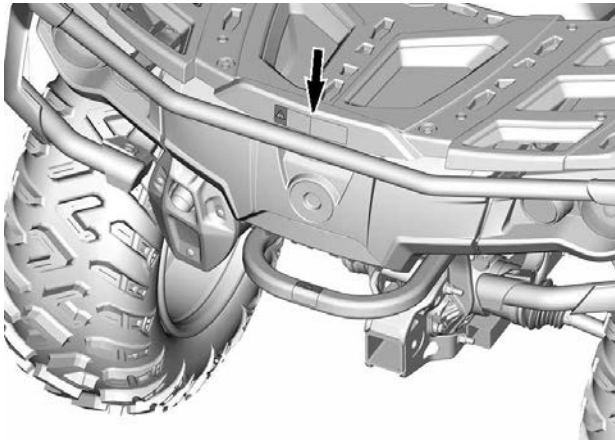
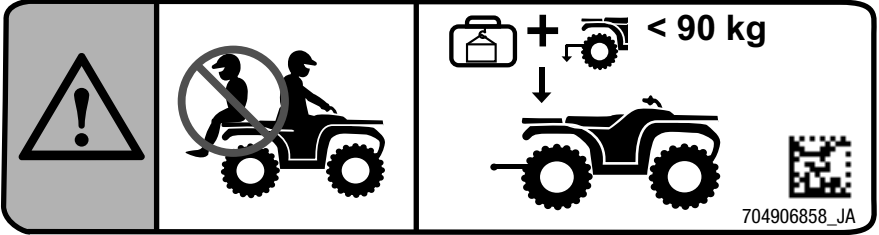
最小:41.4 kPa 最小:41.4 kPa



最大ラック荷重 — 警告ラベル

⚠ 警告

- 絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- リア側最大積載量：均等に分散させた状態で90 kg (200 lb) (該当の場合は、トレーラーのヒッチ荷重を含む。)



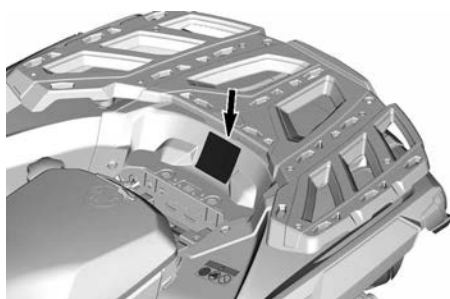
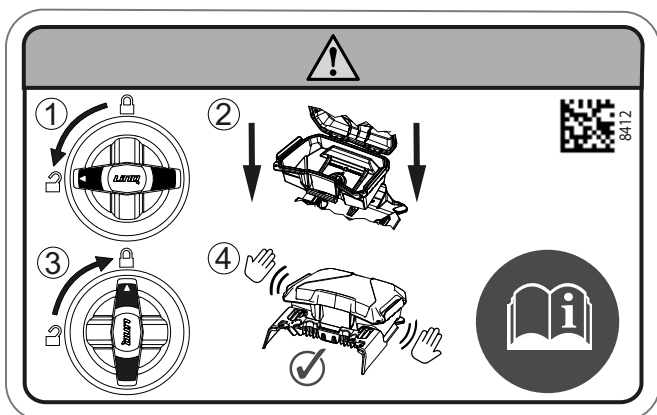
グローブボックスの取り付け - 警告ラベル

1000Rモデルのみ

⚠ 警告

1. グローブボックスカバーを開き、ラッチをロック解除位置に回します。
2. グローブボックスのラッチングシステムを車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。
3. ラッチをロック位置に回します。
4. カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。

オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、安全講習ビデオをご覧ください。ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。

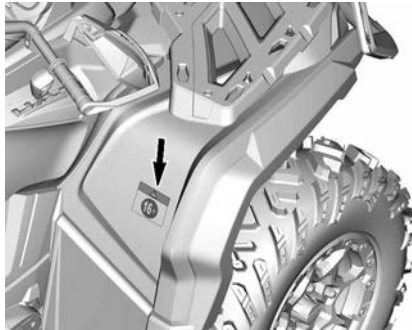
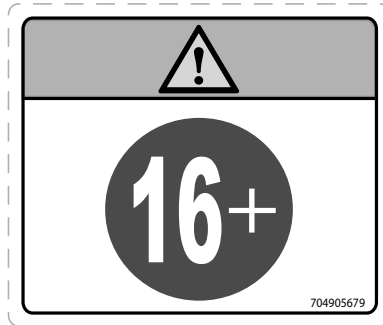


推奨年齢 - 警告ラベル

⚠ 警告

16才未満の人がこのATVを運転すると、運転者 (2-UPモデルの場合は運転者および同乗者の双方) が重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。

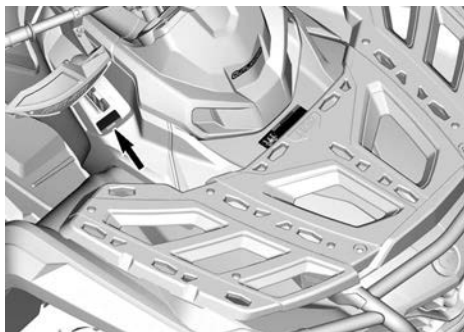
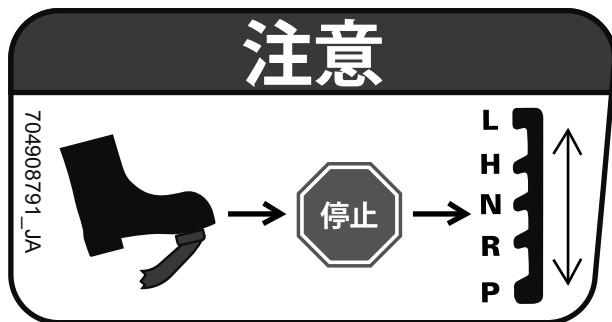
16才未満の場合は絶対にこのATVを運転しないでください。



シフト手順 - 注意ラベル

注意

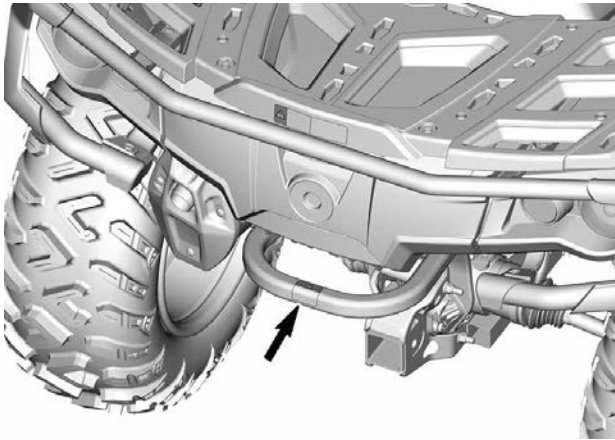
必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。



ラックまたはバンパーを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

⚠ 警告

バンパーやラゲージラックに取り付けて貨物を牽引しようとししないでください。車両が転倒する可能性があります。
貨物を牽引するには、必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用してください。



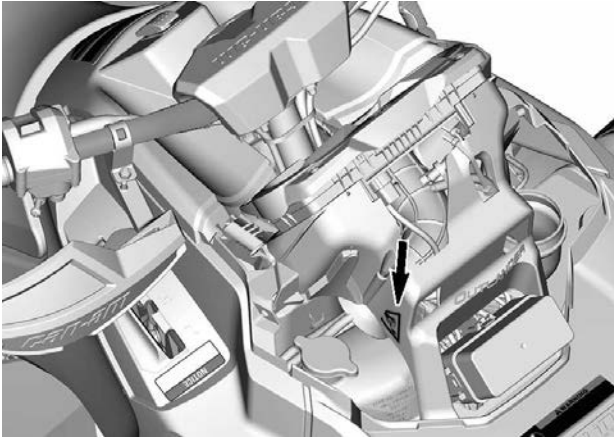
クーラント高温 - 警告ラベル

⚠ 警告

高温時は開けないでください。



やけど注意 - 警告ラベル



安全面での欠陥の報告

カナダでは、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちにカナダ運輸省 (Transport Canada) およびBombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

カナダ運輸省は他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。ただし、カナダ運輸省はあなたと、あなたのディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

カナダ運輸省窓口：



819-994-3328 (ガティノー-オタワ地域または国際電話)
無料電話：1 800-333-0510 (カナダ)



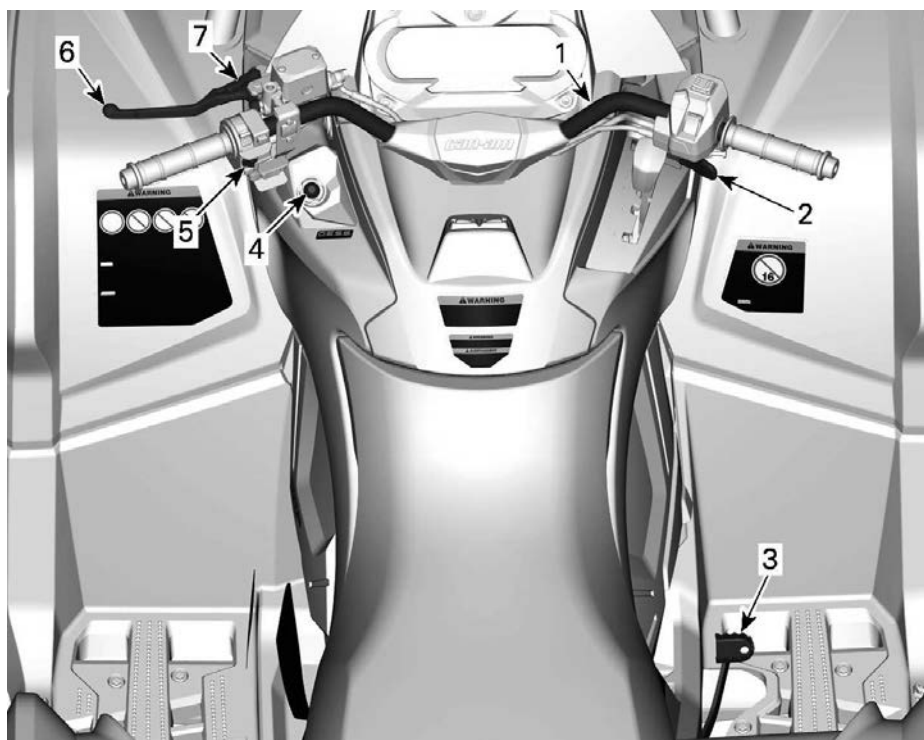
Transport Canada - ASFAD
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/recalls>

車両についての情報

基本コントロール



1. ハンドルバー
2. スロットルレバー
3. ブレーキペダル
4. R.F.D.E.S.S.ポスト
5. エンジンストップスイッチ
6. ブレーキレバー
7. ブレーキロックレバー

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

ハンドルバー

ハンドルバーは車両の操舵を制御します。

ハンドルバーが右または左に回転するとき、フロントホイールがその方向を向いて車両を操舵します。

⚠ 警告

高速で後退しながら旋回すると、安全と制御の喪失につながる恐れがあります。

スロットルレバー

スロットルレバーはハンドルバーの右側に設けられています。

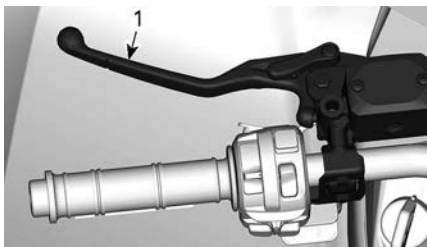
スロットルレバーはエンジン回転数を制御します。

車両速度を上げるか維持するには、右親指でスロットルレバーを押します。

車両速度を下げるにはスロットルレバーを放します。

ブレーキレバー

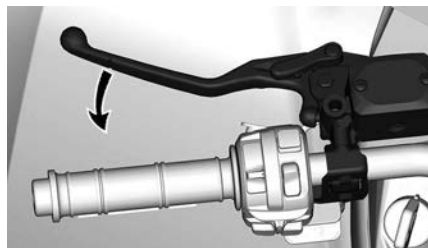
ブレーキレバーはハンドルバーの左側に設けられています。



1. ブレーキレバー

ブレーキレバーの機能は、速度を下げたり車両を停止することです。

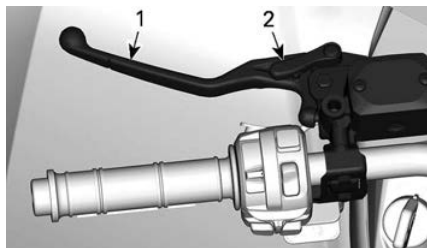
ブレーキレバーを握ると、フロントおよびリアブレーキがかかります。



ブレーキの効果はレバーを握る力に比例します。

ブレーキロックレバー

ロックレバーは、ハンドルバーの左側にあります。



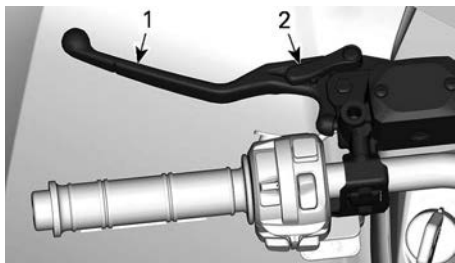
1. ブレーキレバー
2. ブレーキロックレバー

車両を駐車するときは、必ずブレーキロックをかけます。

⚠ 警告

車両を操作しないときは、必ずブレーキロックを使用し、かつシフトレバーをパーキングに入れてください。

ブレーキロックレバーをかけるには、以下のようにします。



1. ブレーキレバー
2. ブレーキロックレバー

注記：
ブレーキロックレバーは複数の位置にセットすることができます。

注意

ブレーキロックをかける場合は、車両が確実に停止していることを確認してください。

ブレーキロックレバーは、ブレーキレバーを握るだけで解除できます。ブレーキレバーは静止位置に戻らなければなりません。

警告

車両を走行させる前に、ブレーキロックが解除されていることを確認します。走行中ブレーキロックがONになっていると、ブレーキシステムが損傷し、制動力の喪失や火災が生じる恐れがあります。

ブレーキペダル

ブレーキペダルは右側フットレストにあります。



1. ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏むとリアブレーキがかかります。

放すと、ブレーキペダルは元の位置にもどらなくてはなりません。

ブレーキの効果はペダルに加える力に比例します。

注記：
4WDになっているときは、ブレーキもドライブトレインを通じてフロントホイールに影響を与えます。

ブレーキレバーシステムが故障した場合は、ブレーキペダルを踏むことでリアブレーキを使用できます。

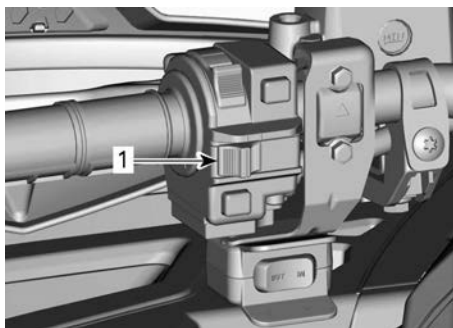
エンジンストップスイッチ

このスイッチは、エンジン停止用および非常操作用として使用できます。

エンジンを停止するには、スロットルレバーを完全に放し、エンジンストップスイッチを停止位置にします。

イグニッションキーをOFF位置に回す、またはD.E.S.S.キーを引き抜くことで、エンジンを停止させることができますが、エンジンストップスイッチを停止位置に回すことでエンジンを停止させることを推奨します。

エンジンストップスイッチは、多機能スイッチの中央にあります。



1. エンジンストップスイッチ

RF D.E.S.S.キーおよびポスト

D.E.S.S.キー

これらのキーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

D.E.S.S. システムは、キーコードを読み取り、キーを認識できる場合だけエンジンの始動を許可します。

この車両は、2種類のキープログラムを使って操作できます。

- ノーマル
- パフォーマンス

概要については、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両には、パフォーマンスキーが1本付属しています。

注記：

必要に応じて、予備のキーをディーラーからご購入いただけます。

⚠ 警告

パフォーマンスキーまたはノーマルキーを使用すると、重傷や死亡事故につながる横転、転倒、衝突、および制御不能な状態を引き起こす可能性があります。通常のキーの使用が、オペレーターの準備や要件の満足、慎重な運転の代わりになることはありません。

パフォーマンスキー

パフォーマンスキーにより、ユーザーはエンジンの最大トルクや車両の最高速度を発揮できるようになります。

このキーは、きびきびしたスロットルレスポンスを好む運転者にとって、または高速や急加速が適した環境において役立つ場合があります。

例えば、広く開かれた直線のトレイルでは、運転者がパフォーマンスキーを好む場合があります。

ノーマルキー

ノーマルキーの場合は車両の加速度が制限され、車両速度は70 km/h (43 MPH) に制限されます。

⚠ 警告

急な下り坂では、エンジン回転数リミッターがあっても、この速度の超過を防止できない場合があります。

このキーは、徐々に加速することを好むオペレーターや、最高速度や急加速が望まれない環境にいるオペレーターにとって有用となる場合があります。

たとえば、細くてカーブの多いトレイルでは、オペレーターがノーマルキーを好む場合があります。

D.E.S.S.柔軟性

認定 Can-Am Off-Roadディーラーは、車両のD.E.S.S.を、最多8個の異なるキーを受け付けるように設定できます。

2個以上のD.E.S.S.を装備するCan-Am車両を所有している場合、認定Can-Amディーラーは、そのそれぞれが他の車両のD.E.S.S.キーを受け付けるように設定できます。

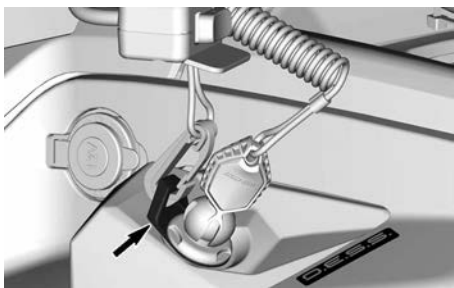
D.E.S.S.キーランヤード

⚠ 警告

ランヤードを自身に直接取り付け
ないでください。

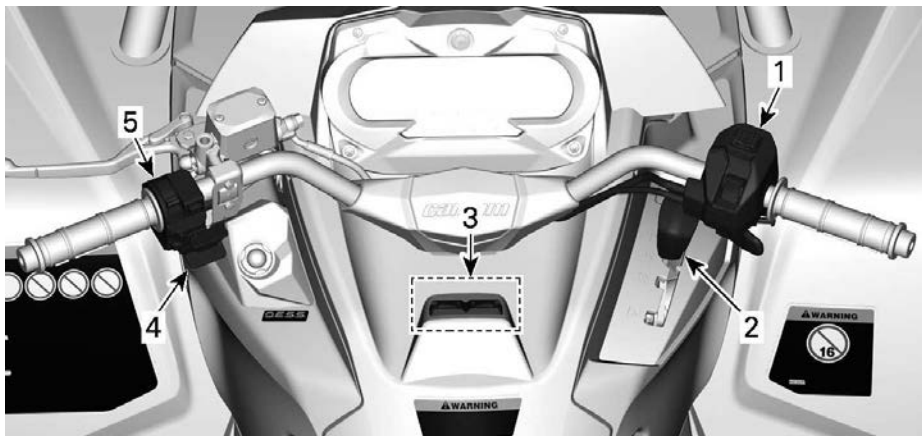
この車両には、転倒時にキーの紛失を防止するために、D.E.S.S. キーランヤードが装備されています。

このランヤードは、D.E.S.S.ポストの下部にある専用のフックに必ず取り付けてください。



二次コントロール

機能の一部はご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



1. スロットルレバーコントロールハウジング
2. シフターレバー
3. トリップおよびメニュースイッチ
4. ウィンチスイッチ
5. 多機能スイッチ

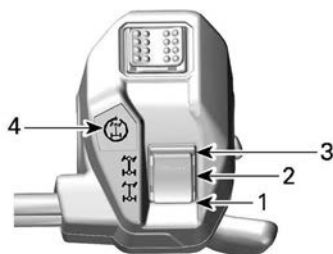
操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

スロットルレバーコントロールハウジング

電子スロットル制御 (ETC)



1. 2WD位置
2. 4WD位置
3. 4WDLock位置
4. 4WDLock表示

トラクションモードの変更

2WDまたは4WDモードにする前に

1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

注意

車両が動いているときに2WD/4WDセレクターを使用すると、フロントディファレンシャルが損傷する場合があります。

4WDLockモード搭載モデル

4WDLockモードの作動または解除方法

1. 4WDモードが選択されていることを確認します。
2. 速度を30 km/h (20 MPH) 未満に下げます。
3. スロットルを放します。
4. セレクターを上方向いっぱいに一瞬押します。
5. 4WDLockモードを解除するには、セレクターを上方向にもう一度押します。

4WDLockを作動させると、スロットルレバーコントロールハウジングの表示とデジタルディスプレイ上のアイコンが点灯し、ブザーが鳴ります。

注記:

表示が点滅してから点灯に変わった場合、リクエストが拒否されています。速度を30 km/h (20 MPH) 未満に下げ、スロットルを放してからもう一度お試しください。

2WDモード

このモードでは、エンジンの出力がリアホイールだけに伝達されます。

2WDモードにするには、セレクターを押し下げます。



4WDモード

エンジンの出力は、フロントおよびリア両方のホイールに均等に配分されます。

フロントホイール間での伝達は、Visco-Lokシステムを用いてトラクションに合わせて行われます。

4WDモードにするには、中央にあるセレクターを動かします。



4WDLockモード

⚠ 警告

急な方向転換は、制御不能な状態に陥ったり負傷したりする原因になります。
カーブに入る前またはカーブを走行しているときは、絶対に4WDLockモードにしないでください。
4WDLockモードになると、車両挙動が変わります。
回転半径も増加します。

このモードは、フロントディファレンシャルをロックしてトラクションを高め、一定の状況（車両がぬかるみや軟質の土壌で立ち往生しているなど）から車両を脱出させるために設けられたものです。

エンジンの出力は、4つのホイールに均等に配分されます。

4WDLockモードでは、スピードリミッターにより車速が40 km/h（25 MPH）に制限されます。このリミッターの解除方法についての詳細は、多機能スイッチのセクションを参照してください。

走行モードセレクター



1. ドライビングモードセレクター

走行モードセレクターは、スロットルレバーコントロールハウジング上部にあります。

次の2つのモードを選択できます。

- ECOまたはワーク
- スポーツ

選択されたモードは、ゲージのモード表示部に表示されます。

また、スポーツモードが作動したときはブザーが鳴ります。

ECOまたはワークモード

ECOまたはワークモードでは、スムーズなスロットルレスポンスが得られ、最高速度が70 km/h（43 MPH）に制限されます。

ECOまたはワークモードにするには、セレクターを左に動かします。

右側に動かすと機能が停止します。

スポーツモード

スポーツモードでは、きびきびとしたスロットルレスポンスが得られます。

このモードはどの種類のキーでも作動させることができ、使用されたキーで最大のパワーを発揮します。

スポーツモードにするには、セレクターを右に動かします。

左側に動かすと機能が停止します。

注記： 850、1000および1000Rモデルでは、デジタルディスプレイの電源を完全にオフにすると、スポーツモードが自動的に解除されます。

走行モードセレクター



1. ドライビングモードセレクター

走行モードセレクターは、スロットルレバーコントロールハウジング上部にあります。

次の2つのモードを選択できます。

- ECOまたはワーク
- スポーツ

選択されたモードは、ゲージのモード表示部に表示されます。

また、スポーツモードが作動したときはブザーが鳴ります。

ECOまたはワークモード

ECOまたはワークモードでは、スムーズなスロットルレスポンスが得られ、最高速度が70 km/h (43 MPH) に制限されます。

ECOまたはワークモードにするには、セレクターを左に動かします。

右側に動かすと機能が停止します。

スポーツモード

スポーツモードでは、きびきびとしたスロットルレスポンスが得られます。

このモードはどの種類のキーでも作動させることができ、使用されたキーで最大のパワーを発揮します。

スポーツモードにするには、セレクターを右に動かします。

左側に動かすと機能が停止します。

注記： 850、1000および1000Rモデルでは、デジタルディスプレイの電源を完全にオフにすると、スポーツモードが自動的に解除されます。

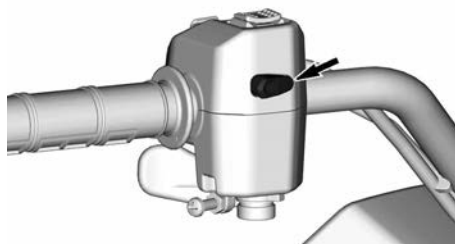
インテリジェントエンジンブレーキ (iEB) モードセレクター (装備されている場合)

インテリジェントエンジンブレーキ (iEB) により、ユーザーは、走行前または走行中にエンジンブレーキのレベルを調整できます。

警告

エンジンブレーキのレベルは、スロットルレバーを放したときの減速率に影響します。一部の操作を行っているときのiEB設定の変更はお勧めしていません。一部の操作には、ブレーキ操作、旋回、減速がありますが、これらに限定されません。必要なときは、準備を整えてからブレーキを使用して減速してください。

iEBセレクターは、スロットルレバーハウジングの背面にあります。



特定の3つのレベルが利用可能であり、選択されたモードは、ゲージのモード表示部に表示されます。

モード	説明	表示メッセージ
モード1	最大エンジンブレーキ	IEB MAX
モード2	中程度エンジンブレーキ	IEB MED
モード3	最小エンジンブレーキ	IEB MIN

セレクターを使用してiEBレベルを変更します。選択されたレベルはゲージに表示されます。

- 短押し（0.5秒未満）：現在のiEBレベルをゲージに表示します。
- 長押し（1秒を超える）：次のレベルに変わります。

長押しするたびにレベルが最大から最小の方へと変わり、最小の後は最大にもどります。

レベルを変更した後、ゲージ内のメッセージに選択された新しいレベルが表示されます。

最大レベルが選択されているときにスロットルレバーを放すと、エンジンブレーキだけで車速が大幅に下がるため、ブレーキレバーを使うことが少なくなります。

最小レベルのときは、車両の速度を下げたり車両を停止したりするのに、ブレーキレバーをより頻繁に使用する必要があります。

車両を完全に停止させてから再始動すると、最後に選択されたレベルが自動的に作動します。

シフトレバー

シフトレバーは、車両右側のステアリングコラム付近にあります。



シフトレバー位置

シフトレバーは、ギアを変更するのに使用します。

シフトレバーには5つの位置があります：

シフトレバー位置	
位置	ギヤ
P	パーキング
R	リバース
N	ニュートラル
H	ハイレンジ（前進）
L	ローレンジ（前進）



シフトパターン

車両にブレーキをかけて停止してから、ギアを選択する必要があります。

注意

このギアボックスは、車両が動いている間にシフトするように設計されていません。

パーキング

パーキング位置はギアボックスをロックして、車両の動作防止を補助します。

警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがP (パーキング) になっていない場合、車両が進む場合があります。

リバース

リバース位置にすると、車両を後進させることができます。

注記：

後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。

警告

下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車両速度が上昇します。

ニュートラル

ニュートラル位置にすると、ギアボックスが切り離されます。

警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがN (ニュートラル) になっている場合、車両が進む場合があります。

ハイレンジ (前進)

この位置にすると、ギアボックスの高速レンジが選択されます。これ

は、通常の走行速度レンジです。車両は、最高速度に到達できます。

ローレンジ (前進)

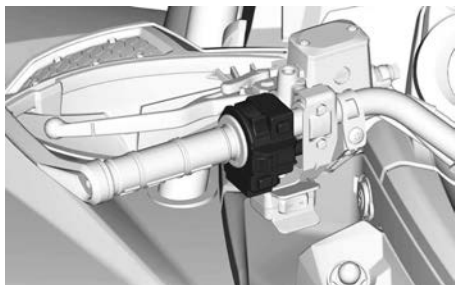
この位置にすると、ギアボックスの低速レンジが選択されます。車両は低速で動き、ホイールは最大のトルクを発揮します。

注意

トレーラーを牽引するとき、重い荷物を運搬するとき、障害物を横切るとき、ぬかるみを走行するとき、または傾斜を上ったり下ったりするときは、ローレンジを使用してください。

多機能スイッチ

多機能スイッチはハンドルバーの左側にあります。



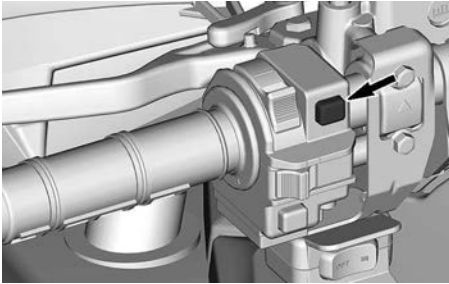
ヘッドライトスイッチ



1. ライトオフ
2. ロービームとテールライト
3. ハイビームとテールライト

エンジンスタートボタン

エンジンスタートボタンは、多機能スイッチの上側にあります。

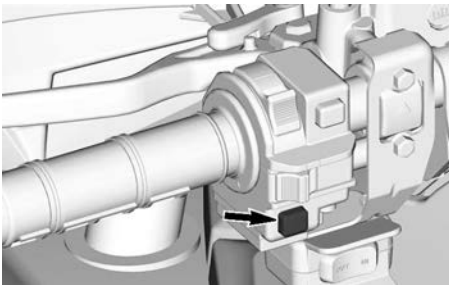


これを押し続けてエンジンを起動させます。

始動手順全体については、基本手順のセクションのエンジンの始動を参照してください。

オーバーライド/DPSボタン

このボタンは、多機能スイッチの下側にあります。



これには次の2つの機能があります。

- オーバーライド機能の作動
- DPSモードの変更

オーバーライド機能

この機能により、車両がリバースモードまたは4WDLockモードで使用されているときに、エンジンスピードリミッターを無視することが可能になります。

4WDLockでは、オーバーライドモードにより、以下に示す別の速度制限への到達が可能となります。

- ハイまたはローギヤのときに60 km/h (37 MPH)
- リバースのときに25 km/h (16 MPH)

警告

車両周辺に障害物がないことを確認してから「オーバーライド」モードを使用してください。オーバーライドモードは、泥や柔らかい土壌で車両の身動きが取れなくなったときに、低速のみで使用してください。通常の後進時に「オーバーライド」モードを使用しないでください。過剰に速い速度になることがあります。4WDLockのときに「オーバーライド」モードを使用しないでください。操作不能になるおそれがあります。

オーバーライド機能の起動は、次のように行います。

1. 車両が完全に停止していることを確認します。
2. オーバーライド/DPSボタンを押したままにして、スロットルレバーを徐々に踏み込みます。

注記：

オーバーライド機能を使用している間、ゲージはOVERVERRIDE (オーバーライド) のメッセージをスクロール表示して、機能が起動していることを知らせます。

3. オーバーライド機能は、オーバーライド/DPSボタンを放すだけ解除されます。

DPS 機能

このボタンは、ダイナミックパワーステアリング (DPF) モードを変更するのにも使用します。

DPSモードの概要については走行に関する調整のセクションを参照してください。

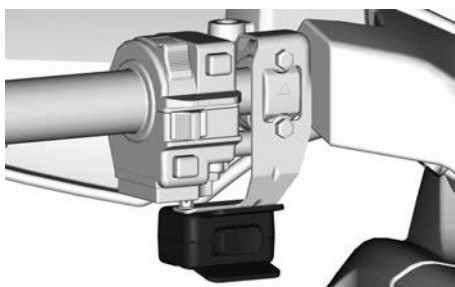
トリップ/メニュースイッチ (装備されている場合)

このスイッチを使用して、7.6インチデジタルディスプレイを操作します。



ウィンチコントロールスイッチ

ウィンスイッチは、多機能スイッチの下にある場合があります。



クラクションボタン

フィンランドで販売される車両のみ

ホーンボタンは、左多機能スイッチの下にあります。

ホーンを鳴らすには、ホーンボタンを押します。

装備品

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

⚠ 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

運転席

運転席は運転者専用設計されています。

⚠ 警告

この車両に同乗者として乗る人を座らせないでください。

シートの取り外し

1. シートラッチを押し上げます。このラッチは、シート後部の下にあります。



1. シートラッチ

2. シートを上に引いてから後方に引きます。
3. 前側の固定デバイスを解除できるまで持ち上げ続け、その後シートを完全に取り外します。

シートの取り付け

1. シートの前側タブをフレームのスチールフックに挿入します。
2. シートがその所定位置に置かれたら、シートをしっかり押し固定します。このとき、カチッという感覚がはっきりと感じられます。

3. 強く引いてラッチがかかっていることを確かめて、シートが固定されていることを再度確認してください。

⚠ 警告

後方および上方に数回引いて、運転席が所定位置に正しく固定されたことを確認します。取り付け中に独特のスナップ音が聞こえても、適切にラッチされていることを確認するために、必ずそれを後ろに引き上げてください。

グローブボックス (装備されている場合)

⚠ 警告

グローブボックスが取り付けられていない状態で車両を運転しないでください。絶対にグローブボックスに同乗者を乗せないでください。

グローブボックスは運転席の後ろにあります。

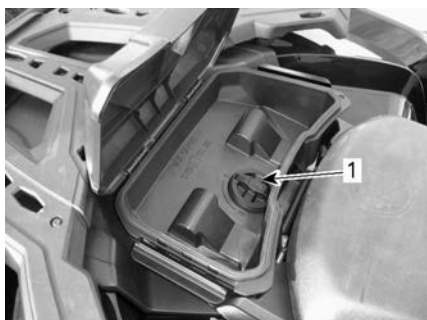


代表的な例

1. グローブボックス

グローブボックスの取り外し

1. グローブボックスの両側のラッチを解除してリッドを開けます。
2. ラッチを反時計方向に回して解除します。

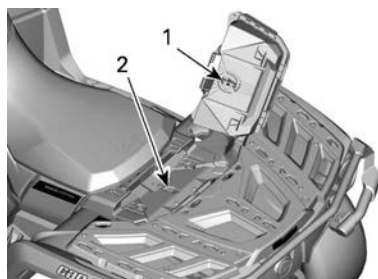


代表的な例

1. ラッチ
3. グローブボックスを取り外します。

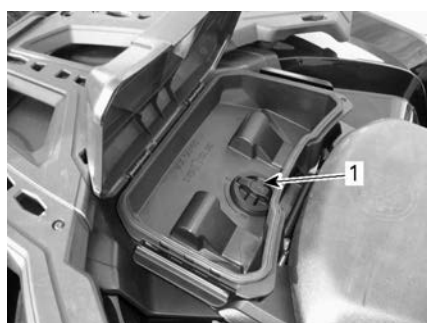
グローブボックスの取り付け

1. グローブボックスカバーを開き、ハンドルをロック解除位置に回します。
2. グローブボックスのラッチングシステムをこの車両の「LINQ」開口部にそって挿入します。



1. グローブボックスのラッチ
2. 「LINQ」開口部

3. ハンドルをロック位置に回します。



代表的な例

1. ラッチ
4. カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。

フットペグ

運転者のフットペグは車両の左右側にあります。



1. 運転者の左側フットペグ

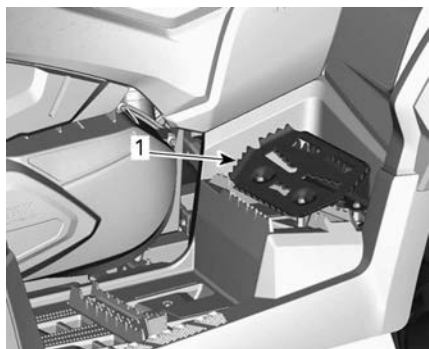
⚠ 警告

車両運転中、運転者は常に両足をフットペグに置く必要があります。

**泥地走行用のフットレスト
1000Rモデルのみ**

泥地走行用のフットレストは、フットペグの後方にあります。

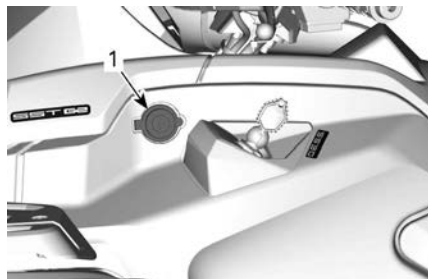
これらのフットレストは、泥地走行時に運転者のアシストを行います。



1. 泥地走行用のフットレスト

12Vの電源ソケット

懐中電灯などの携帯機器の使用に便利です。



1. 12V電源出力

保護キャップを取り外して使用します。環境から保護するために、使用後は必ず保護キャップを再度取り付けてください。

リアストレージコンパートメント

所持品を運ぶための便利なコンパートメントです。



1. リアストレージコンパートメントカバー

⚠ 警告

必ずシフトレバーをパーキング位置にしてからカバーを開けてください。重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。必ずカバーを固定してから走行してください。

リアストレージコンパートメントの 開け方

1. カバーのラッチを外して、カバーをゆっくり降ろします。



1. リアストレージコンパートメントのラッチ

リアストレージコンパートメントの 閉じ方

1. カバーをゆっくり上げて、ラッチから「カチッ」という音が2回鳴るまで押して、シールが圧縮されたことを確認します。

カーゴラック

⚠ 警告

- 絶対にカーゴラックで人を運搬しないでください。
- 荷物がオペレーターの視線を妨げたり、車両の正常な操舵能力に影響を与えないようにしてください。
- 車両に過剰の荷物を積みすぎないでください。
- すべての荷物が正しく固定され、ラックの外に出ていないことを必ず確認してください。

推奨貨物重量については、最大ラック荷重 - 警告ラベルを必ず参照してください。

このモデルのフロントラックへの積載は禁止されています。

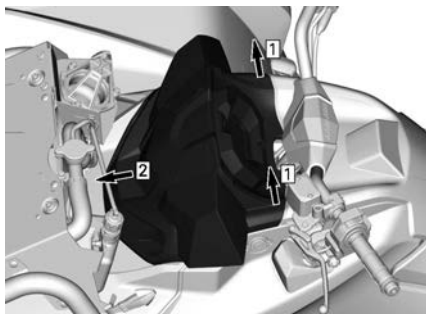
装備品やさまざまな荷物を運搬するには、リアカーゴラックが便利です。

す。絶対に人を運ぶためには使用しないでください。

ゲージサポート

ゲートサポートの取り外し

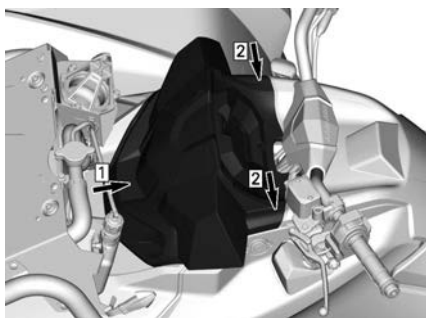
ゲージサポート後部を持ち上げて、前方へ押します。



ゲートサポートの取り付け

ゲージサポートを後方にスライドさせてフロントタブを掛けます。

ゲージサポート後部を押して固定します。

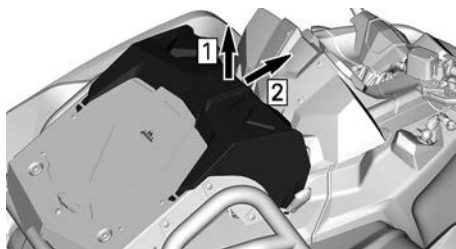


ラジエーターカバー

ラジエーターカバーの取り外し

1. 両側のラバーラッチを外します。
2. リアカバー後部を持ち上げて、後方へ引きます。

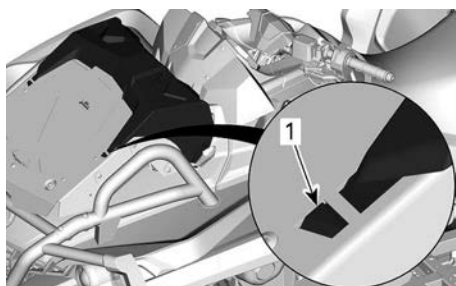
ウィンチ（装備されている場合）



1. 持ち上げる
2. 後方へ引く

ラジエーターカバーの取り付け

1. カバーのタブをプロテクターのスロット穴に挿入します。



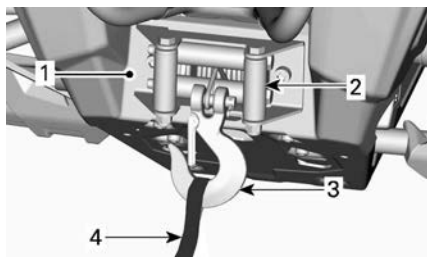
1. カバータブ
2. 両方のラバーラッチ（片側に1個）を使用してカバーを所定位置に固定します。

車載工具

車載工具はシートの下にあります。このキットには基本的なメンテナンス用の工具が付属しています。

⚠ 警告
<p>重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために</p> <ul style="list-style-type: none"> - 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。 - ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。 - （雪や泥で）身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。 - 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

車両への損傷を防止してワイヤロープをウィンチへ誘導するために、ローラーフェアリードが使用されています。



1. ウィンチ
2. ローラーフェアリード
3. ウィンチフック
4. フックストラップ

注記：

ウィンチを長時間にわたり何度も使用すると、バッテリーを消耗する場合があります。

下記のヒントは、バッテリーが消耗するリスクを抑えるのに役立ちます。

手動でのウインチの巻き出し：ハンドルを使用してウインチのロックを解除し、フックストラップを引いて巻き出します。

巻き上げまたは巻き取り中は、エンジンを作動させたままにするよう推奨します。バッテリーを充電するため、巻き上げ直後はエンジンを停止しないでください。

また、30秒以上巻き上げを行うときは、エンジン回転数を3000 rpmの範囲まで上げてバッテリーの充電電圧を高めるよう推奨します。

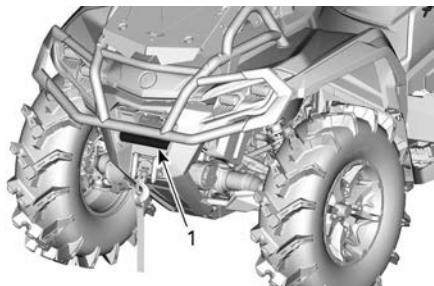
注意

車両をニュートラル(N)にしてからエンジン回転数を上げてください。

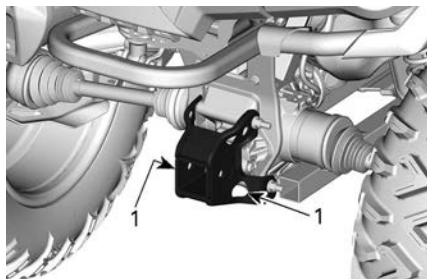
ウインチの詳細については、車両に付属しているウインチメーカーの説明書を参照してください。

リカバリーフック

身動きの取れなくなったATVを救出することができる便利なフックです。



1. フロントリカバリーフック

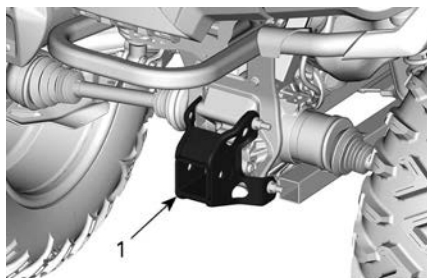


1. リカバリーフック

トレーラーヒッチ

トレーラーなどの装置の牽引用ボールを取り付けるのに便利なヒッチです。トレーラーメーカーの推奨事項に従って適切なサイズのボールを取り付けてください。

積載重量や牽引時の推奨事項については、けん引およびヒッチ重量 - 警告ラベルのセクションを参照してください。



代表的な例

1. トレーラーヒッチ

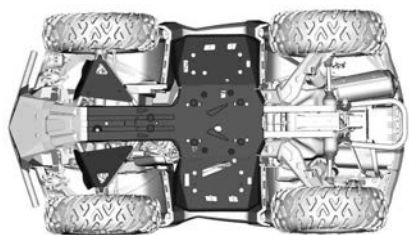
警告

牽引しようとする装置に合う適切なサイズのボールを取り付けてください。

注記：
正しい取り付け方法については、メーカーの説明に従ってください。

車両下部保護プレート

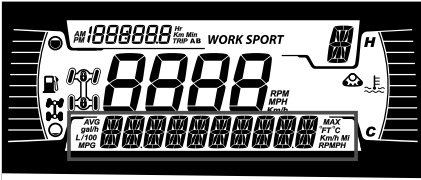
車両下部やサスペンションアームを保護するアルミニウム製プレートです。



4.5インチデジタルディスプレイ

多機能表示

ローディスプレイ

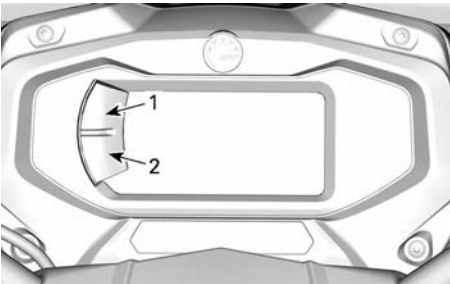


下記の項目を表示させることができます。

- RPM
- SPEED(速度)
- エンジン温度
- バッテリー電圧
- 設定
- メッセージ

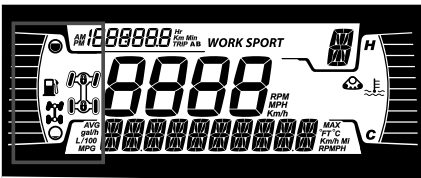
下側の (メニュー) ボタンを使用して、表示される情報を変更します。

速度表示では、最高および平均速度が表示されます。



1. 上ボタン
2. 下ボタン

左側の表示

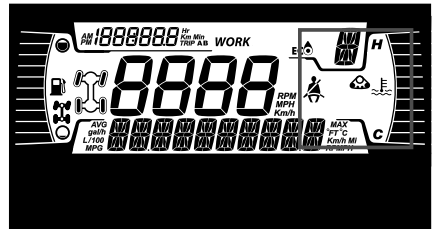


左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター
- 2X4 / 4X4表示(装備されている場合)
- フロントディファレンシャルロック - Visco-4Lokアイコン (装備されている場合)

アイコン	説明
	2x4アイコン
	4x4アイコン
	フロントディファレンシャルロック - Visco-4Lokアイコン

右側の表示

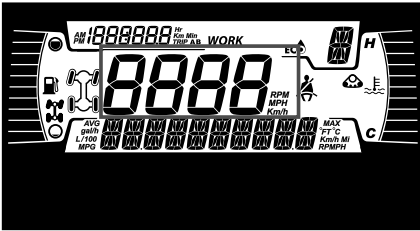


右側の表示には以下のものが含まれます：

- エンジン温度
- トラックスキット作動

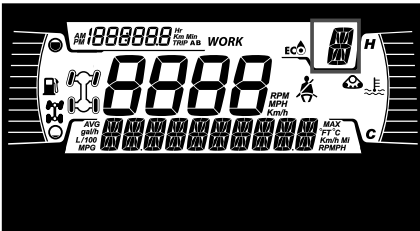
トラックスキットが取り付けられている場合は、下側表示部にメッセージがスクロール表示されます。

中央の表示



車両速度をkm/hまたはMPH単位で表示します。

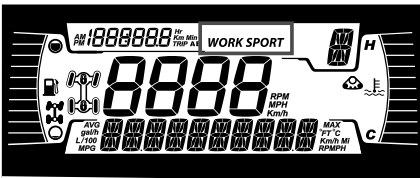
トランスミッション位置表示



この表示はギヤボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)
- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

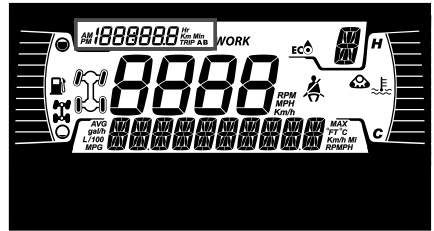
モード表示



モード表示は選択された動作モードが示されます。

- スポーツ
- ECOまたはワーク

トリップ表示



この表示はトリップ情報を示します。

- 積算距離計オドメーター
- トリップA
- トリップB
- 車両アワーメーター
- 時計

上側ボタンを使用して、表示される情報を変更します。





上側のボタンを押したままにすると、トリップA/Bメーターがリセットされます。

インジケータランプ

警告および表示ライト



警告および表示ライト	
!	オレンジ色 - 車両機能異常
☀	青色 - ハイビーム
🌡	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
N	緑色 - ニュートラル
⚠	赤 - ブレーキロックレバーが掛かっている、またはブレーキシステムの不具合

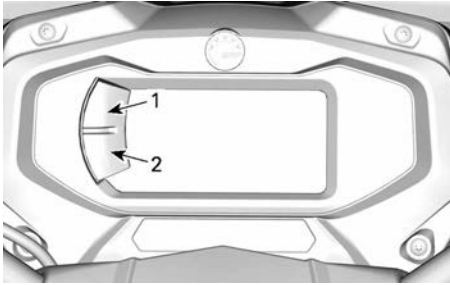
警告および表示ライト	
	RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。
	赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン
	オレンジ色 - 低燃料レベル。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケーター - 多機能ディスプレイ

アイコンおよびインジケーター	
	- スポーツモードが選択されていることを示します。
	- ECOモードが選択されていることを示します。
	- 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定 Can-Am Off-roadディーラーまたは整備担当者にご相談ください。
	- トラックキット作動（装備されている場合）。
	- フロントディファレンシャルロック（Visco-4Lok）が作動していることを示します。 このオプションが利用可能なとき。

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、LCDディスプレイの左側にあります。



1. 上ボタン
2. 下ボタン

セットアップ

下側ボタンを使用して**SETTINGS**を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

スピードリミッターモード

速度リミッターモードにより、運転者は希望する最高速度を設定できます。

これは、制限速度ゾーンで運転するときに便利です。

前進速度を維持するには、オペレータはスロットルを押し続けなければなりません。

最高速度を設定すると、運転者はスロットルを使って、停車状態から設定された速度の間で速度を変えることができます。

スロットルを完全に押し込むと設定速度を超過します。このとき、車速が速度リミッターの設定ポイント以下になるまで速度リミッターが一時的に停止します（アイコンが点滅します）。

一定の速度設定の下で進むため、周辺の状況に対する十分な注意を維持することができます。


減速するにはスロットルを放します。

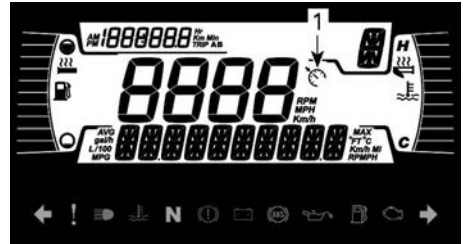
スピードリミッターモードの起動

1. ゲージスイッチを押して**SETTINGS**メニューに進みます。

2. **SPEED LIM**を選択して、下記の速度を選択します。

単位の選択	表示される情報
メートル単位 (km/h)	- -- (制限なし) - 30 km/h ~ 100 km/h (10 km/h 刻み)
ヤードポンド 単位 (MPH)	- -- (制限なし) - 20 MPH ~ 65 MPH (5 MPH 刻み)

スピードリミッターインジケータ  が点灯します。



1. スピードリミッターインジケータ
2. メニューボタンを押したままにして選択した速度制限を確定します。

速度リミッターモードの起動によって制限されるのは、スロットルを押し続けたときの最高速度だけです。

前進速度を維持するには、スロットルを押し続けなければなりません。

スピードリミッター機能を起動すると、スロットルを使用して車速をアイドル速度から設定された速度までの間で変更できます。

スピードリミッターモードの停止

1. スピードリミッターモードを停止するには、SETTINGS の中で SPEED LIM を選択してから - (制限なし) を選択します。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記: メンテナンスのときにのみ (エンジンを100時間運転すること) 実行可能です。

故障コード (FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

下側ボタンを使用して CODES を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

統計情報のリセット

下側ボタンを使用して RESET STAT を選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

単位の選択

この多機能ゲージは工場ではヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

下側ボタンを使用して UNITS を選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

時計の設定

下側ボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. CLOCK を選択して、時刻を調整します。

2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンを押したままにして選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します (時の桁が点滅します)。
7. ボタンを押したままにして時の桁の選択内容を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます (分の桁が点滅します)。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road ディーラーにお問い合わせください。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

下側のボタンを使用して BRIGHTNESS (輝度) を選択し、ボタンを押したままにして輝度を変更します。

下側ボタンを使用して輝度を調整した後、ボタンを押したままにして選択内容を確定します。

7.6 インチデジタルディスプレイ

基本機能

多機能ゲージの説明



警告

運転中は、制御できなくなる場合があるので、表示を調整しないでください。

下側の表示

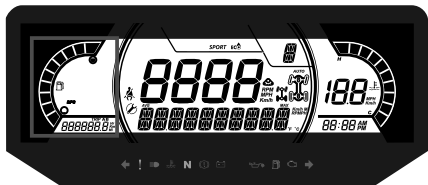


下記の項目を表示させることができます。

- RPM
- 速度統計情報
- エンジン温度
- バッテリー電圧
- 設定
- メッセージ

速度統計情報表示では、最高および平均速度が表示されます。

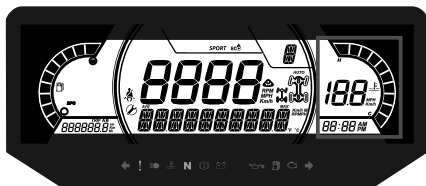
左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター
- トリップメーター (A-B)
- オドメーター
- 車両アワーメーター
- DPSインジケーター

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

- エンジン温度
- 時計
- 速度インジケーター

この表示内の速度インジケーターは、中央の表示が速度以外の情報を示しているときに作動します。それ以外の場合は表示されません。

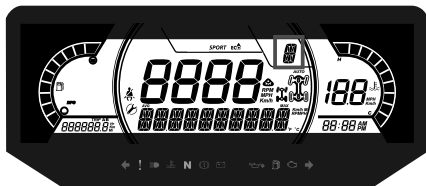
中央の表示



下記の項目を表示させることができます。

- RPM
- 車両速度

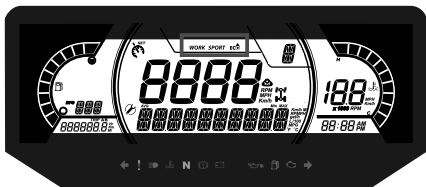
トランスミッション位置表示



この表示はギヤボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)
- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

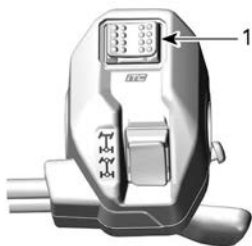
モード表示



モードディスプレイの表示

モデル	選択できるモード
X xc	- スポーツ - ECO
その他の全モデル	- スポーツ - 仕事で使う

電子スロットル制御装備モデルでは、このスイッチを使用してモードを切り替えます。



電子式スロットル制御 (ETC) 装備モデル

1. 走行モードスイッチ

作動時および解除時に、選択されたモードのメッセージが下部表示部に下記のように表示されます。

走行モード	作動時のメッセージ	解除時のメッセージ
スポーツ	スポーツ	Sport OFF
ワーク	ワーク	Work OFF
ECO	ECO	ECO オフ

中央右側の表示

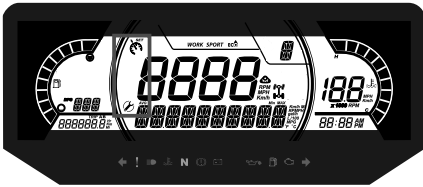


中央右側の表示には、選択された動作モードが示されます。

- 2X4
- 4X4
- トラックキット作動
- フロントディファレンシャルロック (Visco-4Lok)

アイコン	説明
	2x4アイコン
	4x4アイコン
	トラックキットアイコン
	フロントディファレンシャルロック

中央左側の表示



中央左側の表示には以下のものが含まれます。

- メンテナンス時期の到来
- スピードリミッター



インジケータランプ

警告および表示ライト



警告および表示ライト	
	オレンジ色 - 車両機能異常
	青色 - ハイビーム
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	緑色 - ニュートラル
	赤 - ブレーキロックレバーが掛かっている、またはブレーキシステムの不具合
	RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。
	赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン

警告および表示ライト

	オレンジ色 - 低燃料レベル。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケーター - 多機能ディスプレイ

アイコンおよびインジケーター	
	- スポーツモードが選択されていることを示します。
	- ECOモードが選択されていることを示します。
	- 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定 Can-Am Off-roadディーラーまたは整備担当者にご相談ください。
	- トラックキット作動（装備されている場合）。
	- フロントディファレンシャルロック（Visco-4Lok）が作動していることを示します。 このオプションが利用可能なとき。

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、ハンドルバー下側のコンソール上にあります。



セットアップ

メニューボタンを使用して **SETTINGS** を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記：メンテナンスのときにのみ（エンジンを100時間運転するごとに）実行可能です。

故障コード (FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

メニューボタンを使用して **CODES** を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

速度/回転数

速度と回転数の表示を切り替えることができます。

メニューボタンを使用して **SPEED/RPM** を選択し、ボタンを押したままにして速度と回転数の表示を切り替えます。

単位の選択

この多機能ゲージは工場でヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

メニューボタンを使用してUNITSを選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

スピードリミッターモード

速度リミッターモードにより、運転者は希望する最高速度を設定できます。

これは、制限速度ゾーンで運転するときに便利です。

前進速度を維持するには、オペレータはスロットルを押し続けなければなりません。

最高速度を設定すると、運転者はスロットルを使って、停車状態から設定された速度の間で速度を変えることができます。

スロットルを完全に押し込むと設定速度を超過します。このとき、車速が速度リミッターの設定ポイント以下になるまで速度リミッターが一時的に停止します（アイコンが点滅します）。


一定の速度設定の下で進むため、周辺の状況に対する十分な注意を維持することができます。

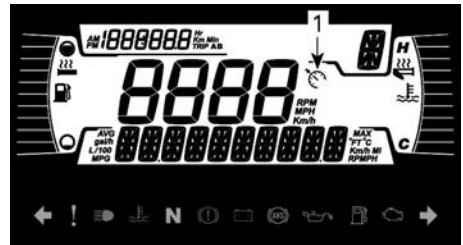
減速するにはスロットルを放します。

スピードリミッターモードの起動

1. ゲージスイッチを押してSETTINGSメニューに進みます。
2. SPEED LIMを選択して、下記の速度を選択します。

単位の選択	表示される情報
メートル単位 (km/h)	- -- (制限なし) - 30 km/h ~ 100 km/h (10 km/h 刻み)
ヤードポンド単位 (MPH)	- -- (制限なし) - 20 MPH ~ 65 MPH (5 MPH刻み)

スピードリミッターインジケータ  が点灯します。



1. スピードリミッターインジケータ
3. メニューボタンを押したままにして選択した速度制限を確定します。

速度リミッターモードの起動によって制限されるのは、スロットルを押ししたときの最高速度だけです。

前進速度を維持するには、スロットルを押し続けなければなりません。

スピードリミッター機能を起動すると、スロットルを使用して車速をアイドル速度から設定された速度までの間で変更できます。

スピードリミッターモードの停止

1. スピードリミッターモードを停止するには、SETTINGS の中で SPEED LIM を選択してから - (制限なし) を選択します。

統計情報のリセット

メニューボタンを使用して RESET STAT を選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

時計の設定

メニューボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. CLOCK を選択して、時刻を変更します。
2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します (時の桁が点滅します)。
7. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択した時間を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます (分の桁が点滅します)。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

メニューボタンを使用して BRIGHTNESS を選択し、メニューボタンを押したままにして輝度設定を選択します。

メニューボタンを使用して輝度を調整した後、メニューボタンを押したままにして選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road ディーラーにお問い合わせください。

DPSモード

下側の表示には、どのDPSモードが作動しているかを示すことができます。

走行に関する調整を参照してください。

燃料

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

燃料に関する要件

注意

新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。
- ガソリンのアルコール度が現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

ガソリンは、次の最低オクタン価が必要となります。

1000Rエンジン	オクタン価 91の AKI (R+M)/2、またはオクタン価 95の RON を含んだプレミアム無鉛ガソリン
その他のすべてのエンジン	オクタン価 87の AKI (R+M)/2 または RON オクタン価 91の通常の無鉛ガソリン

10%以下のエタノールを含む無鉛ガソリンを使用してください。

E10

注意

他の燃料を試したりしないこと。不適当な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注意

E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

車両への給油手順

⚠ 警告

- 燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。
- 裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。
- 絶対に近くでタバコを吸ったり、炎や火花を発生させたりしないでください。
- 換気のよい場所で作業してください。
- 給油時は、車両を水平面に駐車してください。

1. エンジンを止めます。

⚠ 警告

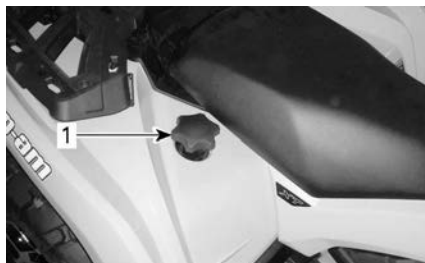
給油前に必ずエンジンを停止してください。

2. オペレーターと同乗者を車両から降ろしてください。

⚠ 警告

給油中、誰も車両に乗せないでください。給油中に火災や爆発が起きた場合、車両に乗っていると、その場所から直ちに逃げることができない可能性があります。

3. 燃料リザーバーキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。



1. 燃料タンクキャップ

⚠ 警告

差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。

4. 給油ノズルをフィルターネックに差し込んでください。
5. タンクから空気を逃がして燃料が逆流しないように、燃料をゆっくり注ぎます。燃料をこぼさないように注意してください。
6. 燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。燃料を入れすぎてはいけません。

⚠ 警告

車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

7. フューエルリザーバーキャップを時計回りに回して、完全に締め付けます。

⚠ 警告

車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

慣らし運転期間

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

慣らし運転中の運転

この車両には、10 時間または300 km (200 mi) の慣らし期間が必要です。

- 貨物のけん引は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

エンジン

慣らし期間中は：

- アクセル全開での運転は避けてください。
- スロットルレバーをストロークの3/4以上押さないようにしてください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。
- エンジンのオーバーヒートを避けてください。

ただし、短い加速や速度の変動は、慣らし運転の質を向上させます。

ブレーキ

警告

新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。
最初の40～50回のブレーキ操作では、穏やかにブレーキをかけるようにしてください。

ベルト

新品のベルトは、50 km (30 mi) の慣らし運転を必要とします。

慣らし期間中は：

- 激しい加速や減速は避けてください。

基本手順

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

電子システムの起動

スタートボタンを1秒弱押し放すと、

- 下記の場合は、いずれの装置にも電源を供給せずに電装システムが30秒間オンになります。
 - D.E.S.S.キーが取り付けられていない、またはイグニッションキーがOFF位置になっている、または
 - エンジンストップスイッチが停止位置になっている
- 下記の場合は、装置に10分間電源を供給します。
 - D.E.S.S.キーが取り付けられている、またはイグニッションキーがON位置になっている、かつ
 - エンジンストップスイッチが動作位置になっている

D.E.S.S.キーまたはイグニッションキーが取り外されている、またはエンジンストップスイッチが停止位置になっている場合は、30秒後に電装システムが停止します。

注意

電装システムを頻繁に起動したり、電気装置を使用すると、バッテリーを消耗してエンジンを始動できなくなる場合があります。

注記：

なお、オーバーライドモードでは、シフトレバーがどの位置であってもエンジンを始動できません。エンジンスタートボタンを押している間に、ブレーキレバーを引き続けるかブレーキペダルを踏み続けます。

モデルに応じて

- D.E.S.S.キーをD.E.S.S.ポストに取り付けます。または、
- キーをイグニッションスイッチに挿入し、キーをON位置に回します。

エンジンストップスイッチをRUNに設定します。

エンジンが始動するまで、エンジンスタートボタンを押し続けます。

エンジンが始動したら、エンジンスタートボタンを直ちに放します。

注意

数秒経ってもエンジンが始動しない場合は、スタート位置で10秒以上保持しないでください。トラブルシューティングのセクションを参照してください。

エンジンを始動させます

シフトレバーをパーキングかニュートラルにする必要があります。

エンジンの停止方法

⚠ 警告

下記の場所では車両を停止しないでください。

- 車両が動き出すおそれがある急な傾斜地
- 車両の高温部品で火災が生じるような場所

⚠ 警告

停車する際は必ずパーキングブレーキをかけてください。

1. 最も平坦な地形を選択します。
2. 車両を完全に停止します。
3. パーキングブレーキをかけます。
4. 車両のエンジンストップスイッチを使用して車両を停止します。
5. 車両に応じて次の手順を行ってください。
 - D.E.S.S.ポストからD.E.S.S.キーを取り外します。または、
 - イグニッションキーをOFFにして、イグニッションスイッチから取り外します
6. 急な傾斜地に駐車する場合や車両が荷物を運搬している場合は、輪止めを使ってホイールをブロックしてください。輪止めがなければ、岩やレンガを使用してください。

パーキングブレーキのかけ方

パーキングブレーキは、次の2つの手順に従ってかけます。

1. 車両が完全に停車してから、シフターレバーをパーキング位置にし、かつ
2. ブレーキロックレバーをかけます。基本コントロールのブレーキロックレバーを参照してください。

注記：

急な傾斜地に駐車する場合や車両が荷物を運搬している場合は、輪止めを使ってホイールをブロックしてください。輪止めがなければ、岩やレンガを使用してください。

選択したギヤの変更

ブレーキをかけて車両を停止し、希望するシフトレバー位置を選択します。

ブレーキを解除します。

注意

選択したギヤを変更するときは、必ずブレーキをかけて車両を完全に停止してからシフトしてください。ギヤボックスが損傷する恐れがあります。

スロットルレバーを徐々に押してエンジン回転数を上げると、CVT（無段変速機）につながります。

反対に、スロットルレバーを放すとエンジン回転数が下がります。

特殊な手順

プラグがかぶってしまったとき

燃料がかぶってエンジンが始動しない場合、この特殊なモードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランク中にイグニッションをカットします。次の手順に従ってください：

1. シフトレバーをパーキング位置します。
2. キーをD.E.S.S.ポストに取り付けるか、イグニッションキーをON位置に回します。
3. スロットルレバーを完全に押し込んだままにします。
4. エンジンスタートボタンを20秒間押したままにします。
5. スロットルレバーを放します。
6. スタートボタンを再度押すと、エンジンが始動します。

エンジンが作動しない場合

1. インジェクターの電装コネクタを抜きます。
2. スパークプラグのキャップ部分を掃除してから取り外します。
3. スパークプラグを取り外します。
4. エンジンのクランキングを数回行ってください。
5. 可能であれば新しいスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグをきれいにして乾かしてください。
6. 前述の手順に従って、エンジンを始動してください。

やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。

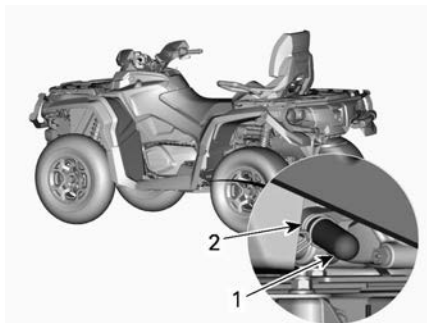
注意

エンジンオイルに燃料が混入していないことを確認してください。混入している場合はエンジンオイルを交換してください。

CVTに浸入した水

CVTのドレンプラグは、CVTカバーの後部にあります。これには左側リアフェンダーから手が届きます。

CVTのドレンプラグを点検して、水があるか確認します。



1. ドレンプラグ
2. スプリングクランプ

注意

CVT内に水がある場合は、ベルトがスリップする可能性があります。その場合、エンジンは加速しますが車両は動きません。

水がある場合は、CVTのドレンプラグを取り外して水を排出します。

ドレンプラグを取り付けて、スプリングクランプで固定します。

注記：

ホースがCVTカバーニップルに正しく挿入されているか確認してください。

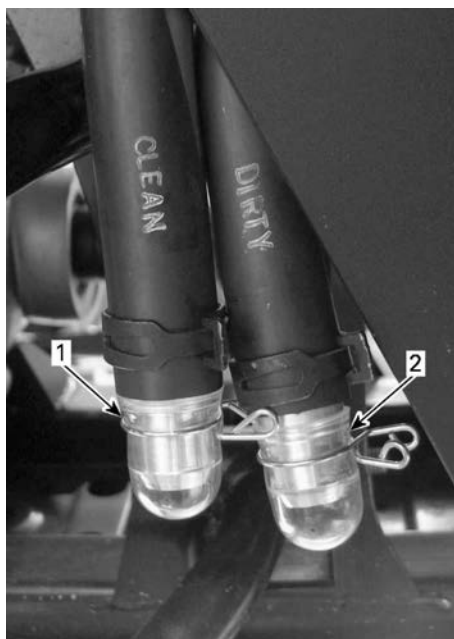
注意

正規Can-Am Off-roadディーラーに相談して、CVTの点検と清掃を行ってください。

エアフィルターハウジングへの浸水

左サイドパネルを取り外します。

エアフィルターハウジングの下にあるドレンリザーバーを点検して、水があるか確認します。



1. エアフィルターハウジングのドレンリザーバーを清掃する
2. エアフィルターハウジングのドレンリザーバーを乾燥させる

水がある場合は、クランプを押してリザーバーを取り外し、エアフィルターハウジングから水を排出します。

下記条件のいずれかに該当する場合、最寄りの認定Can-Am Off-Roadディーラーまで車両を運搬し、車両の整備を受けてください。

- 50 ml (2 fl oz (US)) (ドレンリザーバー約5杯分) 以上の水がエアフィルターハウジングにある場合。
- ドレンリザーバーに何らかの堆積物がある場合。

このような場合は、下記事項に関する車両の整備が必要です。

- ベント

- CVTエアフィルターの清掃
- CVTのクリーニング
- 燃料タンクブリーザーの交換
- 潤滑の点検および必要に応じて交換 (エンジン、ギヤボックスおよびリアファイナルドライブ)

注意

車両の整備を行わないと、下記のコンポーネント (ただしこれらに限定されない) に回復不能な損傷が生じる場合があります。

- エンジンおよびギヤボックス
- 燃料ポンプ
- CVT
- フロントディファレンシャル
- リアファイナルドライブ

車両が転覆した場合

車両が転覆した、または横に傾いたままの場合は、ホイールが下になるように車両を戻してください。

車両に損傷がないか点検してください。

⚠ 警告

車両が損傷している場合は、絶対に運転しないでください。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両に損傷がない場合は、メンテナンスの手順のセクションを参照して下記の点検を行ってください。

- エアフィルターハウジングにオイルが溜まっていないか点検します。オイルがある場合は、エアフィルターとエアフィルターハウジングを清掃します。
- エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- エンジンクーラントレベルを点検し、必要に応じて補充してください。

- ギヤボックスオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- リアファイナルドライブのオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- エンジンを始動します。オイル圧のランプが点灯している場合は、直ちにエンジンを停止してください。認定Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両が転倒したときは必ず、認定Can-Am Off-Roadディーラーの点検を受ける必要があります。

車両が水没した場合の対処

車両が水没した場合は、直ちにエンジンを停止してください。

ウィンチなどの電動装置を使用しないでください。

認定Can-Am Off-Roadディーラーにできるだけ早く車両を持ち込む必要があります。エンジンを始動しようとしないでください！

注意

車両が水没した場合、適切な始動手順に従わないと重大な損傷が生じます。

車両をできるだけ早く水から引き出して、下記のことを行ってください。

- エアフィルターハウジングから水を抜き取ります。エアフィルターハウジングへの浸水のセクションを参照してください。
- CVTから水を抜き取ります。CVTに浸入した水のセクションを参照してください。

注意

できるだけ早く認定Can-Am Off-Roadディーラーの整備を受ける必要があります。

走行に関する調整

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

⚠ 警告

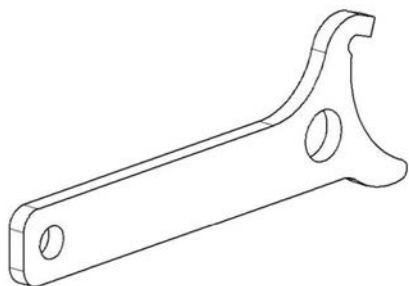
指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

⚠ 警告

サスペンションの調整は、車両のハンドリング性能に影響を与える可能性があります。サスペンションの調整後、必ず時間を取って車両に慣れるようにしてください。

以下はサスペンションの微調整のガイドラインです。

車載工具に含まれているサスペンション調整ツールを使用します。



サスペンション調整 – 工場出荷時の設定

サスペンションの調整と荷重は、車両のハンドリング性能や快適性に影響を与えます。

サスペンション調整の選択は、運転者の体重、好み、走行速度およびフィールドの状態により変化します。

注記：

工場設定はほぼすべての状況に適しています。地上高の増加は車両のハンドリング性に影響することを考慮してください。

フロントサスペンション

スプリングプリロード

 A = スプリングプリロード距離	850 1000R	64.6 mm (2.5 in)
	650	カム位置を3にする

リアサスペンション

スプリングプリロード

 A = スプリングプリロード距離	850 1000R	153.3 mm (6.04 in)
	650	カム位置を3にする

ばねプリロード調節

⚠ 警告

フロントまたはリアサスペンションの左と右のショック調整は、必ず同じ位置にセットする必要があります。

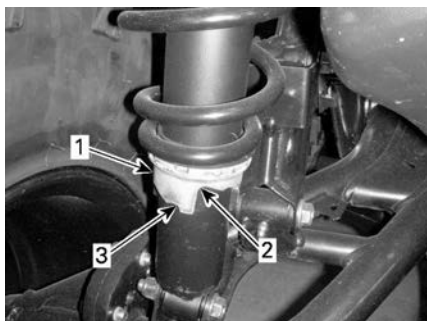
片方のショックのみを調整することは避けてください。

調整が均等でないとハンドリング性能および安定性が損なわれ、事故につながる可能性があります。

乗り心地を固めにしたり粗い条件の場合は、スプリングを短くします。

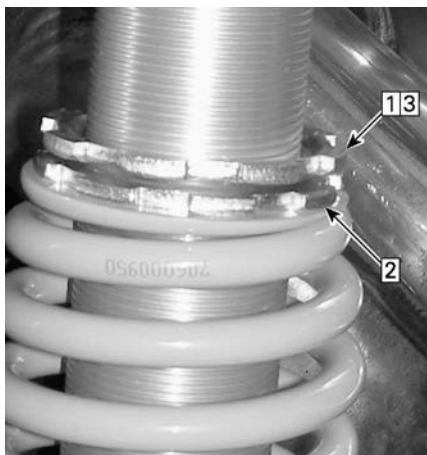
乗り心地を柔らかめにしたりスムーズな条件の場合は、スプリングを長くします。

調整カムまたは調整リングを回して、スプリングプリロードを調整します。



代表例 - 調整カムを備えるショック

1. 調整カム
2. 柔らかめの調整
3. 固めの調整



代表例 - ねじ付き調整部を備えるショック

1. 上部の固定リングを緩めます。
2. それに応じて調整リングを回します。
3. 上部の固定リングを締め付けます。

ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整 (DPS 装備モデル)

ギヤガリバースに入っている場合、DPSモードは変更できません。

トライモードダイナミックパワーステアリング (DPS) は、運転者のた

めにステアリング操作の便利なアシストを行います。アシストのレベルは車両速度や運転者の要望に応じて自動的に適応し、通常はアシストの需要が最も高いとされる低速時に最大の操舵力を発揮します。速度が上昇するとアシストが次第に少なくなり、運転者にとって最高の操舵感覚と精度が維持されます。

アシストは3つのモードから選択できます。最小と最大各モードとも、車両速度や運転者の要望に自動的に継続して適応するため、走行時に変更する必要がありません。これらのモードは、それぞれの運転者の好みに合わせてアシストのレベルを設定するために使用されます。

事前に設定された次の3モードから選択できます。

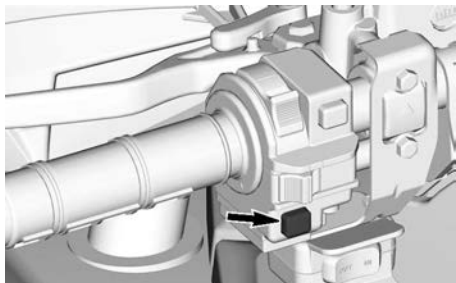
DPS モード	
DPS MAX.	ステアリングアシスト最大
DPS MED.	ステアリングアシスト中程度
DPS MIN.	ステアリングアシスト最小

Visco-4Lok フロントディファレンシャル 装備モデル
4WDLockモードが選択されると、最適なアシスト機能を発揮するために、自動的に特殊設定が選択されます。
4WDLockモードが選択されている場合、DPS設定の変更はできません。

エンジンが動作していないと、多機能スイッチを使用するDPSモードは変更できません。この手順を実行するには、電気システムを起動するだけでは不十分です。

どのDPSモードが起動しているかを確認するには、次のようにします。

- DPSボタンを短く（1秒間）押します。



- 同じボタンを再び押すと、直前の画面に戻ります。

DPSモードを変更するには、次のようにします。

- どのDPSモードが起動しているかを確認するには、DPSボタンを短く（1秒間）押します。
- 別のモードを選択するには、DPSボタンを長く（2秒間）押します。望むモードが起動するまで繰り返します。

注記： また、（所有するモデルによって）クラスターの下側ボタンまたはトリップ/メニュースイッチを長押しすることで、DPSモードを変更することも可能です。変更するには、エンジンを始動する必要はありませんが、電装システムを起動しておかなければなりません。

車両の持ち上げ

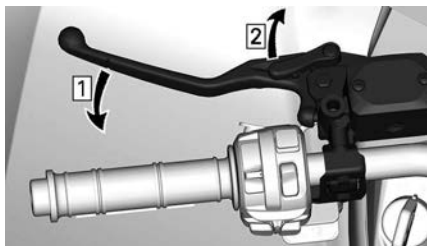
リフトに関する一般安全情報

1. ギヤを4WDモードに入れます。

注記：

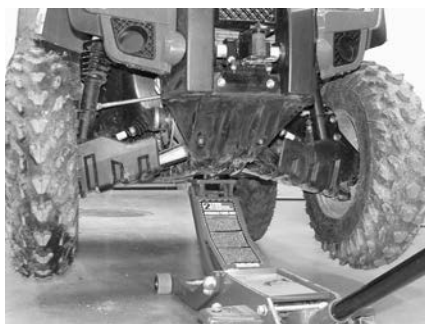
エンジンが動作していて、車両が約1メートル移動した場合、4WDモードがかります。

2. シフトレバーをパーキングに入れます。
3. ブレーキをロックします。



1. ブレーキをかける
2. ブレーキをロックする

4. 適切なリフト装置を使用して、車両を持ち上げます。



代表例 — フロントリフトポイント



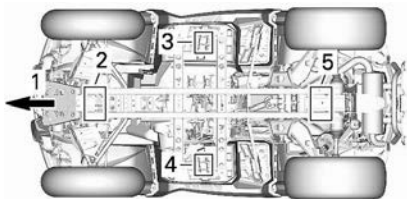
代表例 — リアリフトポイント

⚠ 警告

車両を持ち上げる前に、すべての車輪がロックされていることを確認します。リフト装置の最大許容荷重を超過する荷重をかけるしないでください。このタイプの車両を持ち上げるために認可された装置だけを使用してください。リフト装置を使用して、車両を移動させないでください。使用する前に、メーカーの警告とインストラクションを参照してください。

車両全体のリフト

1. 適切なリフト装置を使用して、車両の前部を持ち上げます。
2. 安定点にジャッキスタンドを使用して、車両を側方から固定します。



1. 車両のフロント
2. フロントリフトポイント
3. 左側安定点
4. 右側安定点
5. リアリフトポイント

3. 車両の後部を持ち上げます。
4. ジャッキスタンドの高さを調整します。

 **警告**

絶対に、安定点を固定することなく、車両の前部と後部を持ち上げないでください。決して、安定点以外のところで、車両を持ち上げないでください。

車両の移送

牽引または移送サービスにお問い合わせ合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワールンプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注意

この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

注意

車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で) 身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

警告

すべてのシート、アクセサリ、貨物、および車内にある固定されていない物については、道路に落下したり、他の車両を危険にさらしたりすることがないように、必ず正しく固定するか取り外すようにしてください。

警告

ウィンドシールドなどのコンポーネントの損傷を防止するため、必ず車両を前進方向に向けた状態で移送してください。移送の際は部品を外してもかまいません。

警告

車両をプラットフォームまたはトレーラーに載せる前に、下記の安全注意事項に従ってください。

安全注意事項

運搬装置	運搬用備品（プラットフォーム、トレーラー、または平台）は、車両を安全に支えて移送するための適切な寸法と能力を持つものでなければなりません。
運搬用車両	運搬用車両の能力や仕様を超えないでください。トレーラーまたはプラットフォームが運搬用車両のヒッチに正しく固定されていることを確認してください。
視界	運転中は常に良好な視界を確保してください。
地形	運搬用車両やトレーラーは水平面上になければなりません。トレーラーや運搬用車両が動かないよう、輪留めを使用してください。
ランプ	適切な能力を持つランプを、トレーラーまたはプラットフォームに固定して使用します。ランプを急角度にして使用しないでください。

安全注意事項	
周囲の人々	車両を載せるときは、周囲の人々が車両や牽引装置の近くにいないことを必ず確認してください。
シートおよびアクセサリー	すべてのシート、アクセサリー、および貨物については、道路に落下したり、他の車両をる危険にさらしたりする危険がないように、必ず正しく固定するか取り外すようにしてください。

車両の力を利用して牽引装置に載せる

車両が自力で上ることができるときは、以下の手順に従ってください。

1. 保護具を着用します。
2. コーギヤだけを使用します（装備されている場合）。
3. 走行中はシートに着席した状態を維持します。
4. レールまたはプラットフォーム上の正しい位置にあることを確認します。
5. トレーラーから十分離れた位置から車両を走行させ始め、車両をランプに対して直進位置に揃えまます。ランプに近づきながら曲がるうとしないでください。ランプに達したときにリヤホイールの位置が揃わず、車両が落下する恐れがあります。
6. フロントホイールをランプにゆっくりと上らせ、位置が揃っていることを確認します。
7. 車両を後退させ、ランプが固定されていることを確認してから適切な速度で作業を進めます。
8. 車両をプラットフォームまたはトレーラー上まで慎重に走行させまます。十分な速度で、スピンしたり急加速したりすることのないように上ってください。ランプが動か

- ないように、ランプ上にいるときは加速しないでください。
9. トレーラーが前方に傾く場合も、加速させずに車両を単に移動させるだけにしてください。
 10. 車両が上ったら、シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます（装備されている場合）。

車両が自力で上れない場合、行ま過ぎるリスクがある場合、原因または何らかの危険な状況が、自力で上ることができない場合は、ウィンチを使用して次のように作業を進めます。

ウィンチを使用して車両を牽引装置上まで引く

車両が自力で上ることができなときは、以下の手順に従ってください。

⚠ 警告
他の人の助けを借ります。一人が車両に乗って車両のステアリング、ブレーキ、およびウィンチのスイッチを操作し、もう一人が周辺環境や操作の安全性を管理します。

⚠ 警告
ウィンチのフックを適切なアンカーポイントに安全に取り付け可能なことを確認します。適切な索具を使用してください。

注記：
車両を安全に始動できる場合は、バッテリーの消耗を防止するため、ウィンチ操作時にエンジンをアイドリングさせておきます。

1. シフトレバーをニュートラル（N）にします。
2. 車両にウィンチが装備されている場合は、そのウィンチを使用して車両をプラットフォームまで移動させます。

3. 車両にウィンチが装備されていない場合は、以下の手順に従ってください。

1. ストラップを下側のフロントバンパーアンカーに取り付けます。
 2. 牽引車のウィンチケーブルにストラップを固定します。
 3. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
4. シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます（装備されている場合）。

移送時の車両の固定

この車両を輸送するときは、適切なストラップを使用してトレーラーまたはピックアップボックスに車両を固定します。一般的なロープの使用は推奨しません。

⚠ 警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- （雪や泥で）身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

⚠ 警告

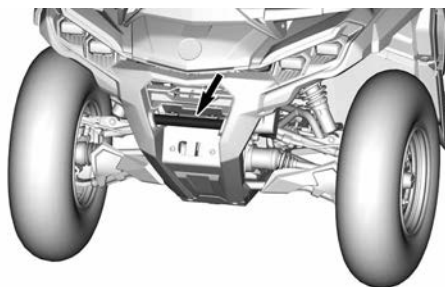
この車両を、乗用車などの車で牽引しないでください。トレーラーを使用してください。このウォータークラフトを直立させて運搬するのはやめてください。車両は通常の動作位置（すべてのホイールが床にしている状態）としてください。

下記の手順を必ず行ってください。

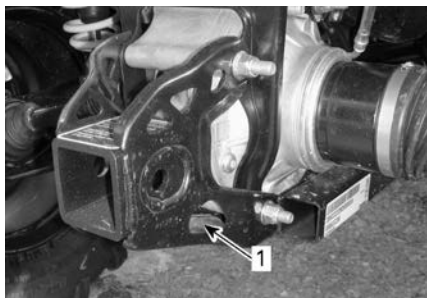
- 輸送前に車両にラックから貨物を降ろします。
- 後方および上方に数回引いて、シートが所定位置に正しく固定されていることを確認します。
- シフトレバーをパーキング位置にします。
- ブレーキロックレバーをかけてください。
- 車両を前側および後ろ側の固定ポイントで固定します。

⚠ 警告

すべてのシート、アクセサリ、および貨物については、道路に落下したり、他の車両を危険にさらしたりすることがないように、必ず正しく固定するか取り外すようにしてください。



前側の固定ポイント位置



代表的な例

1. 後ろ側の固定ポイント位置

注意

車両を他の位置に固定すると、車両が損傷する場合があります。

トレーラーから車両を降ろす

⚠ 警告

移送中に車両が動いた可能性があります。車両の位置がランプに揃っていることを確認してから、作業を進めてください。

⚠ 警告

トレーラーから車両を後退させるときは、視認性が著しく低下します。他の人に手伝ってもらい、安全な環境であり位置が正しく揃っていることを確認してください。

空白ページ

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、**始業点検は必要です。**

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。

警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am Off-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am Off-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am Off-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am Off-roadディーラーに制限しています。詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国EPAはエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

極端な環境下で運転した後のお手入れ

- 車両全体を真水で洗い流してください。
- CVTカバーを清掃します。
- CVTカバーから水を抜きます。カバーを外し、水や泥があれば清掃します。
- エンジンエアフィルターを点検します。水や泥があれば、エンジンエアフィルターハウジングを清掃します。
- ギヤボックス、フロントディファレンシャル、およびリアファイナルドライブのベントホースに水が溜まっていないか目視点検します。水があった場合は、最寄りの認定Can-Am Off-Roadディーラーまで車両を運搬し、点検と整備を受けてください。

- 粉塵や汚れで損傷しないよう、ショックアブソーバーを清掃します。
- ドライブシャフトベローズを清掃します。

過酷な粉塵環境

車両が下記の条件で使用されている場合は、メンテナンス表内の過酷な環境の表を参照してください。

- 最大積載量の75%を超えた状態での、貨物の運搬の繰り返し。
 - 駆動システムに高い負荷がかかると、ディファレンシャル、ギアボックス/トランスミッション、エンジンオイルの寿命が短くなります。これにより、内部コンポーネントの寿命も短くなります（頻繁に交換しない場合）。
- 過剰な速度での長時間の走行。

平均的な多目的用途/業務用途よりも高速で使用すると、通常のトレイル用途、レクリエーション用途、または不定期の多目的用途よりも頻繁にフルード類や摩耗部品を交換する必要があります。

エアフィルターのメンテナンスガイドライン

エアフィルターは走行条件に応じて整備します。

次のような極端にほこりの多い環境では、エアフィルターをより頻繁に整備します。

- 乾燥した砂の上での走行
- 乾燥した土で覆われた路面での走行
- 雪で覆われた路面での走行
- 乾燥した砂利道または類似環境での走行

これらの環境でグループ走行を行うと、エアフィルターのメンテナンス回数が増えます。

注記：

上記のような状況で車両を使用するときは、雪の堆積を防止するために、アクセサリーのプレフィルターを使用する必要があります。詳細は認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

深い泥地/水場での使用

車両がX mrであるか、深い泥地/水場での使用のためにアクセサリーが装備されているかを問わず、この種の使用では、異物が機械コンポーネントに侵入しないようにするために、メンテナンスと点検をより頻繁に行う必要があります。

深い泥地や水場で定期的に車両を運転している場合は、メンテナンススケジュールの深い泥地/水場のセクションを参照してください。

運転後は必ず、深い泥地/水場環境で運転した後のお手入れを実施してください。

深い泥地/水場環境で運転した後のお手入れ

- 車両とそのコンポーネントをきれいな水ですすぐ。
- CVTエアフィルターを清掃する。
- CVTコンパートメントの排出を行い、水や泥があれば清掃する。

- エンジンエアフィルターおよびエンジンエアフィルターハウジングを点検して清掃する。
- ラジエーターを清掃する。
- ベントホース（燃料タンク、ギャボックス、フロントディフアレンシャルおよびリアファイナルドライブ）に水が溜まっていないか目視点検する。水がある場合は、最寄りのCan-Am off-road正規ディーラーまで車両を運搬し、ベント関連の主なコンポーネントの点検と整備を受けてください。
- 粉塵や汚れでシールが損傷しないよう、フロントおよびリアショックアブソーバーを清掃する。
- ドライブシャフトベローズとプロペラシャフトヨークまたはブーツを清掃する。

メンテナンスのスケジュール

推奨するメンテナンスの間隔は次の表に示す通りです。これに従い、適切なメンテナンスを実施してください。

メンテナンス表の間隔は、次の3つの要因に基づいています。

- 暦時間
- 車両時間：
- オドメーターの表示値

これらの中で早く到達するものを考慮して、メンテナンス時期を決定してください。

従うべき基準は、運転習慣によって異なります。例：

- 隔週末に車両を使用して友人とトレール走行を楽しんでいる人は、ほとんどの場合、**オドメーターの表示値**に従ってメンテナンス間隔を決定するようになります。
- 年間で車両をほぼ使用しない、または（ハンティングやキャンプなどで）数回しか使用しない人は、ほとんどの場合、**暦時間**に従ってメンテナンス間隔を決定するようになります。
- 車両を毎日使用したり、週末に農作業などの用途で長時間使用したりする人は、ほとんどの場合、**車両時間**に従ってメンテナンス間隔を決定するようになります。

重要事項： 次の表は、最初の3年間のメンテナンス実施概要を示しています。これ以降の年については、同じパターンを交互に繰り返してください。

定期メンテナンス概要			
暦年	車両時間	オドメーター	定期メンテナンス
1	100	3000 km (1900 mi)	A
2	200	6000 km (3700 mi)	AおよびB
3	300	9000 km (5600 mi)	A

過酷な環境や泥地/水場で使用した場合のメンテナンス概要

暦年	車両時間	オドメーター	過酷な環境や深い泥地/水場
0.5	50	1500 km (900 mi)	A+
1	100	3000 km (1900 mi)	A+およびA
1.5	150	4500 km (2800 mi)	A+
2	200	6000 km (3700 mi)	A+、A、およびB
2.5	250	7500 km (4700 mi)	A+
3	300	9000 km (5600 mi)	A+およびA

通常環境で使用した場合	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行 ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行 ごと
エアおよび燃料供給		
エンジンエアフィルター	I、C、LまたはR	
空気供給コンポーネントおよび機能 (エアボックス、スロットルボディ、ダクト、クランプ) *	I、C	
燃料コンポーネントおよび機能 (燃料タンクキャップ、燃料タンク、ホース、クランプ、漏れ) *	I	
燃料ポンプ圧力		I
ボディ、シャーシおよびアクセサリ		
フレームの状態	I	
シートラッチ	I	
ウィンチ	I、C	
エンジンおよび冷却		
エンジンオイルとフィルタ	R	
バルブクリアランス (暦時間を問わず)	I、A	
スパークプラグ (暦時間を問わず)		R
エンジンシールおよびガスケット	I	
エンジン冷却コンポーネント (クーラント濃度、クーラントレベル、ホース状態、クランプ、漏れ) *	I、A	I
エンジン クーラント	R 5年ごとまたは12,000 km (7,500 mi) 走行ごと	
ラジエーター	C	
排気および排出ガス		
燃料タンクベントブリーザーフィルター (EVAPモデル以外)	R	
キャニスターベントプレフィルター (CARB およびEVAPモデル)		R
排気コンポーネント (ガスケット、パイプ、マフラー状態、漏れ) *	I、C	

通常環境で使用した場合	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行 ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行 ごと
マフラスパークアレスター	C	
エキゾーストパイプおよびマフラーエリア周辺の異物	C	
ブレーキ		
ブレーキコンポーネントおよび機能 (オイルレベル、ブレーキパッド、ブレーキディスク、キャリパー、ブレーキライン、マスターシリンダー) *	I、C、L、A	
ブレーキ液	R 2年ごと	
ドライブ		
ギヤボックスオイル	R 最初の3000 km (1900 mi) およ び6000 km (3700 mi) の走行後に交 換し、以降は定期スケジュールに従っ てください	
ギヤボックスオイル	I、A	R
フロントディファレンシャルオイル	I、A	R
リアファイナルドライブ	I、A	R
タイヤ (摩耗および圧力)	I、A	
ホイールビードロックボルト (装備の場合)	合	
車輪ラグナット	合	
ドライブコンポーネントおよび機能 (イン プットおよびアウトプットシャフトシール、ド ライブシャフトベローズ、プロペラシャフト Uジョイント) *	I、L	
コントロール		
パーキングポジションレバーの動作	I、A	
スロットルケーブル (装備されている場合)	I、A、L	
スロットルの動作	I	
無段変速機 (CVT)		
CVTコンポーネントおよび機能*	I、C	L
電気式		

通常環境で使用した場合	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行 ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行 ごと
バッテリー接続部および状態	I, C	
電子モジュール (故障コードおよび該当のソフトウェアの更新)	I	
電気ハーネスの取り回し	I	
車両速度センサー	C	
コントロールスイッチおよび照明の動作 (すべてのライトの動作、すべてのスイッチの動作) *	I	
ステアリング		
ステアリングコンポーネントおよび機能 (ステアリングコラム、タイロッド) *	I	
ステアリングコラムハーフブッシング		I, C, L
サスペンション		
サスペンションコンポーネントおよび機能 (ショックアブソーバー、球面ベアリング、サスペンションアーム、トレーリングアーム) *	I, C, L, T	
スタビライザーバブッシュ	I, L 1000 km (620 mi) ごとを推奨	

*実施するメンテナンス作業のリストについては、最寄りのディーラーにお問い合わせください

過酷な環境で使用した場合	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ごと
エアおよび燃料供給			
エンジンエアフィルター	I、C、LまたはR		
空気供給コンポーネントおよび機能 (エアボックス、スロットルボディ、ダクト、クランプ) *	I、C		
燃料コンポーネントおよび機能 (燃料タンクキャップ、燃料タンク、ホース、クランプ、漏れ) *		I	
燃料ポンプ圧力			I
ボディ、シャーシおよびアクセサリ			
フレームの状態		I	
シートラッチ		I	
ウィンチ	I、C		
エンジンおよび冷却			
エンジンオイルとフィルタ	R		
バルブクリアランス (暦時間を問わず)		I、A	
スパークプラグ (暦時間を問わず)			R
エンジンシールおよびガスケット		I	
エンジン冷却コンポーネント (クーラント濃度、クーラントレベル、ホース状態、クランプ、漏れ) *		I、A	I
エンジン クーラント	R 5年ごとまたは12,000 km (7,500 mi) 走行ごと		
ラジエーター		C	
排気および排出ガス			
燃料タンクベントブリーザーフィルター (EVAPモデル以外)		R	
キャニスターベントプレフィルター (CARBおよびEVAPモデル)			R

過酷な環境で使用した場合	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ごと
排気コンポーネント (ガスケット、パイプ、マフラー状態、漏れ) *		I, C	
マフラスパークアレスター	C		
エキゾーストパイプおよびマフラーエリア周辺の異物	C		
ブレーキ			
ブレーキコンポーネントおよび機能 (オイルレベル、ブレーキパッド、ブレーキディスク、キャリパー、ブレーキライン、マスターシリンダー) *	I, C, L, A		
ブレーキ液	R 2年ごと		
ドライブ			
ギヤボックスオイル	R 最初の3000 km (1900 mi) および6000 km (3700 mi) の走行後に交換し、以降は定期スケジュールに従ってください		
ギヤボックスオイル	I, A	R	
フロントディファレンシャルオイル	I, A	R	
リアファイナルドライブ	I, A	R	
タイヤ (摩耗および圧力)	I, A		
ホイールビードロックボルト (装備の場合)		合	
車輪ラグナット	合		
ドライブコンポーネントおよび機能 (インプットおよびアウトプットシャフトシール、ドライブシャフトベローズ、プロペラシャフトUジョイント) *	I, L		
コントロール			
パーキングポジションレバーの動作		I, A	

過酷な環境で使用した場合	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ごと
スロットルケーブル (装備されている場合)		I、A、L	
スロットルの動作		I	
無段変速機 (CVT)			
CVTコンポーネントおよび機能*		I、C	L
電気式			
バッテリー接続部および状態		I、C	
電子モジュール (故障コードおよび該当のソフトウェアの更新)		I	
電気ハーネスの取り回し		I	
車両速度センサー		C	
コントロールスイッチおよび照明の動作 (すべてのライトの動作、すべてのスイッチの動作) *		I	
ステアリング			
ステアリングコンポーネントおよび機能 (ステアリングコラム、タイロッド) *	I		
ステアリングコラムハーフブッシング			I、C、L
サスペンション			
サスペンションコンポーネントおよび機能 (ショックアブソーバー、球面ベアリング、サスペンションアーム、トレーリングアーム) *	I、C、L	合	
スタビライザーバーブッシュ	I、L 1000 km (620 mi) ごとを推奨		

*実施するメンテナンス作業のリストについては、最寄りのディーラーにお問い合わせください

深い泥地/水場	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ごと
エアおよび燃料供給			
エンジンエアフィルター	I、C、LまたはR		
空気供給コンポーネントおよび機能 (エアボックス、スロットルボディ、ダクト、クランプ)*	I、C		
燃料コンポーネントおよび機能 (燃料タンクキャップ、燃料タンク、ホース、クランプ、漏れ)*		I	
燃料ポンプ圧力			I
ボディ、シャーシおよびアクセサリ			
フレームの状態		I	
シートラッチ		I	
ウィンチ	I、C		
エンジンおよび冷却			
エンジンオイルとフィルタ	I、A	R	
バルブクリアランス (暦時間を問わず)		I、A	
スパークプラグ (暦時間を問わず)			R
エンジンシールおよびガスケット		I	
エンジン冷却コンポーネント (クーラント濃度、クーラントレベル、ホース状態、クランプ、漏れ)*		I、A	I
エンジンクーラント	R 5年ごとまたは12,000 km (7,500 mi) 走行ごと		
ラジエーター	C		
排気および排出ガス			
燃料タンクベントプリーザーフィルター (EVAPモデル以外)		R	
キャニスターベントプレフィルター (CARBおよびEVAPモデル)			R

深い泥地/水場	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ご と
排気コンポーネント (ガスケット、 パイプ、マフラー状態、漏れ) *	I, C		
マフラスパークアレスター	C		
エキゾーストパイプおよびマフラー エリア周辺の異物	C		
ブレーキ			
ブレーキコンポーネントおよび機能 (オイルレベル、ブレーキパッド、 ブレーキディスク、キャリパー、ブ レーキライン、マスターシリンダ ー) *	I, C, L, A		
ブレーキ液	R 2年ごと		
ドライブ			
ギヤボックスオイル	R 最初の3000 km (1900 mi) および6000 km (3700 mi) の走行後に交換し、以降は定期 スケジュールに従ってください		
ギヤボックスオイル	I, A		R
フロントディファレンシャルオイル	I, A		R
リアファイナルドライブ	I, A		R
タイヤ (摩耗および圧力)	I, A		
ホイールビードロックボルト (装備 の場合)		合	
車輪ラグナット	合		
ドライブコンポーネントおよび機能 (インプットおよびアウトプットシ ャフトシール、ドライブシャフトベ ローズ、プロペラシャフトUジョイ ント) *	I, L		
コントロール			
パーキングポジションレバーの動作		I, A	
スロットルケーブル (装備されてい る場合)		I, A, L	

深い泥地/水場	A+	A	B
A = 調整 C = 清掃 I = 点検 L = 潤滑 R = 交換 T = トルク	6ヶ月ごと または 50時間 または 1500 km (900 mi) 走行ごと	毎年 または 100時間 または 3000 km (1900 mi) 走行ごと	2年ごと または 200時間 または 6000 km (3700 mi) 走行ごと
スロットルの動作	I		
無段変速機 (CVT)			
CVTコンポーネントおよび機能*		I, C	L
電気式			
バッテリー接続部および状態		I, C	
電子モジュール (故障コードおよび 該当のソフトウェアの更新)		I	
電気ハーネスの取り回し		I	
車両速度センサー		C	
コントロールスイッチおよび照明の 動作 (すべてのライトの動作、すべ てのスイッチの動作) *		I	
ステアリング			
ステアリングコンポーネントおよび 機能 (ステアリングコラム、タイロ ッド) *	I		
ステアリングコラムハーフブッシン グ			I, C, L
サスペンション			
サスペンションコンポーネントおよ び機能 (ショックアブソーバー、球 面ベアリング、サスペンションア ーム、トレーリングアーム) *	I, C, L	合	
スタビライザーバンプシュ	I, L 1000 km (620 mi) ごとを推 奨		

*実施するメンテナンス作業のリストについては、最寄りのディーラーにお問い合わせください

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前

シリアル番号： _____	署名（活字体）：
走行距離 （km）： _____	
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番号 ： _____	
注意： _____	

取り付け手順詳細については、車両のブリデリバリーブリテンを参照してください。	

最初の点検

走行距離 （km）： _____	署名（活字体）：
時間： _____	
日付： _____	
ディーラー番号 ： _____	
注意： _____	

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km) : _____ 時間 : _____ 日付 : _____ ディーラー番号 : _____ 注意 : _____ _____	署名 (活字体) : _____
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

署名 (活字体) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

署名 (活字体) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

注意 :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

これらの手順について自信がない場合は、認定 Can-Am 性能に Can-Am off-Roadディーラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

⚠ 警告

特に指示がない限り、エンジンを停止してキーを取り外してから、メンテナンスを行う必要があります。

⚠ 警告

ロック装置（ロックタブ、戻り止めファスナーなど）の取り外しが必要な場合、必ず新品と交換してください。

メッセージのリセット：メンテナンスが必要

1. 下側ボタン（4.5インチデジタルディスプレイ）またはメニューボタン（7.6インチデジタルディスプレイ）を使用して、SETTINGSのRES MAINを選択します。
2. ボタンを押したままにして、メンテナンスメッセージをリセットします。

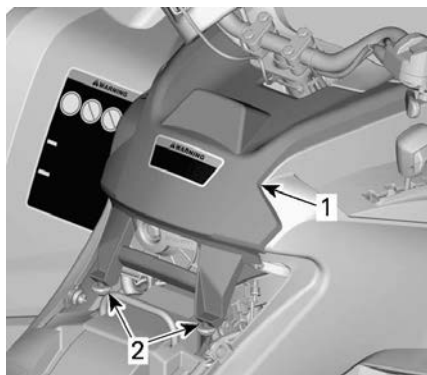
エンジンエアフィルター

エンジンエアフィルターの取り外し

注意

エアフィルターのハウジングのいかなるコンポーネントを取り外したり、改造しないでください。さもないと、エンジンパフォーマンスの低下または損傷が起こる可能性があります。エンジンは、これらのコンポーネント専用に変更されています。

1. シートを取り外します。
2. スタッドがグロメットから外れるまで、コンソール後部を上方向に持ち上げます。



代表的な例

1. コンソール
2. スタッドとグロメット
3. コンソールを後方に引きます。
4. エアフィルターのカバーを取り外すには反時計回りに回します。

注記：
取り外しが楽なように、ソケットレンチを使用してもかまいません。

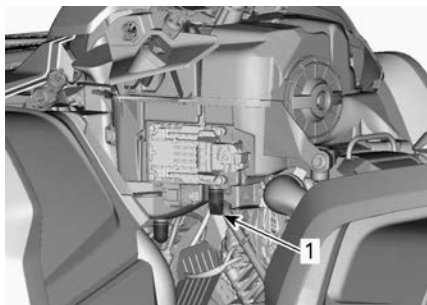


1. エアフィルターのカバー
5. エアフィルターのを取り外します。



エンジンエアフィルターハウジングの点検およびドレン

1. 左側パネルを取り外します。
2. エアフィルターハウジングのインレットドレンチューブから水を抜きます。



代表的な例

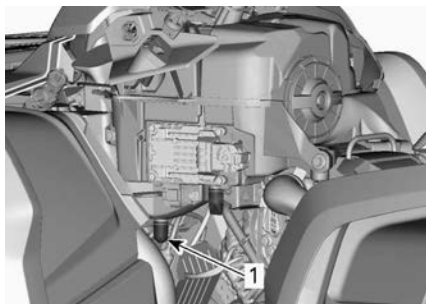
1. エアフィルターハウジングのインレットドレンチューブ
3. エアフィルターチャンバーの汚れを確認します。
 - 異物や水がある場合は、掃除機を使用してエアフィルターチャンバーを清掃します。

注意

圧縮エアをエアフィルターチャンバー内に吹き付けないでください。

4. エアフィルタードレンチューブを確認します (チャンバーを清掃します)。

- 異物や水がある場合は、特殊な手順のセクションを参照してください。
- 汚れの元を調べてください。



代表的な例

1. エアフィルタードレンチューブ

エンジンエアフィルターの清掃と潤滑

ペーパーフィルターの清掃

1. フォームフィルターがペーパーフィルターから取り除かれていることを確認します。
2. ペーパーフィルターから重い粉塵を叩き落とします。

こうすることで、汚れや粉塵が

ペーパーフィルターから外れません。

注記：

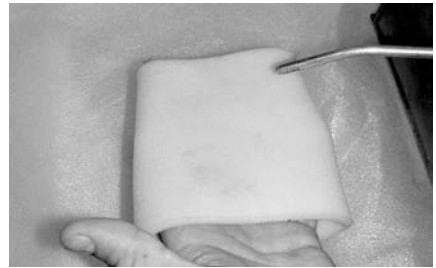
ペーパーフィルターには寿命があります。汚れすぎたり詰まった場合は交換してください。

注意

ペーパーエレメントに圧縮エアを吹き付けしないでください。ペーパーエレメントが損傷し、ほこりの多い環境で使用すると、フィルターのろ過性能が低下する可能性があります。エンジンエアフィルターが過度に汚れているため、推奨手順に従って清掃できない場合は交換してください。

注意

ペーパーフィルターを洗浄液で洗淨しないでください。



代表的な例

注記：

エレメントの汚れがひどい場合は、2回吹き付けなければならない場合があります。

フォームフィルターの給油

1. フィルターに汚れがないことを確認します。フォームフィルターの清掃のセクションを参照してください。
2. すでに乾燥したフォームフィルターにエアフィルターオイルを吹き付けます。



代表的な例

3. 3~5分間放置します。
4. フォームフィルターを吸収布に包み込み、優しく絞り、ペーパーフィルターに付着しかねない余分な油分を取り除きます。これにより、フォームフィルターを完全にオイルで被覆させることを確保できます。
5. フォームフィルターをペーパーフィルターの上に取り付けます。

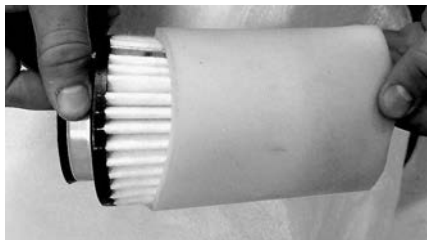
フォームフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフォームフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。



代表的な例

2. フォームフィルターを完全に乾燥させます。

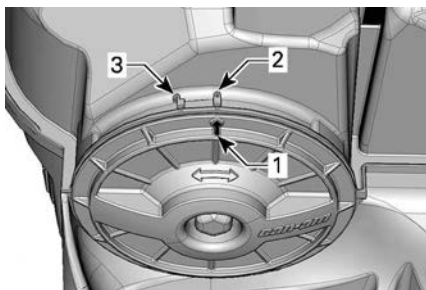


代表的な例

6. 今後の取り付けおよび取り外しの容易さを確保するために、フィルターのプラスチック本体にわずかに油を注ぎます。

エンジンエアフィルターの取り付け

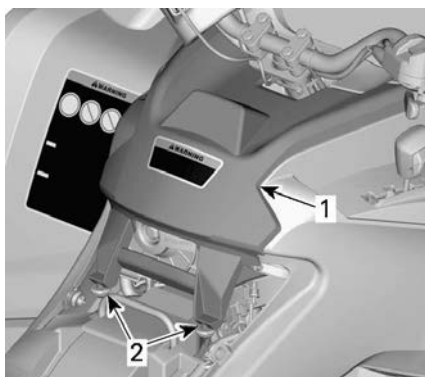
1. 注油されたフォームフィルターをペーパーエアフィルターに取り付けます。
2. エアフィルターのOリングシールとプラスチック本体にグリースを若干塗布します。
3. 取り外しとは逆の手順でエアフィルターを取り付けます。
4. エアフィルターカバーがエアフィルターハウジングに正しくロックされていることを確認します。フィルターカバーとハウジングの図を参照してください。



1. カバー位置の矢印
2. ロック位置
3. ロック解除位置

5. 取り外しとは逆の手順でコンソールを取り付けます。しかし、次の点に注意を払ってください。
 - コンソールの前側タブをスロットにそろえてから、コンソールを前方に押しします。

- その後、スタッドをコンソール後部のグロメットにそろえて、スタッドがグロメットに掛かるまでスタッドを挿入します。



代表的な例

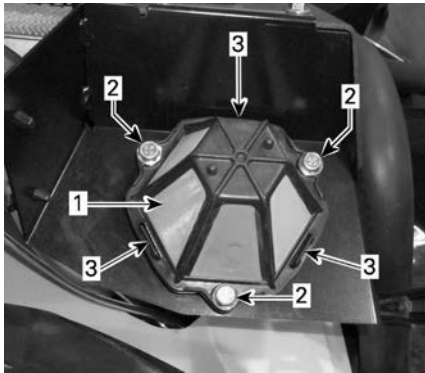
1. コンソール
2. スタッドとグロメット

6. シートを再度取り付けます。

CVTエアフィルター

CVTエアフィルターの取外し

1. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外しのセクションを参照してください。
2. 3つのボルトを取り外してタブを押し、CVTエアフィルターを取り外します。



1. CVTエアフィルター
2. スクリュー
3. タブ

CVTエアフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。
2. フィルターを完全に乾燥させます。



1. CVTエアフィルター

CVTエアフィルターの取り付け

1. 3つのタブがロックされるまで、CVTエアフィルターを慎重に押し込みます。
2. ボルトで固定します。規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
CVTエアフィルターのボルト	2.5 ± 0.5 Nm (22 ± 4 lbf-in)

3. ラジエーターカバーを取り付けます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの確認

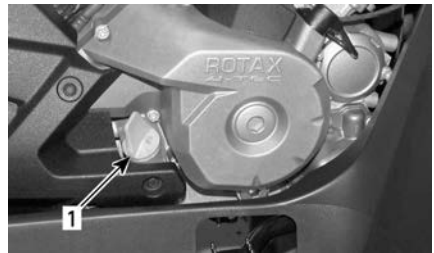
注意

オイルレベルが不適切なままでエンジン/ギヤボックスを使用すると、エンジン/ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。

注意

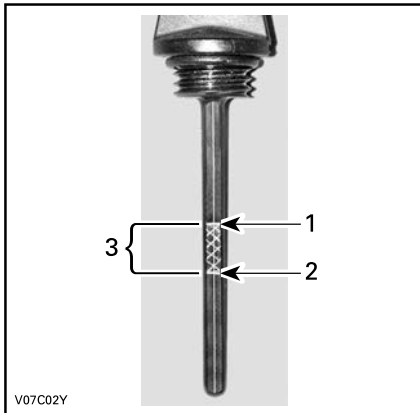
エンジンが冷えているときにオイルレベルを確認してください。

1. 水平面に車両を置いてください。
2. 異物がエンジン内に入らないように、オイルレベルゲージ部を清掃します。



代表例 - エンジン右側

1. デイップスティック
3. デイップスティックを緩めて引き抜き、オイルを拭き取ります。
4. デイップスティックを取り付けて完全にねじ込みます。
5. デイップスティックを外してオイルレベルを読み取ります。オイルレベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



代表的な例

1. 満タン
2. 給油
3. 動作範囲

オイルレベルが2つのマークの間にある場合は、オイルレベルゲージを取り付けます。

オイルレベルがレベルゲージの下側のマークに達していない場合は、次の手順に従ってオイルを補充します。

- オイルレベルゲージの穴にじょうごを入れます。
- 推奨オイルを少量補充し、オイルレベルを再度確認します。
- オイルレベルがレベルゲージの上側のマークに達するまで、この手順を繰り返します。

注意

燃料を入れすぎたはけません。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

6. ディップスティックを適切に締め付けます。

推奨エンジンオイル

Rotax®エンジンには、XPS®オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

エンジンに適さないオイルの使用が原因で生じた損傷には、BRPの限定的保証が適用されない場合があります。

XPS推奨エンジンオイル	
一般用	5W40合成ブレンドオイル
低温用	0W40合成オイル
高温用	10W50合成オイル
推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合	
<p>潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超える4ストロークSAEエンジンオイルを使用します。</p> <p>オイルの容器に貼付されているAPIサービ斯拉ベルの分類を必ず確認し、表示されている規格が含まれていることを必ず確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - APIサービス分類SN、または - JASO MA2。 	

エンジンオイルを交換します。

⚠ 注意

エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

注意

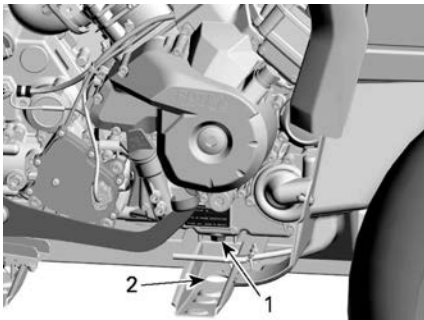
エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

1. 車両が平面上に停車していることを確認します。
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。

3. ディップスティックを取り外してください。
4. オイルドレンプラグ周辺を清掃します。
5. オイルドレンプラグの下にドレンパンを置きます。
6. マグネットドレンプラグを外して、ガスケットリングを廃棄します。

注意

エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。



1. 磁気ドレンプラグ
2. フレームからアクセス

7. 十分時間をかけて、オイルがエンジンおよびオイルフィルターから流れ出るようにしてください。
8. オイルフィルターを交換します。エンジンオイルフィルターのセクションを参照してください。
9. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はエンジン内部の損傷を示すものです。

10. 新品のガスケットリングをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

ガスケットリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

11. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

M12ドレンプラグ	20 ± 2 Nm (15 ± 1 lbf-ft)
M18ドレンプラグ	30 ± 2 Nm (22 ± 1 lbf-ft)

12. 推奨オイルを適正レベルまでエンジンに補給します。

オイル容量については技術仕様を参照してください。

13. エンジンを始動して数分間アイドルリングさせます。
14. オイルフィルター部分とオイルドレンプラグ部分から漏れていないことを確認します。
15. エンジンを止めます。
16. しばらく待ってオイルがクランクケース内に循環したあとに、オイルレベルを確認します。
17. 必要に応じて補給します。
18. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

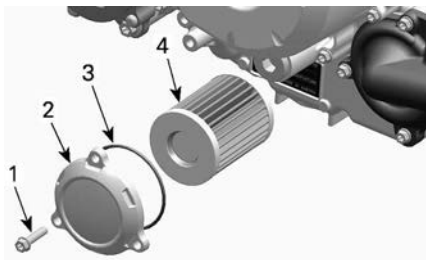
エンジンオイルフィルター

オイルフィルターの取り外し

オイルフィルターエリアを清掃します。

オイルフィルターカバーを取り外します。

オイルフィルターを取り外します。

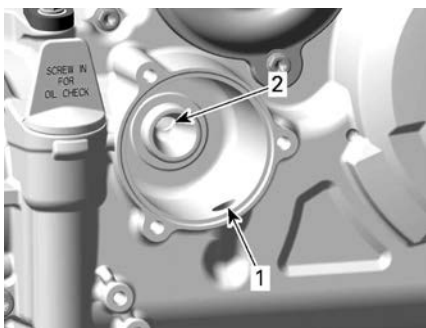


代表的な例

1. オイルフィルタースクリュー
2. オイルフィルターのカバー
3. Oリング
4. オイルフィルター

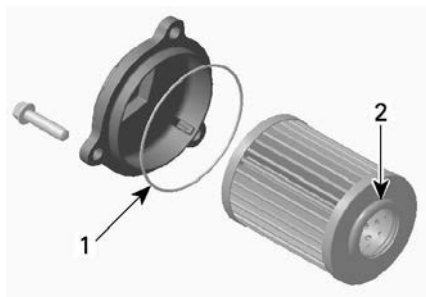
オイルフィルターの取り付け

1. 汚れや他の汚染がないかオイルフィルターインレットおよびアウトレット部を点検し、清掃します。



1. オイルポンプからオイルフィルターに続くインレットの穴
2. エンジンオイル供給システムに続くアウトレットの穴

2. 新しいOリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
3. 新しいフィルターをカバーに取り付けます。
4. エンジンオイルをOリングに、グリースをフィルター端部に塗布します。



1. オイル少量
2. オイル少量

注意

フィルターおよびカバーを取り付ける際にOリングを挟み潰さないように注意してください。

5. カバーをエンジンに取り付けます。
6. オイルフィルターカバーのねじを推奨トルクで締め付けます。

締め付けトルク

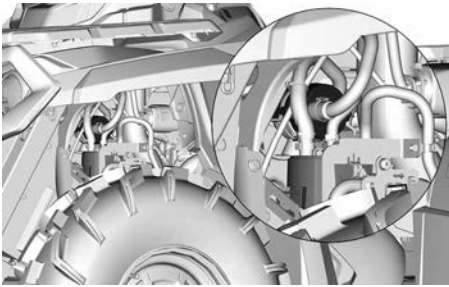
オイルフィルターカバーのスクリュー	10 ± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in)
-------------------	--------------------------------

7. エンジンに零れたオイルはふき取ってください。

蒸発排ガスシステムフィルター

蒸発ガスシステムフィルターの交換

蒸発ガスシステムフィルターは、EVAPキャニスターの上部にある左フロントインナーフェンダーの後方にあります。



1. EVAPキャニスターサポート上部にラウンドフィルターを固定している結束バンドを切断します。
2. フィルターを十分引き出し、両ホースに手が届くようにします。
3. ホースをフィルターに固定しているOetikerクランプを切断します。
4. フィルターを取り外し、廃棄します。
5. 新品のOetikerクランプを使用して新品のフィルターを取り付けます。

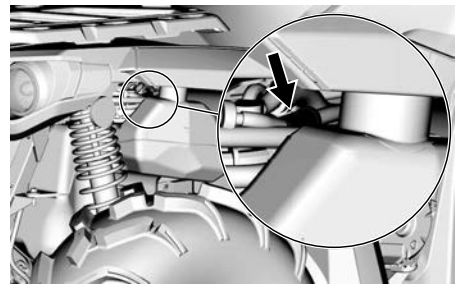
燃料ペントブリーザーフィルター

燃料ペントブリーザーフィルターの交換

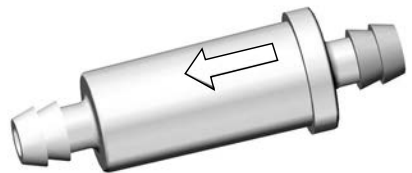
燃料ペントブリーザーフィルターは、燃料タンクネックとシートとの間の、リアフェンダーの下にあります。



1. リア右側ホイールアーチ付近にあるホースを、フィルターから外します。



2. フィルターを取り外し、廃棄します。
3. 矢印が車両後部を向くように、新しいフィルターを取り付けます。

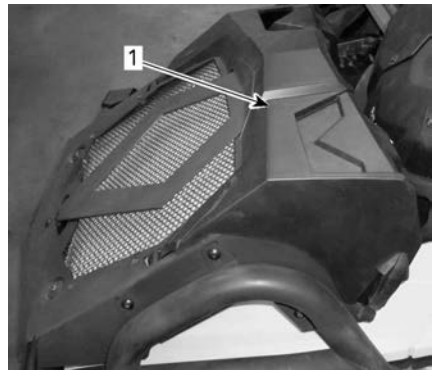


4. ホースがしっかり差し込まれていることを確認してください。

ラジエーター

ラジエーターの点検と清掃

1. ラジエーター部に汚れがないか定期的に確認します。

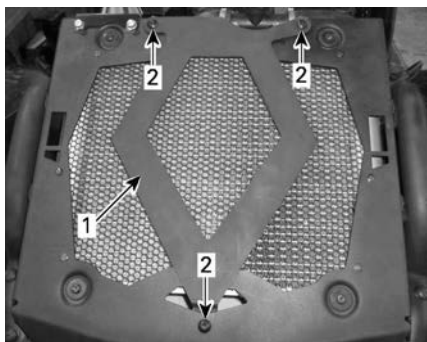


代表的な例

1. ラジエーター
2. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外

しのセクションを参照してください。

3. ラジエーターとホースに漏れや損傷がないか点検します。
4. 放熱フィン点を点検します。放熱フィンはきれいで、ラジエーターの正常な冷却を妨げるような泥や汚れ、落ち葉などの堆積物が付いていない状態でなければなりません。
5. ラジエータープロテクターを取り外します。ラジエータープロテクターの取り外しのセクションを参照してください。



1. ひし形プレート
2. 留めネジ

6. 堆積物を手でできるだけ取り除きます。付近で散水用のホースを使用できる場合は、ラジエーターフィンをすすぎます。

⚠ 注意

放熱フィンが高温のときは、ラジエーターを手で清掃しないでください。ラジエーターを冷ましてから清掃してください。

注意

清掃時に放熱フィンを損傷しないよう注意してください。フィンを損傷するような物 / 工具を使用しないでください。フィンは、効率的な冷却を実現するために意図的に薄くしています。ホースを使うときは、低圧で使用してください。高圧洗浄機を使用しないでください。

7. 認定 Can-Am Off-Road ディーラー、修理店、または担当整備士に、クーリングシステムの性能点検を依頼してください。

エンジンクーラント

エンジン冷却液レベルの検証

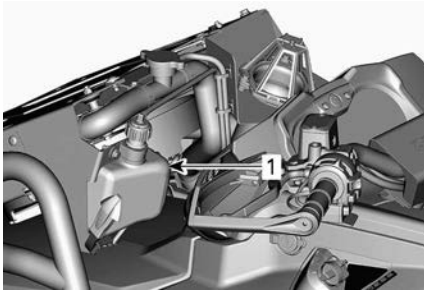
⚠ 警告

冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが熱いときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

1. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外しのセクションを参照してください。
2. 車両が水平になっている状態で、クーラントレベルはクーラントリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。

20 °C (68 °F) より低い温度でレベルを確認する場合、MIN. マーク

より若干低くなる場合があります。



1. エンジンクーラントリザーバー

クーラントをクーラントリザーバーに追加した場合は、ラジエーター内のレベルも確認します。

⚠ 警告

やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときは圧力キャップを外したり、クーラントドレンプラグを緩めないでください。

頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

カバーを閉じるときに干渉しないようクーラントリザーバーホースが正しく取り回されていることを確認します。

推奨エンジン冷却液

XPS推奨エンジンクーラント
XPSロングライフプレミッククーラント
推奨のXPSエンジンクーラントが入手できない場合
蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水 50%、不凍液50%)

注意

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

エンジンクーラントの交換

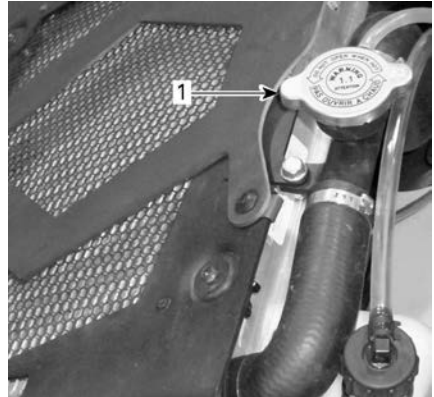
⚠ 警告

やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときは圧力キャップを外したり、クーラントドレンプラグを緩めないでください。

注意

フロントサービスコンパートメントには物を収納しないでください。

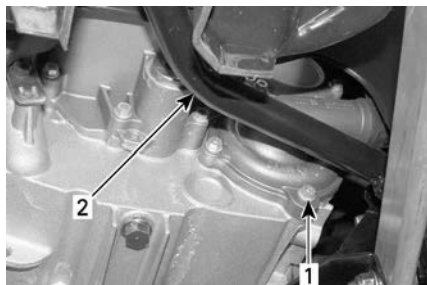
1. ラジエーターキャップを押しながら反時計方向に回して取り外します。



代表的な例

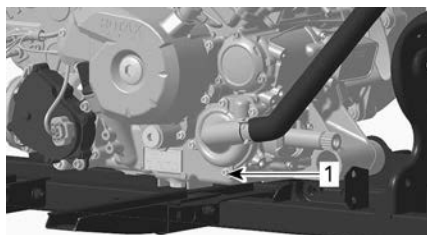
1. ラジエーターキャップ
2. ウォーターポンプのクーラントドレンプラグを緩め、クーラントを適切な容器に抜き取ります。

注記：
クーラントドレンプラグを完全に外さないでください。



代表例 - 1000Rエンジン

1. クーラントドレンプラグ
2. ブレーキペダル



代表例 - 570、650および850エンジン

1. クーラントドレンプラグ
3. 右側サイドパネルを取り外します。
4. サーモスタットハウジング上側のブリードねじを外します。

注記：

ブリードねじにアクセスするために、CVTフィルターアウトレットを取り外します。



1. ブリードねじ

5. システムからクーラントを完全に抜き取ります。

6. クーラントドレンプラグを取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク	
ドレンプラグ	10 ± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in)

7. クーラントがサーモスタットハウジングの穴から出るまで、クーラントをラジエーターに補充します。
8. ブリードねじを取り付けます。
9. ラジエーターへの補充を完了します。
10. クーラントリザーバー内のレベルを確認し、必要に応じて補充します。
11. ラジエーターキャップを外したままでエンジンをアイドリングさせます。必要に応じてクーラントをゆっくり追加します。
12. このとき、エンジンが通常の動作温度に達するまで待ちます。
13. スロットルレバーを2~3回押し、必要に応じてクーラントを追加します。
14. 取り外しとは逆の手順でラジエーターキャップを取り付けます。
15. 漏れがないかすべての接続部を点検し、リザーバー内のクーラントレベルを確認します。

エキゾーストシステム

排気システム周辺のエリアの清掃

⚠ 警告

排気システムが高温で異物が乾燥していると、堆積した異物が車両火災の原因になることがあります。場合によっては、この火災により重大な物的損害、重傷、または死亡事故を引き起こす可能性があります。沼地、湿地、または枯草や落ち葉がある場所で車両を使用している場合は、排気システム周辺のエリアを頻繁かつ定期的に清掃してください。その他の状況では、メンテナンススケジュール要件のとおり清掃してください。

⚠ 注意

エキゾーストシステムが大変高温になるため、エンジンを作動させた直後にこの作業を行わないでください。

1. 車両の後部から、マフラー周りのエリアを清掃します。
2. シートを取り外します。
3. 左サイドパネルをミドルパネルとともに取り外します。
4. 左フロントインナーフェンダーを取り外します。
5. フロントエキゾーストパイプ周りのエリア、およびリアエキゾーストパイプに沿うすべてのエリアを清掃します。

⚠ 警告

ヒートシールドの下も清掃します。

6. 取り外したすべての部品を再度取り付けます。

マフラースパークアレスターの清掃と点検

注記：
スパークアレスターのスクリーン交換は、損傷時のみ必要です。

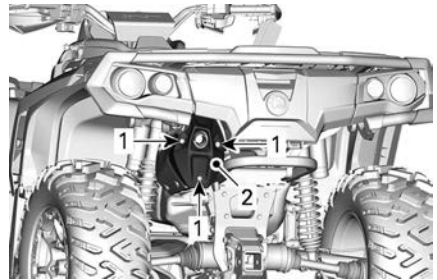
⚠ 注意

排気システムを冷ましてから清掃と点検を進めます。

1. マフラーカバーを外します。固定ねじは処分します。

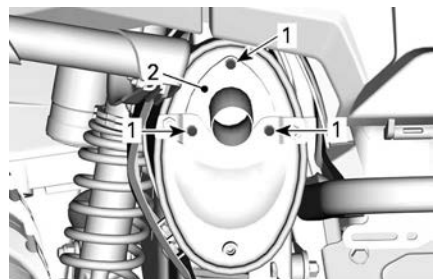
注意

ねじ類の取り外しにインパクトツールは使用しないでください。



代表的な例

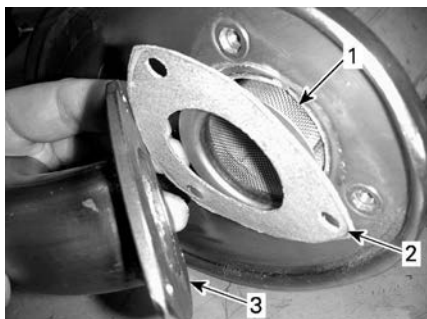
1. スクリュー
 2. カバー
2. テールパイプ固定ねじを取り外して処分します。



代表的な例

1. スクリュー
2. テールパイプ

- エキゾーストテールパイプ、ガスケット（処分）、およびスパークアレスターを取り外します。

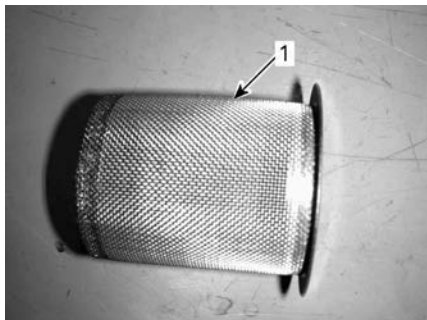


代表的な例

- スパークアレスター
- ガスケット
- エキゾーストテールパイプ
- ブラシを使ってスパークアレスターからカーボン堆積物を取り除きます。

注意

柔らかい金属ブラシを使用し、スパークアレスターメッシュを損傷させないように注意してください。



- スパークアレスターの清掃
- スパークアレスターのメッシュに損傷がないか点検します。必要に応じて取り換えます。

注記：
スパークアレスターのスクリーン交換は、損傷時のみ必要です。

- マフラー内のスパークアレスターチャンバーを点検します。必要に応じて異物を除去します。
- 新品のガスケット、テールパイプおよび固定ねじを取り付けます。
- 固定ねじを使用してマフラーカバーを取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク

テールパイプボルト	11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in)
カバースクリーユー	

ギヤボックス

ギヤボックスのオイルレベルの確認

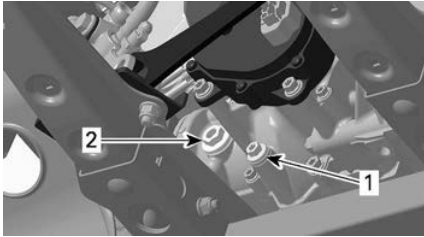
注意

オイルレベルを確認し、必要に応じて補充します。
燃料を入れすぎたはけません。オイルレベルが不適切な状態で使用を続けると、ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。
こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

- 車両を平面に停車します。
- NEUTRALポジションを選択します。
- パーキングブレーキをかけます。

注記：
エンジンが冷めて作動していないときにギヤボックスのオイルレベルを確認します。

- ギヤボックスのオイルレベルプラグを取り外します。



代表的な例

1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ
5. レベルを確認します。オイルは、オイルレベル穴の下側と同じ高さである必要があります。
6. 必要に応じて、ギヤボックスのオイルがオイルレベル穴から流れ出すまで補充します。

推奨ギヤボックスオイル

XPS オイルは、このギアボックスの潤滑要件を満たすために特別に配合されています。BRP では、この XPS オイルの使用を強く推奨しています。

XPS推奨ギヤボックスオイル
XPS 75W140合成ギヤオイル
推奨のXPSギヤボックスオイルが入手できない場合
潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超えるギヤボックスオイルを使用します。 - 75W 140 API GL-5 合成ギヤオイル

注意

整備時に、別のタイプのオイルを使用しないでください。

ギヤボックスオイルの交換

ギヤボックスオイルの抜き取り

1. 車両が平面上に停車していることを確認します。

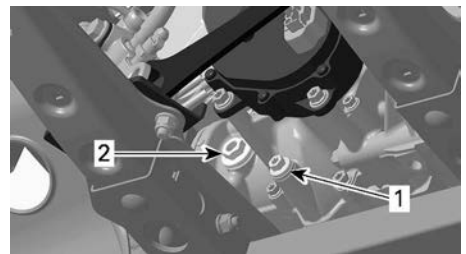
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。

注記： エンジンのアイドルリングでは不十分であるため、車両のギヤボックスを作動させる必要があります。

3. ドレンプラグとレベルプラグの周辺を清掃します。

⚠ 注意

ギヤボックスおよびギヤボックスオイルは、非常に高温になることがあります。



1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ
4. ドレンプラグとレベルプラグの下にドレンパンを置きます。
5. マグネット式ドレンプラグを取り外します。
6. シーリングリングを廃棄します。
7. オイルレベルプラグとそのOリングを取り外します。
8. ギヤボックスからオイルを完全に抜くため、左フットレストの下にジャッキを置き、車両を右側に傾けます。
9. ギヤボックスからオイルが流れ出るまで待ちます。
10. ギヤボックスが空になったら、ドレンプラグを取り付けて車両を地面に降ろします。
11. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はギヤボックス内部の損傷を示すものです。

12. 新品のシーリングワッシャーをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

13. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

磁気ドレンプラグ	20 ± 2 Nm (15 ± 1 lbf-ft)
----------	--------------------------------

14. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

ギヤボックスオイルの補充

1. オイルレベルプラグを外した状態で、オイルが穴の下側に達するまで、オイルレベル穴から推奨ギヤボックスオイルを充填します。
2. オイルレベルプラグをOリングとともに取り付けます。

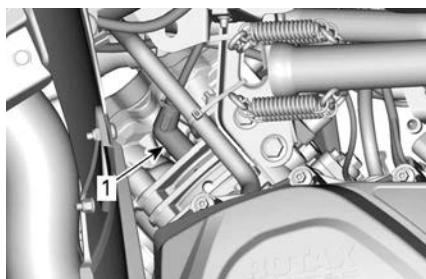
締め付けトルク

オイルレベルプラグ	5 ± 0.6 Nm (44 ± 5 lbf-in)
-----------	---------------------------------

スパークプラグ

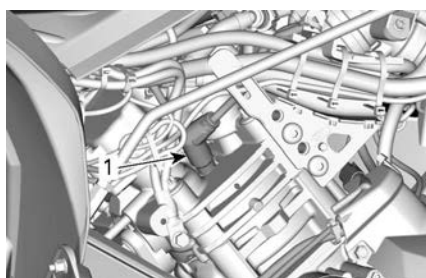
スパークプラグの取り外し

1. パネルを取り外し、スパークプラグ部分に手が届くようにします。
2. スパークプラグケーブルを外します。
3. スパークプラグを1回転回して緩めます。
4. 可能な場合は、圧縮エアでスパークプラグとシリンダーヘッドを清掃します。
5. スパークプラグソケットを使用してスパークプラグを完全に緩めて、取り外します。



右側 — リアシリンダー

1. スパークプラグ



左側 — フロントシリンダー

1. スパークプラグ

スパークプラグの取り付け

1. 取り付ける前に、シリンダーヘッドやスパークプラグの接触面に汚れが付いていないことを確認します。
2. 隙間ゲージを使用して、技術仕様に記載されているように電極ギャップを設定します。
3. 潤滑剤をスパークプラグのねじ部に少量塗布して、焼き付きを防止します。

銅ベースの焼き付き防止潤滑剤

4. スパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、トルクレンチと適切なソケットを使用して締め付けます。

注意

スパークプラグを締め付けすぎないでください。エンジンが損傷する場合があります。

締め付けトルク	
850 1000R	11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in)

CVT カバー

一部のイラストは、分かりやすいようにエンジンが車両から取り除かれた状態で表示されています。手順の中には、実行する際にエンジンを車両から取り外す必要がないものもあります。

⚠ 警告

決してエンジン作動中に CVT には触れないでください。
CVT カバーを取り外した状態では絶対に車両を運転しないでください。

⚠ 注意

エンジンが冷めてからカバーを取り外してください。

注意

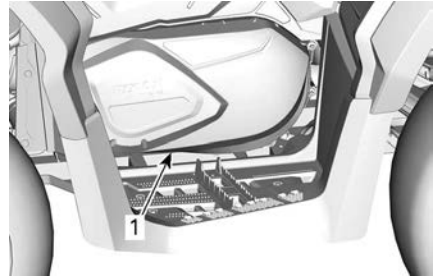
この CVT には潤滑剤は塗布されていません。
ドライブプーリーヘアリング以外のコンポーネントには絶対に潤滑剤を塗布しないでください。

CVTカバーへのアクセス

CVTカバーは車両の左側にあります。

次の部品を取り外します。

- 左側パネルおよび拡張パネル
- 左側フットボードパネル



代表的な例

1. CVTカバー

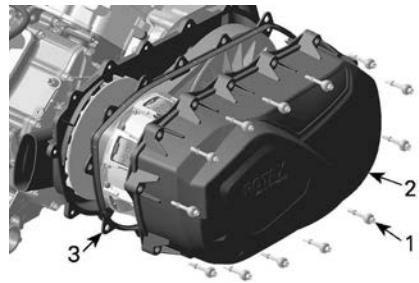
CVTカバーの取外し

1. CVTカバーのインレットおよびアウトレットエアクーリングダクトを切り離します。
2. すべてのCVTカバー固定ボルトを取り外します。
3. 取り外し作業の間カバーを支えておくため、中央上部のねじは最後に取り外します。

注意

CVT カバーボルトを取り外そうとして、インパクトツールを使用しないでください。

4. CVT カバーとそのガスケットを取り外します。



1. CVTカバーボルト
2. CVTカバー
3. ガスケット

CVTカバーの取り付け

1. カバーをエンジンに配置します。
2. 中央上部のねじを最初に取り付けます。

注意

CVTカバーボルトの取り付けにインパクト工具を使用しないでください。

3. 次の順序に従って、CVT カバーボルトを締め付けます。



締め付けトルク

CVT カバーボルト	7 ± 0.8 Nm (62 ± 7 lbf-in)
------------	-------------------------------

4. インレットおよびアウトレットエアクリーニングダクトを取り付けます。

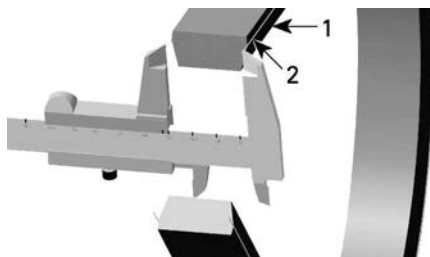
ドライブベルト

ドライブベルトの点検

1. ドライブベルトに割れ、ほころび、または異常な摩耗がないか点検します。必要に応じて交換します。
2. コードレベルでドライブベルト幅を確認します。ベルトが仕様範囲外であれば交換します。

ドライブベルトの幅

使用限度	30 mm (1.181 in)
------	---------------------



1. 駆動ベルト
2. ドライブベルト内のコード

ドライブベルトの取り外し

注意

ドライブベルトに不具合が生じた場合は、CVT、カバー、ドレンリザーバーおよびエアアウトレットを必ず清掃し、異物がないか点検してください。

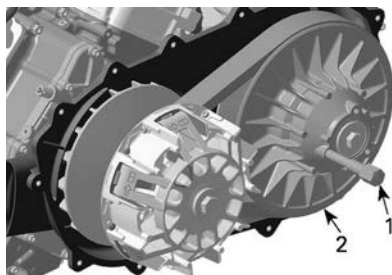
1. CVTカバーを取り外します。
2. ドリブプーリーを開きます。

プーラー/ロック用工具

(529036098)

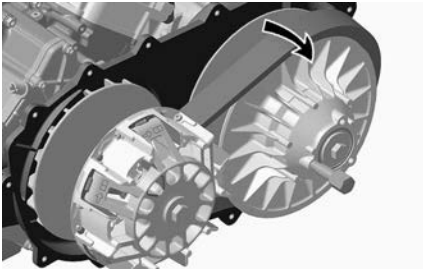


3. ドリブプーリーのねじ付き穴に工具をねじ込んで締め付け、プーリーを開きます。



1. プーラー/ロック用工具
2. ドリブプーリーの固定シーブ

4. ベルトを、固定シーブの上端の上をスライドさせて取り外します。

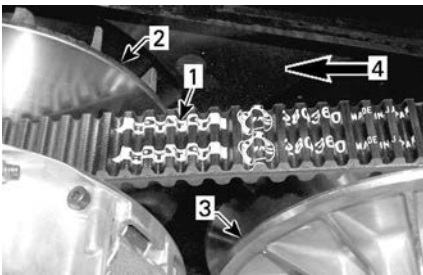


ドライブベルトの取り付け

取り付けは取り外し手順の逆です。次の点に注意を払ってください。

ドライブベルトを適切な回転方向で取り付けると、ドライブベルトの寿命が最長になります。

1. ベルトの矢印が上から見たときに車両前方を指すように、ドライブベルト取り付けてください。



1. ベルトの矢印
2. ドライブプーリー (フロント)
3. ドリブンプーリー (リヤ)
4. 回転方向

2. ドライブベルトの外表面にある歯の一番低い部分が、ドリブンプーリーの端部と面一になるまで、ドリブンプーリーを回します。



1. 歯の一番低い部分がドライブベルト外表面と面一になっている状態

ドライブおよびドリブンプーリー

ドライブおよびドリブンプーリーの点検

この点検は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

ドライブプーリー

ドライブプーリーのスライディングシーブのブッシングとローラーを点検し、摩耗した部品を交換します。

ドリブンプーリー

ドリブンプーリーのスライディングシーブのブッシング、およびカムを点検し、摩耗した部品を交換します。

バッテリー

⚠ 注意

車両に取り付けたままで絶対にバッテリーを充電しないでください。

これらの車両にはVRAバッテリー (Valve Regulated Lead Acid、「制御弁式鉛蓄電池」) が搭載されています。これはメンテナンスフリーのバッテリーであり、電解液レベルを

調整するために水を追加する必要がありません。

注意

バッテリーシーリングキャップを取り外さないでください。

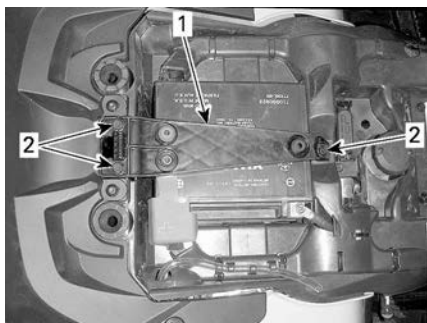
バッテリーの取り外し

- 最初に黒 (-) のケーブルを、そして赤 (-) のケーブルを外します。

注意

最初に黒の (-) バッテリーケーブルを外します。

- 固定ボルトとバッテリー固定ストラップを取り外してから、バッテリーをフレームから引き出します。



1. バッテリー固定ストラップ
2. 留めネジ

バッテリーの清掃

- 重曹と水の溶液で、バッテリー、バッテリーケース、ケーブルおよびバッテリーポストを清掃します。
- 硬いワイヤーブラシを使ってバッテリーケーブルターミナルおよび

メインヒューズボックス詳細

電子式スロットル制御 (ETC) 装備モデル

バッテリーポストの腐食を取り除きます。

バッテリーの取り付け

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

注意

必ず赤の (+) バッテリーケーブルを最初に接続します。

ヒューズ

ヒューズの位置

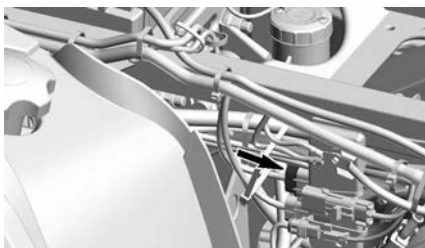
メインヒューズボックスは、ゲージサポートの下にあります。

注記：

ヒューズボックスカバーの内部を確認して、ヒューズの位置を把握します。

次のヒューズのホルダーは、右側パネル後部の後方にあります。

バッテリー/電圧レギュレーターヒューズ	40 A
DPS ヒューズ	40 A



いいえ。	説明	定格
RY1	冷却ファンリレー	—
RY2	メインリレー	—
RY3	ライトリレー	—
RY5	アクセサリリレー	—
RY6	ブレーキリレー	—
F1	スタートスイッチ/クラ スター	10A
F2	ライト	30A
F3	ACC 1	20A
F4	ACC2	20A
F5	燃料ポンプ/インジェク ター/イグニッションコ イル/EVAP	10A
F6	クラスター/リレー/ DPS/スピードリミッタ ー	10A
F7	ブレーキライト/テール ライト	10A
F8	D.E.S.S./ECM	10A
F9	2WD / 4WD	10A
F12	クーリングファン (リセット可能)	25A

ライト

⚠ 注意

必ずD.E.S.S.ポストからD.E.S.S.キーを取り外すか、イグニッションスイッチをOFF位置にしてから、不具合のあるバルブを交換してください。

取り換え後に必ずライトの動作を確認します。

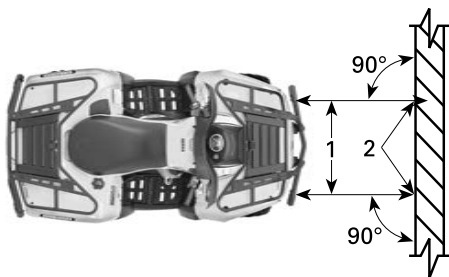
ヘッドライトバルブの交換

この車両は、ヘッドライトバルブの交換が不要です。この車両には、LED（発光ダイオード）ヘッドライトが装備されています。この技術は、非常に信頼性が高いことが証明されています。

作動しない場合は、認定 Can-Am Off-Road ディーラー、修理店または担当整備士に確認してもらってください。

ヘッドライトビームの光軸調整

1. 通常使用するように車両を始動させます。
2. 一番目の図のように、テスト面（壁またはスクリーン）の前5 m（16 ft）の位置に車両を配置します。
3. 各ヘッドライトの中心から地面までの距離（ハイビームおよびロービーム）を測定します。
4. それぞれの測定高さ（一方はハイビームの高さ、もう一方はロービームの高さ）を通る、地面と平行なラインを試験面まで引きます。



代表的な例

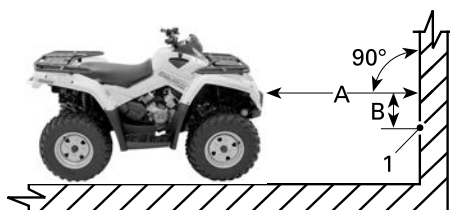
1. ヘッドライト中心線
2. ライトビームの中心

5. 調整するには調整ねじを回します。

ロービームの中心が、仕様によってテスト面まで引かれた当該水平中心線よりも50 mm（2 in）下にある場合、ロービームの光軸は正確です。

ハイビームの中心（焦点）が、仕様によってテスト面まで引かれた当該水平中心線よりも40 mm（1.57 in）下にある場合、ハイビームの光軸は正確です。

注記： ヘッドライトは、垂直方向のみの調整が可能です。

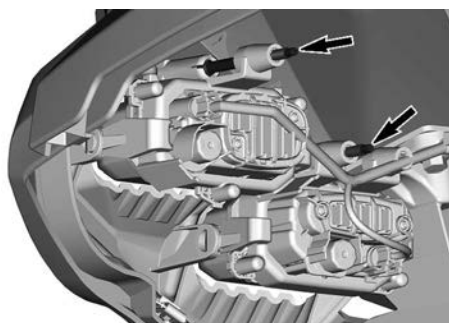


代表的な例

1. ライトビームの中心

A. 5 m（16 ft）

B. ビーム光軸の仕様



テールライトバルブの調整

テールライトを反時計方向に回して、テールライトハウジングから取り外します。



テールライトをその位置から引き抜きます。

バルブからコネクターを外します。

ライトバルブを反時計方向に回して、テールライトから外します。



バルブソケットをテールライトから取り外します。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

ドライブシャフトベローズおよびプロテクター

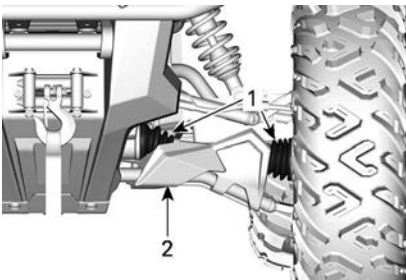
ドライブシャフトベローズおよびプロテクターの点検

ドライブシャフトプロテクターとベローズの状態を目視点検します。

プロテクターに損傷やシャフトとの擦れがないか確認します。

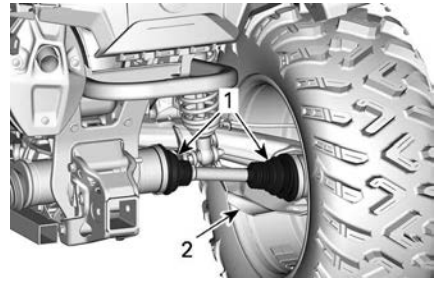
ベローズに亀裂、裂け、グリス漏れがないか確認します。

必要に応じて損傷した部品を修理または交換します。



代表例 - 車両前部

1. ドライブシャフトベローズ
2. プロテクター



代表例 - 車両後部

1. ドライブシャフトベローズ
2. プロテクター

ホイールベアリング

ホイールベアリングの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げ、支えます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. 上端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
6. 異常な遊びがある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。



代表的な例

ホイールおよびタイヤ

タイヤ空気圧

⚠ 警告

タイヤ空気圧は、車両のハンドリング性能および安定性に大きく影響します。タイヤの空気圧が不十分な場合はタイヤが収縮する原因となり、ホイールを中心に回転する場合があります。過度の圧力は、タイヤの破裂につながる可能性があります。常に推奨圧力に従ってください。タイヤ空気圧を絶対に最低圧力未満にしないでください。タイヤがリムから外れる原因となります。

車両を使う前にタイヤが冷たい状態で空気圧を確認します。タイヤ圧は、温度と高度で変化します。これらの条件のうちひとつでも変更した場合は、圧力を再確認します。

適切なタイヤの空気圧については、タイヤ圧力と最大荷重のラベルを参照してください。

注記：

タイヤはオフロード専用設計されたものですが、パンクする可能性があります。そのため、タイヤゲージ、空気入れ、および修理キットを携帯するよう推奨します。

タイヤの点検

タイヤに損傷や摩耗がないか確認します。必要に応じて交換します。

⚠ 警告

タイヤの位置は交換しないでください。フロントタイヤとリアタイヤはサイズが異なります。左側および右側のタイヤのトレッドパターンは、方向性が異なります。

タイヤの交換

タイヤの交換は、認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

⚠ 警告

元のタイヤと同じ種類およびサイズのタイヤとのみ交換します。一方向スレッドパターンのタイヤの場合は、タイヤが正しい方向に回転するよう取り付けます。タイヤは、熟練した整備士がタイヤ業界の基準と工具に基づいて交換する必要があります。

ホイールの取外し

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. ラグナットを緩めてから車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. ラグナットを取り外してからホイールを取り外します。

ホイールの取付け

場合によっては、今後の取り外しを容易にするために、ホイールラグナットを取り外して焼き付き防止剤を塗布する必要があります。これは、車両を塩水環境や泥地で使用するときに特に重要です。一度に1つのナットを取り外し、潤滑してから再度締め付けます。

1. ねじ部に焼き付き防止潤滑剤を塗布してください。

ロックタイト767 (焼き付き防止潤滑材)

2. タイヤが一方向性のものである場合は、タイヤの回転に合わせてホイールを取り付けてください。
3. ラグナットを対角順に慎重に締め付けてから、規定のトルクで締め付けます。

注意

必ずホイールに対して推奨されているホイールラグナットを使用します。異なるホイールラグナットを使用すると、リムまたはスタッドが損傷する可能性があります。

締め付けトルク

ホイールラグナット	80 ± 5 Nm (59 ± 4 lbf-ft)
-----------	------------------------------

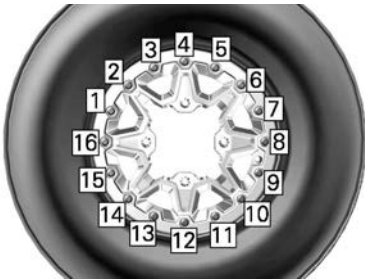
ホイールビードロックの点検**ホイールビードロックの締め直し****注意**

ビードロックのねじの取り付けにインパクトレンチは使用しないでください。インパクトレンチを使用するとねじが損傷する、またはねじ山が潰れるリスクが高くなります。

1. 下記の締め付け順に従って、すべてのボルトを規定トルクで締め付け直します。

締め付けトルク

ビードロックボルト	11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in)
-----------	------------------------------



代表例 - 最後の締め付け順序

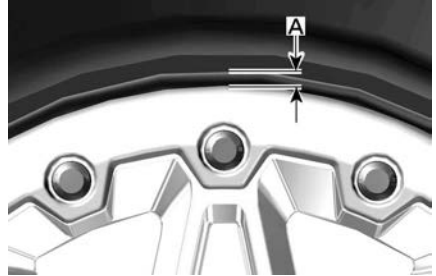
2. ビードロッククランプリングの圧力を均一にするために、一度に数回ずつボルトを締めます。

注記:

ビードロックのクランプリングがタイヤビードに合うようにわずかに撓むのは正常な反応です。

ホイールビードロックギャップの検証

1. タイヤとビードロッククランプリング間のギャップを確認します。ギャップはリング全周で均一なはずです。



代表的な例

1. タイヤとリング間のギャップ

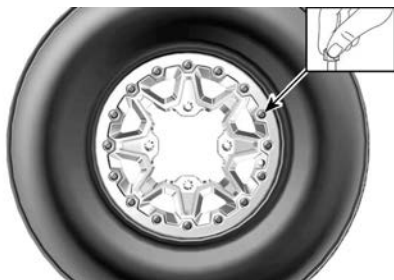
ギャップが不適切な場合は、ビードロックホイールへのタイヤの取り付けのセクションを参照してください。

ビードロックホイールにマウントされたタイヤ

1. ビードロックの反対側で、タイヤ取り付け用潤滑剤をタイヤとホイールのインナービードに塗布して、空気を入れたときに正しく接するようにします。
2. インナービードをノーマルなどのホイールに取り付けます。
3. タイヤを、ビードロックインナーリングのショルダー部に配置して、タイヤの中心位置を合わせます。
4. すべてのビードロックスクリューを手で取り付けます。斜めにねじ込まないようにしてください。

注意

ビードロックのねじの取り付けにインパクトレンチは使用しないでください。インパクトレンチを使用するとねじが損傷する、またはねじ山が潰れるリスクが高くなります。



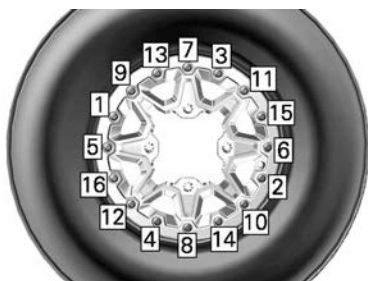
代表的な例

5. 次の順序およびトルクでビードロックねじを締め付けます。

注記：
ビードロッククランプリングに均一に圧力がかかるように、ねじを一度に数回転ずつ締め付けます。

締め付けトルク

ビードロックボルト (最初の順序)	$3 \pm 1 \text{ Nm}$ ($27 \pm 9 \text{ lbf-in}$)
-------------------	---



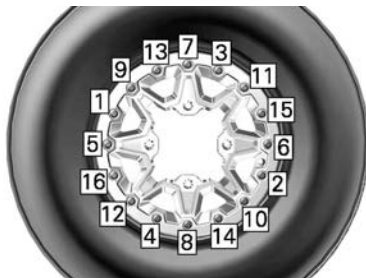
代表例 - 締め付け順序

6. この時、タイヤがホイールの中心にあるか確認します。必要に応じて位置を正します。

7. ビードロックのねじを2度目のトルクで同じ順序で締め付けます。

締め付けトルク

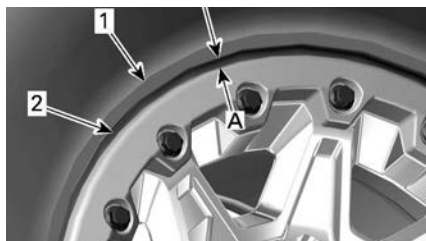
ビードロックボルト (2度目の順序)	$8 \pm 1 \text{ Nm}$ ($71 \pm 9 \text{ lbf-in}$)
--------------------	---



代表例 - 締め付け順序

注記：
ビードロッククランプリングはタイヤビードに合うよう若干収縮します。これは正常な状態です。

8. タイヤとビードロッククランプリング間のギャップを確認します。ギャップはリング全周で均一なはずです。



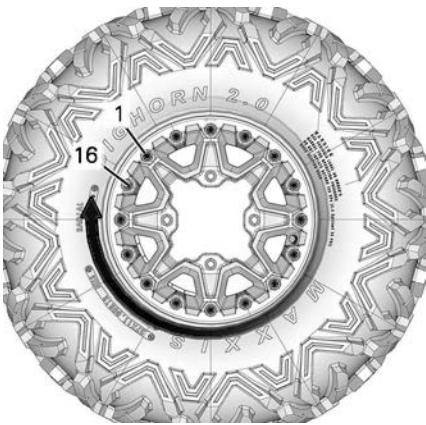
- 1. タイヤ
- 2. ビードロッククランプリングの端

1. ビードロッククランプリング全周で均一なギャップ

隙が許容できない場合は、
- ねじをすべて緩めます。

- ホイールに対するタイヤの位置を確認し、必要に応じて調整します。
 - 示されている順序で再び締め付け始めます。
9. 示されている順序に従って、ビードロックボルトの最後の締め付けを行います。

締め付けトルク	
ビードロックボルト (最後の順序)	11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in)



代表例 - 最後の締め付け順序

10. インナービードがホイールに着座するまでタイヤに空気を入れません。タイヤ安全かごを使用するなど、安全に作業を行ってください。

⚠ 警告
ビードが取り付けのためのタイヤの最大推奨圧力を絶対に超えないようにしてください。

ステアリング

タイロッドエンドの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。

4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. タイロッドベローズに亀裂がないか点検します。
6. 前側エッジまたは後ろ側エッジからホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはベローズに亀裂がある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。

⚠ 警告
ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、タイロッドエンドを交換しなければなりません。

サスペンション

フロントサスペンションの潤滑

1. グリスフィッティングからフロントスタビライザーバーブッシュとサスペンションアームを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

リアサスペンションの潤滑

1. グリスフィッティングからリアスタビライザーバーリンクとピボットブッシュを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

サスペンションの点検

問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士にご相談ください。

ショックアブソーバー

1. ショックアブソーバーにオイル漏れやその他の損傷がないか点検します。
2. ファスナーが固く締まっているか点検します。

3. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ボールジョイント

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. ボールジョイントベローズに亀裂がないか点検します。
6. 上端および下端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはブーツに亀裂がある場合は、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。



代表的な例

⚠ 警告

ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、ボールジョイントを交換しなければなりません。

フロントサスペンションアーム

1. サスペンションアームに亀裂、曲がり、またはその他の損傷がないか点検します。
2. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

リアトレーリングアーム

1. トレーリングアームにひずみ、亀裂または曲りがないか確認します。
2. 問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。

ブレーキ

フロントブレーキリザーバーレベルの確認

1. ステアリングを直線位置にしてリザーバーを水平にします。
2. ブレーキオイルのレベルの液面を確認します。オイルが窓の上部に達するとリザーバーが満杯であることを意味します。
3. レバーの起動状態を目視検査します。
4. 亀裂、裂け目などがいないか確認してください。損傷している場合は交換します。



代表的な例

リアリザーバーレベルの確認

1. シートを取り外します。
2. 車両が水平になっている状態で、ブレーキオイルはブレーキオイルリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。



1. 後部ブレーキオイルリザーバー

ブレーキ液の継ぎ足し

1. フィラーキャップを清掃します。

⚠ 警告

ブレーキシステムの汚れを防止するため、フィラーキャップを清掃してから取り外します。

2. リザーバーキャップを取り外します。
3. 必要に応じてきれいなじょうごを使用してオイルを追加します。燃料を入れすぎてはいけません。

注意

ブレーキオイルは、プラスチックや塗装表面に損傷を与える可能性があります。こぼれたオイルは拭き取ってください。

4. リザーバーキャップを元通りに取り付けます。

注記：

フィラーキャップダイヤフラムがキャップの中に押し込まれていることを確認してからブレーキ液リザーバーを開めます。

5. フロントリザーバーに、スクリュウを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

ブレーキオイルリザーバースクリュウ	1.3 ± 0.1 Nm (12 ± 1 lbf-in)
-------------------	-----------------------------------

推奨されるブレーキ液

必ず DOT 4 の仕様を満足するブレーキオイルだけを使用してください。

注意

ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。古いまたはすでに開けられた容器からブレーキ液を供給しないこと。

ブレーキシステムの点検

⚠ 警告

ブレーキオイルの交換、またはブレーキシステムのメンテナンスや修理は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが実施しなければなりません。

⚠ 注意

車両を長時間使用した後はブレーキが非常に熱くなっているため、やけどを負う可能性があります。ブレーキが冷めるまで待ってください。

ブレーキの点検、メンテナンスおよび修理は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが実施しなければなりません。

1. ただし、ディーラーを訪れる前に下記のことを確認してください。
 - ブレーキ液レベル
 - ブレーキシステムのオイル漏れ
 - ブレーキの汚れ

車両のお手入れ

車両の清掃と保護

注意

車両の洗浄に高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。水圧を低めて使用してください(散水用ホースのように)。
高圧の水は電気系統や機械コンポーネントの損傷につながる可能性があります。

塩水、泥、異物が溜まり、下記のを促進させる可能性がある特定の部位に注意してください。

- 火災
- 摩耗
- 干渉
- 腐食

これらの部位には下記のものがあります(ただしこれらに限定されません)。

- 排気システム周辺、およびマフラーとマフラーカバーの間
- 燃料タンクの下および周辺
- ラジエーター
- ショックアブソーバー
- フロントおよびリアディファレンシャル周辺
- エンジンおよびギアボックスの周辺およびそれらの下
- ホイール内部

- スキッドプレート上面

警告

排気システムが高温で異物が乾燥していると、堆積した異物が車両火災の原因になることがあります。
場合によっては、この火災により重大な物的損害、重傷、または死亡事故を引き起こす可能性があります。
沼地、湿地、または枯草や落ち葉がある場所で車両を使用している場合は、排気システム周辺のエリアを頻繁かつ定期的に清掃してください。
その他の状況では、メンテナンススケジュール要件のとおり清掃してください。

車両を塩水環境の中で使用する場合は、車両とそのコンポーネントを保護するために、運転した日の最後に必ず車両を真水ですすぐ必要があります。

金属部品を潤滑するよう強く推奨します。

防錆潤滑剤または同等のものを使用してください。

XPS防錆潤滑剤

損傷した塗装部品は、再度塗装して錆を防止する必要があります。

必要に応じて、ボディを温かい石鹼水で洗います(中性洗剤だけを使用してください)。研磨材を含有していないワックスを使用してください。

注意

プラスチック部品の清掃に、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを絶対に使用しないでください。

車両にはカバーを掛け、保管期間中にほこりが堆積するのを防ぎます。

注意

車両には不透明の防水シートをかけ、涼しく乾燥した場所に保管してください。このようにすれば、日光とホコリがプラスチックコンポーネントと車両の仕上げに影響するのを防ぎます。

適合しない清掃用品

素材タイプ	適合しない清掃用品
ポリプロピレン	<ul style="list-style-type: none"> - 石油ベース清掃用品すべて - XPS ATV仕上げスプレー - XPS ATVクリーニングキット (上記のXPS ATV仕上げスプレーが含まれています)

適合清掃用品

素材タイプ	適合清掃用品
ポリプロピレン	<ul style="list-style-type: none"> - XPS ATV洗浄剤 - 石鹼水

保管、シーズン前の準備

4ヶ月を超えて車両を使用しないときは、適切に保管する必要があります。

車両を21日以上動かさない場合は、バッテリーの黒 (-) のケーブルを切り離します。

バッテリーを完全に充電するには、低電流トリクル充電器の使用を推奨します。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

保管後に車両を使用するときは、準備が必要です。

車両の準備を正しく行うには、認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士にご依頼ください。



指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

技術情報

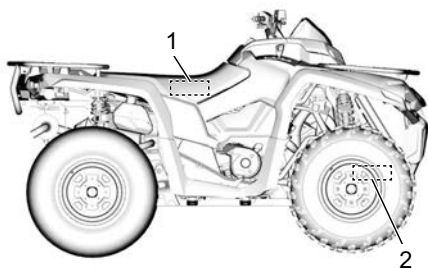
車両識別表示

車両の主な構成要素（エンジンやフレーム）は、それぞれ異なるシリアル番号で識別されます。

保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認する必要があります。

これらの番号も、認定 Can-Am Off-Road デイラーが正しく保証請求を行うときに必要です。

車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。



1. VINラベルの位置 — シート下側のフレーム上
2. VIN番号の刻印 — 右側のフロントディフレンシャルの下

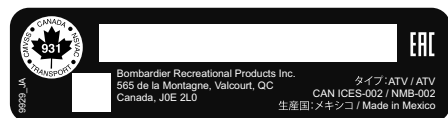
車両識別番号



北米以外 — NRMMモデル以外



北米以外 — NRMMモデル



北米モデル

コンプライアンスハンガタグ

EPA認証

車両モデル名：

エンジン詳細：

米国環境保護庁認証

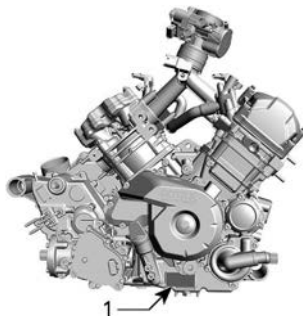
NER (正規化排出率) =

0 ~ 10の段階の中で最もきれいなのは0です。

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

*販売前に取り外さないでください。

エンジン識別番号(EIN) V-ツインエンジン

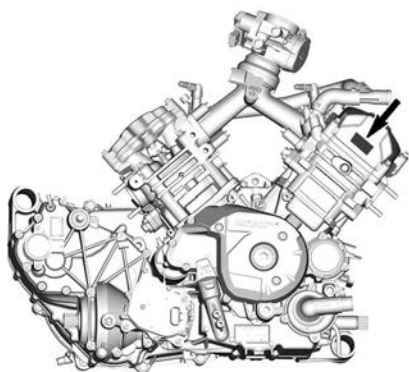


1. EIN (エンジン識別番号)

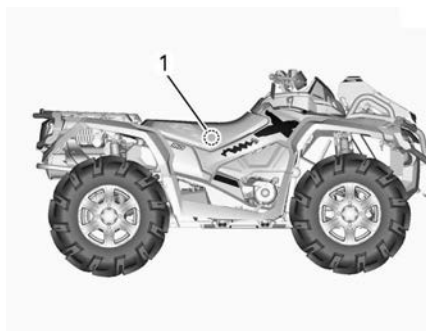
適合ラベル

ノンロード機械に適用される規制 (EU) 2016/1628

規制 (EU) 2016/1628 (NRMM) に準拠している車両は、エンジンバルブカバーおよびシート下側のフレーム上を見て特定できます。




代表的な例



代表的な例

1. NRMMラベル - シート下側のフレーム上

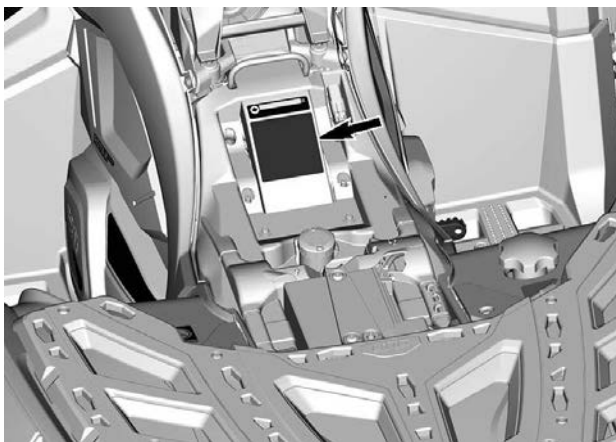
8639_JA 	Rotax NRSC G1 CO2 g/kWh:	XXXX
	#	MXXXXXX
	製造日:	MM-YYYY
	ファミリータイプ:	XXXXXX
	e13 AT1/P V-####	

代表例 - NRMMの識別ラベル

注記:
エンジンまたはそのコンポーネントを改造すると、特定のエンジンに対するEUの型式認証が無効になります。

排出ガス制御に関する情報 (代表例)

CARBおよびEPAモデル	EPAのみのモデル
<p style="text-align: center;">CARBおよびEPAモデル</p> <p>VEHICLE EMISSIONS CONTROL INFORMATION</p> <p>THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND IS CONFORMANT TO ALL FEDERAL, CALIFORNIA AND CANTON (VT) CARB & CALIFORNIA EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE AND IS CERTIFIED TO THE TIGHTER PER DAY EVAPORATIVE EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE. THIS VEHICLE MEETS ALL FEDERAL, CALIFORNIA AND CANTON (VT) CARB & CALIFORNIA EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE.</p> <p>Engin: Family / Famille de motor</p> <p>Famille de motor / Famille de propulsion</p> <p>Certification standards (FEV) / Normes de certification (FEV)</p> <p>Deployment / Cycle(s)</p> <p>Emission control system / Systeme de controle des emissions</p> <p>THIS VEHICLE CONFORMS TO CALIFORNIA EXHAUSTIVE EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE AND IS CERTIFIED TO THE TIGHTER PER DAY EVAPORATIVE EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE.</p> <p>STAMP NUMBER / N°</p> <p>STAMP EMISSIONS CONTROL SYSTEM / SYSTEME DE CONTROL DES EMISSIONS</p> <p>SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE AND FUEL, OIL AND SPARE FLUID SPECIFICATIONS. CONSULT YOUR DEALER FOR THE SPECIFICATIONS FOR YOUR MODEL AND YEAR.</p> <p style="text-align: right;">EC 121</p>	<p style="text-align: center;">EPAのみのモデル</p> <p>VEHICLE EMISSIONS CONTROL INFORMATION</p> <p>THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND IS CONFORMANT TO ALL FEDERAL, CALIFORNIA AND CANTON (VT) CARB & CALIFORNIA EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE.</p> <p>Engin: Family / Famille de motor</p> <p>Famille de motor / Famille de propulsion</p> <p>Certification standards (FEV) / Normes de certification (FEV)</p> <p>Deployment / Cycle(s)</p> <p>Emission control system / Systeme de controle des emissions</p> <p>SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE AND FUEL, OIL AND SPARE FLUID SPECIFICATIONS. CONSULT YOUR DEALER FOR THE SPECIFICATIONS FOR YOUR MODEL AND YEAR.</p> <p style="text-align: right;">EC 121</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">9571</p>



ANSI/SVIA適合情報

Bombardier Recreational Products Inc. は、このATVがANSI/SVIA-1-2017規格に準拠しており、BRPが提出したATVアクションプラン、および米国消費者製品安全委員会に申請したファイルに基づくものであることを証明します。

8074_JJA



燃料のエタノール価

このラベルは燃料キャップの近くに
にあります。



技術情報ラベル

エアフィルターメンテナンスラベル

このラベルはシートの下にあります。

エアフィルターのメンテナンス

オペレーターズガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な（粉塵の多い）条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE

MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

推奨燃料

注意

無鉛ガソリンのみ
推奨：

PREMIUM 91
(最低 (R+M)/2)

SUPER 95
(最低 RON)



1000Rエンジン - フュエルタンクキャップ付
近

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号 : 12006A-1001317030

FCC ID: 2ACER1001317030

私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。無線装置指令(REDE) 2014/53/EUおよび整合規格 : EN 300 330-2 & EN 60950-1

騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国)

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の可動部品、またはエキゾーストまたはインテークシステムの部品を、メーカー指定部品以外の部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

騒音放出および振動値 (すべての国、ただしカナダ/米 国を除く)

騒音放出および振動値 ¹			
モデル		X mr 650	X mr 1000R
騒音	音圧 (L _{pA})	3600 rpmで78 dB (不確定性 (K _{pA}) 3 dB)	4000 rpmで80 dB (不確定性 (K _{pA}) 3 dB)
	音響出力レベル (L _{WA})	-	-
振動	手腕系	3.5 m/s ² 、4000 rpm時	2.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時
	着座時の身体全体	0.5 m/s ² 未 満、3600 rpm時	0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時
¹ : 騒音放出および振動値は、舗装面上でニュートラルの状態、規格EN 15997:2011に準拠して測定されます。			



565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

www.brp.com

EU適合宣言書

正式代表者：BRP-Rotax GmbH Co. KG, Rotaxstrasse 1, Gunkskirchen,
A-4623, Austria

この適合宣言書は、製造者の単独の責任において発行されたものです。

以下に署名する者は、製造者を代表し、CEマークおよび3JBxxxxxxRxxxxxxxの17桁の車両
識別番号が表示された、商品名を**Can-Am Outlander**または**Can-Am Renegade**とする**2024
年式全地形対応車**が、次の指令および規制に記載されているすべての関連規定に適合して
いることをここに宣言します。

機械指令 (MD) 2006/42/EC (規則 (EU) 2019/1243で改正されたとおり)	ISO 12100:2010 および EN 15997:2011
ガス状汚染物質に関する非道路移動機械 (NRMM) 規則 (EU) 2016/1628 (規則 (EU) 2020/1040で改 正されたとおり)	カテゴリーATS、 Stage V排出制限
電磁両立性 (EMC) 指令2014/30/EU (規制 (EU) 2018/1139で改正されたとおり)	CISPR 12:2007/A1:2009 および IEC 61000-6-1:2016または UN R10.04以降のバージョン
電池指令2006/66/EC (指令2018/849/EUおよび、 バッテリー容量のラベル表示に関する規則 (EU) 1103/2010で改正されたとおり)	EN 50342-7:2015
無線機器 (RED) 指令2014/53/EC (規則 (EU) 2018/1139で改正されたとおり) (無線周波数 (RF) D.E.S.S. キーを装備している場合)	項目3.1a: IEC 62368-1:2014 項目3.1b: CISPR 25:2016& ISO 11452-2:2004 項目3.2: ETSI EN 300 330 V2.1.1:2017

Renald Plante (英名表記)
ディレクター、製品開発部門、Can-Am ATV
Bombardier Recreational Products Inc.

Valcourt, QC, Canada

2023年4月19日

ski-doo LYNX SEVADO EVIRADE ROTAX CAN-AM

UK適合宣言書




565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada
www.brp.com

UK適合宣言書

正式代表者：BRP UK Ltd., (BWM Accountants Limited), Suite 5.1,
12 Tithebarn Street, Liverpool, L2 2DT

この適合宣言書は、製造者の単独の責任において発行されたものです。

以下に署名する者は、製造者を代表し、 マークおよび3JBxxxxxxRxxxxxxxの17桁の車両識別番号が表示された、商品名を**Can-Am Outlander**または**Can-Am Renegade**とする**2024年式全地形対応車**が、次の行政委任立法に記載されているすべての関連規定に適合していることをここに宣言します。

2008年機械の供給（安全）規制、2008年英国行政委任立法（No. 1597）（SI 2020/1112で改正されたとおり）	ISO 12100:2010 および EN 15997:2011
2018年特殊車両（型式認証およびガス状および粒子の汚染物質放出）規制、UK SI 2018/764（SI 2020/1393で改正されたとおり）	カテゴリーATS、Stage V排出制限
2016年電磁両立規則、UK SI 2016/1091（SI 2020/1112で改正されたとおり）	CISPR 12:2007/A1:2009 および IEC 61000-6-1:2016または UN R10.04以降のバージョン
電池・蓄電池規則(上市)2008、UK SI 2008/2164（UK SI 2020/904で改正されたとおり）	EN 50342-7:2015
2017年無線機器規則、UK SI 2017/1206（SI 2020/1112で改正されたとおり） （無線周波数（RF）D.E.S.S. キーを装備している場合）	項目3.1a: IEC 62368-1:2014 項目3.1b: CISPR 25:2016& ISO 11452-2:2004 項目3.2: ETSI EN 300 330 V2.1.1:2017

Renald Plante（英名表記）
ディレクター、製品開発部門、Can-Am ATV
Bombardier Recreational Products Inc.

Valcourt, QC, Canada

2023年4月19日

ski-doo LYNX SEA-DOO EVINRUDE ROTAX CAN-AM

ユーラシア経済連合のマークのための
空白ページ (該当の場合)

技術仕様

技術仕様

エンジン		
エンジンタイプ		ROTAX®、4ストローク、2気筒 (Vツイン)、水冷
バルブトレイン		4バルブ/シリンダー (機械式調整)、シングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)、タイミングチェーン付き
バルブクリアランス	インテーク	0.06 ~ 0.14 mm (0.0024 ~ 0.0055 in)
	エキゾースト	0.11 ~ 0.19 mm (0.0043 ~ 0.0075 in)
ボア	850	94 mm (3.7 in)
	1000R	91 mm (3.58 in)
ストローク	850	61.5 mm (2.42 in)
	1000R	75 mm (2.95 in)
排気量	850	854 cm ³ (52.1 in ³)
	1000R	976 cm ³ (59.6 in ³)
エキゾーストシステム	NRMMモデル	触媒
	他のモデル	米国農務省林野部承認のスパークアレスター
エアフィルター		フォーム付き合成ペーパーフィルター

潤滑システム		
タイプ		ウェットサンプ交換式カートリッジ式オイルフィルター
オイルフィルター		BRP Rotaxペーパータイプ、交換式
エンジンオイル	容量 (フィルターを付けた状態でのオイル交換)	2.0 L (2.1 qt (liq.,US))
	推奨XPSオイル	一般用 5W40合成ブレンドオイル

潤滑システム			
		低温用	0W40合成オイル
		高温用	10W50合成オイル
	XPS製品が入手できない場合の代替オイル		APIサービス等級SNまたはJASO MA2の要件を満足する5W40または10W50モーターオイル

冷却システム		
クーラント	推奨冷却液	ロングライフプレミッククーラント
	XPS製品が入手できない場合の代替品	アルミエンジン専用で作成された蒸留水と不凍液の溶液（蒸留水50%、不凍液50%）を使用
	定員	3.5 L (0.92 gal (liq.,US))

トランスミッション	
タイプ	CVT（無段変速機）、サブトランスミッション（L/H/N/R/P）、標準エンジンブレーキ
締結回転数	1800 RPM

ギアボックス		
タイプ	パーキング、ニュートラルおよびリバースを有するデュアルレンジ（ハイ/ロー）	
ギアボックスオイル	定員	450 ml (15.22 fl oz (US))
	推奨オイル	75W140合成ギヤオイル
	XPS製品が入手できない場合の代替品	75W140 API GL-5合成ギヤオイルを使用

電気システム		
マグネトージェネレータ出力		650 W @ 6000 RPM
イグニッションシステム形式		IDI（誘導放電点火）
イグニッションタイミング		調整不可
スパークプラグ	量	2
	メーカーと型式	NGK LMAR8D-Jまたは同等品

電気システム		
	ギャップ	0.7 ~ 0.9 mm (0.028 ~ 0.035 in)
エンジン回転リミッターの設定	前進	8000 RPM
	リバース	15 km/h (9 MPH) (オーバーライドなし)
バッテリー	タイプ	メンテナンスフリー
	電圧	12ボルト
	公称定格	20 A·h
	パワースターター出力	0.7 kW
ヘッドライト	高い	LED
	低い	LED
テールライト		2 x 5/21 W
ヒューズ		メンテナンスのヒューズのセクションを参照

燃料システム			
燃料供給		電子フュエルインジェクション (EFI)、54 mm スロットルボディ、シリンダー当たりインジェクター1個	
燃料ポンプタイプ		電動 (料タンク内)	
アイドルスピード		1,250 ± 100 rpm (調整不可)	
燃料	タイプ	850	レギュラー無鉛ガソリン 燃料要件のセクションを参照
		1000R	無鉛プレミアムガソリン 燃料要件のセクションを参照
	最低オクタン価	850	AKI (ポンプオクタン価) 87 (RONオクタン価92またはRONオクタン価95のE10)
		1000R	91 ポンプ表示AKI (95 E10 RON)
燃料タンク容量		20.5 L (5.4 gal(liq.,US))	
燃料低下インジケーターが点灯したときの燃料残量		± 5 L (1.3 gal (liq.,US))	

駆動システム		
駆動システムのタイプ		2WD、4WD、4WDLockから 選択可能
フロントドライブ		Visco-4Lokオートロックとフル ロックフロントデファレン シャル
フロントドライブレシオ		3.6:1
リアドライブ		ファイナル・ドライブ
リアドライブレシオ		3.6:1
フロントデファレン シャルオイル	定員	400 ml (14 fl oz (US))
	推奨オイル	75W90合成ギヤオイル
	XPS製品が入手できな い場合の代替品	合成ギヤオイル75W90 API GL-5を使用
リアファイナルドラ イブ	定員	250 ml (8.45 fl oz (US))
	推奨オイル	75W140合成ギヤオイル
	XPS製品が入手できな い場合の代替品	合成ギヤオイル75W140 API GL-5を使用
CV ジョイントグリース		XPS CVジョイントグリース または同等品
プロペラシャフトグリース		XPSプロペラシャフトグリー スまたは同等品

フロントサスペンション		
サスペンションタイプ		ドライブコントロールジオメ トリおよび外部スタビライ ザー付きダブルサスペンシ ョンアーム
ショックアブソーバ	数量	2
	タイプ	HPG
プリロード調整タイプ		ねじ式

リアサスペンション		
サスペンションタイプ		外部スタビライザー付き 独立トーショントレーリング アーム
ショックアブソーバ	数量	2
	タイプ	HPG
プリロード調整タイプ		ねじ式

ブレーキ		
フロントブレーキ	数量	2
	タイプ	214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き
リアブレーキ	数量	1
	タイプ	214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き
ブレーキ液	定員	260 ml (8.8 fl oz (US))
	タイプ	DOT 4
キャリパー	フローティングツインピストン (2 x 26 mm)	
ブレーキパッドの材料	金属	
最小ブレーキディスク厚	1 mm (04 in)	
最小ブレーキパッド厚	4.0 mm (157 in)	
ブレーキディスクのねじれ最大	0.2 mm (01 in)	
タイヤ		
圧力	推奨タイヤ圧はタイヤラベルに記載	
最小タイヤ溝深さ	3 mm (118 in)	
サイズ違い	フロント	30 x 9 - 14 in
	リア	30 x 9 - 14 in

ホイール		
タイプ		鋳造アルミ
リムサイズ	フロント	35,5 x 16,5 cm (14 x 6.5 in)
	リア	35.5 x 16.5 cm (14 x 6.5 in)
ホイールオフセット	フロント	32 mm (1.26 in)
	リア	32 mm (1.26 in)
ホイールナットのトルク		80 ± 5 Nm (59 ± 4 lbf-ft)

寸法			
全長	850	224 cm (88 in)	
	1000R	246 cm (97 in)	
全幅		127 cm (50 in)	
全長		131 cm (51.5 in)	
ホイールベース	850	129.5 cm (51 in)	
	1000R	149.9 cm (59 in)	
輪距	フロント	850	103.5 cm (40.8 in)
		1000R	104.0 cm (40.9 in)
	リア	100.6 cm (39.6 in)	
地上高		33 cm (13 in)	

重量および積載量		
乾燥重量	850	431 kg (951 lb)
	1000R	459 kg (1,013 lb)
リアラック		90 kg

重量および積載量	
リアストレージコンパートメント積載量	21.4 l (5.7 gal (liq.,US)) または 10 kg (22 lb)
車両許容総積載量 (運転者、その他すべての貨物、追加されたアクセサリーを含む)	189 kg (417 lb)
牽引荷重	750 kg (1,654 lb)
ヒッチ荷重 (トレーラーおよび貨物を含む)	75 kg (165 lb)
ウィンチ能力 (装備されている場合)	1,588 kg (3,500 lb)

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン

エンジンが回らない

1. エンジンストップスイッチ。

- エンジンストップスイッチがオン位置になっていることを確認してください。

2. D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられていない。

- D.E.S.S.キーをしっかりとD.E.S.S.ポストに取り付けてください。

3. BAD KEYがデジタルディスプレイに表示されている。

- 異なるD.E.S.S.キーが使用されています。この車両の正しいキーを使用してください。

4. トランスミッションがパーキングまたはニュートラルに入っていない。

- トランスミッションをパーキングまたはニュートラルのいずれかに入れるが、ブレーキレバーを引いてください。
- ブレーキレバーを押してください。

5. ヒューズ切れ。

- メインヒューズの状態を確認してください。

6. バッテリーが弱いまたは接続不良。

- 充電システムを点検してください。
- コネクターおよび端子の状態を点検してください。
- バッテリーを点検してください。
- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

7. スターターが弱いまたは接続不良。

- スターターの接続を点検します。
- スターターリレーを点検してください。

エンジンを回しても始動しない

1. エンジンに水が浸入している (スパークプラグを取り外すと濡れている) 。

- 特殊な手順の水を吸い込んだエンジンのセクションを参照してください。

2. エンジンに燃料が供給されない (スパークプラグを取り外すと乾燥している) 。

- 燃料タンクレベルを確認してください。
- 燃料ポンプのヒューズとリレーを点検します。
- 燃料ポンプの故障が起きている可能性があります。

- エンジンが始動しない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

3. スパークプラグ / イグニッション (点火しない) 。

- インジェクター/イグニッションのヒューズの状態を点検します。
- スパークプラグを取り外して、イグニッションコイルに再び接続してください。
- スパークプラグをエンジンにアースして、スパークプラグ穴から離してエンジンを始動します。火花が見えない場合は、スパークプラグ穴を交換してください。
- 問題が解消されない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

4. CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK ENGINE」と表示されます。

- 認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。

- CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

1. スパークプラグが汚れている、またはプラグ不良。

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

2. エンジンへの燃料の不足

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

3. エンジンがオーバーヒートしている。(CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに HI TEMP と表示されている。)

- エンジンのオーバーヒートのセクションを参照してください。
- #### 4. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。

5. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

6. エンジンが保護 (リンプホーム) モードになっている。

- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンのオーバーヒート

1. クーリングシステムのクーラントが少ない。

- エンジンクーラントを点検します。メンテナンスの手順のセクションのエンジンクーラントレベルの検証を参照してください。

2. ラジエーターフィンが汚れている。

- ラジエーターフィンを清掃します。メンテナンスの手順のセクションのラジエーターを参照してください。

3. クーリングファンが作動しない。

- クーリングファンのヒューズまたはリレーを点検します。メンテナンスの手順のセクションのヒューズを参照してください。ヒューズに問題がある場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンバックファイア

1. 排気システムの漏れ。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

2. エンジンの動作中の温度が高すぎる。

- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。
 - 3. 点火タイミングが正しくない、またはイグニッションシステムが故障している。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。
- 保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの失火

- 1. スパークプラグがかぶっている/プラグの異常/電極の摩滅。**
- スパークプラグを点検し、熱範囲を確認します。必要に応じて取り換えます。
- 2. 燃料に水が混入。**
- 燃料システムの抜き取りを行い、新品の燃料を充填します。

車両が最高速度に達しない

- 1. エンジンの問題**
- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。
- 2. ブレーキロックレバーがかかっている。**
- ブレーキロックレバーが完全に解除されていることを確認してください。
- 3. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。**
- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。
- 4. CVT が汚れているか摩耗している。**
- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
- 5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。**
- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。

保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

シフトレバーが動きにくい

1. **トランスミッションオイルギヤが、シフトレバーの動作を妨げる位置になっています。**
 - 車両を前後に揺すってトランスミッションのギヤを動かし、シフトレバーをセットできるようにします。
2. **CVTが汚れているか摩耗している。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

回転数は上昇するが、車両が動かない

1. **トランスミッションがパーキングかニュートラル位置になっています。**
 - R、HIまたはLO位置を選択してください。
2. **CVTが汚れているか摩耗している。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
3. **CVTハウジングに水が混入している。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

パワーステアリングアシスト機能の低下

1. **DPSが、過酷で連続したステアリング条件にさらされている場合は、システムを保護するためにDPSによるアシスト機能が低下します。**
 - 負荷が一旦下がると、通常のステアリングアシストが戻ります。
2. **CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK DPS」と表示されます。**
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。

デジタルディスプレイメッセージ

メッセージ	パイロットランプオン	ブザー	説明
不良なキー		なし	間違ったイグニッションキーまたはD.E.S.S.キーを使用したことを示します。この車両の正しいキーを使用してください。キーの接触不良である可能性もあります。キーを取り外して清掃してください。
DESS KEY NOT RECOGNIZE D (D.E.S.S. キーが認識されていない)		なし	接触不良の可能性を示しています。キーを取り外して清掃してください。
BRAKE (ブレーキ)		短いブザーが1回	(走行中に) ブレーキロックレバーが15秒以上かかっているとき、または走行中にブレーキレバーまたはフットブレーキペダルが作動したときに表示されます。
LO BATT (バッテリー低圧)		なし	バッテリー電圧が低下しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。
HI BATT (バッテリー高圧)		なし	バッテリー電圧が上昇しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。
LOW OIL (オイル残量少) ⁽¹⁾		長いブザーが1回	エンジンのオイル圧低下。直ちにエンジンを停止してください。
高温		長いブザーが1回	エンジンがオーバーヒート状態です。トラブルシューティングのセクションのエンジンのオーバーヒートを参照
応急帰還		長いブザーが1回	エンジンの通常動作に影響し得るエンジンの重大な故障です。CHECK ENGINEインジケータランプも点滅します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。
エンジン点検の必要あり (CHECK ENGINE)		なし	エンジンの故障。CHECK ENGINEインジケータランプも点灯します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。

NO ECM COMMUNICATION (ECM 通信なし)		なし	スピードメーターとエンジンコントロールモジュール (ECM) 間の通信エラー
DPS点検		なし	ダウンミックパワーテアリング (DPS) が正常に機能していないことを示しています。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
メンテナンスが必要 (MAINTENANCE REQUIRED)		なし	メンテナンスの時期が来たときに表示されます
TPS FAULT PRESS OVERRIDE BUTTON TO LIMP HOME (TPS 故障、オーバーライドボタンを押してリンプモードに切り替え)		なし	スロットル位置センサーが正常に機能していません。メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備を依頼してください。
FRONT DIFFERENTIAL LOCK -LOCK ACTIVATION (フロントディファレンシャルロック -ロック作動)		短いブザーが1回	フロントディファレンシャルロックが作動しています。

FRONT DIFFERENTIAL LOCK -UNLOCK (フロントディファレンシャルロック - ロック解除)	なし	短いブザーが2回	フロントディファレンシャルロックが解除されています。
SPORT MODE ACTIVE (スポーツモード有効)	SPORT	短いブザーが1回	スポーツモードが選択されています。

注意

(1) エンジン始動後、メッセージとエンジン点検のライトが点灯した場合はエンジンを停止してください。エンジンオイルのレベルを点検します。必要があれば補充します。オイルレベルが良好である場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。修理されるまで車両を使用しないでください。

空白ページ

保証

BRP限定保証 (米国およびカナダ) : 2024 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」) は、米国およびカナダで認定BRPディーラー (以下に定義) によって販売された2024 Can-Am ATV (以下「製品」) について、指定の期間の間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

以下の場合、この限定保証は無効になります :

1. 製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合 (以前の所有者による行為である場合も含む)
2. 製品の操作、性能または耐久性に悪影響を及ぼす方法でトレーラーを改造したか、トレーラーの用途を変更するために改造した場合

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。一部の州では、上記の免責事項、制限事項および免責事項を認めていません。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。

BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3) 除外規定

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害。
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷;
- 誤用、乱用、過失、または製品のオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害

- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (オペレーターズガイドを参照)
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 水や雪が入ったことによる損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、または輸送費、牽引、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この限定的保証は、(1)最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間
- 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、米国EPA排出ガス関連保証も参照してください。
- カリフォルニア州での販売を目的としてBRPにより製造され、元々カリフォルニア州の住民に販売される、または販売後カリフォルニア州の住民への保証が登録される、蒸発ガス制御システムを装備したカリフォルニアモデルの蒸発ガス関連部品については、カリフォルニア州蒸発ガス処理システム保証規定もご覧ください。

この保証によるパーツの修理もしくは交換、またはサービスの実施によって、限定保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているディーラー(以下「ディーラー」)から、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品は、認定ディーラーによって正しく登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常に気付いた場合は製品の使用を中止し、異常の発現から3日以内に、整備を行うBRPディーラーにその旨を通知し、ディーラーが製品を合理的に確認し、修理できる合理的な機会を設けなければなりません。

また、お客様は製品の購入を証明するものをディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。

この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中に、通常の使用、メンテナンス整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、いずれかのBRP認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理または交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定製品ディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス関連保証

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気ガス制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含むこの新しい車両は、下記の2つの事項を満たしていることを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

すべての排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を正規Can-Amディーラーに制限します。ただし、以下のリストの第2項目により要求される緊急修理を除きます。

認証メーカーとして、BRPは下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPまたはBRP認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. 運転者になるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRPに起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、運転者による処置の有無。
4. BRPが指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRPの過失または責任であることすべて。
6. 機器を稼働させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること(ただし、BRPのメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、運転者が適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く)。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	運転時間	月	走行距離
排出ガス関連コンポーネント:	500	30	5000
蒸発ガス関連コンポーネント	該当なし	24	該当なし

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント

- 吸気システム
 - 燃料システム
 - イグニッションシステム
 - 排気ガス再循環システム
2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 後処理装置
 - クランクケースベンチレーションバルブ
 - センサー
 - 電子制御ユニット
3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 燃料タンク
 - 燃料キャップ
 - 燃料ライン
 - 燃料管路フィッティング
 - クランプ*
 - プレッシャーリリーフバルブ*
 - 制御バルブ*
 - 制御ソレノイド*
 - 電子制御*
 - 真空制御ダイヤフラム*
 - 制御ケーブル*
 - コントロールリンクージ*
 - パージバルブ
 - 蒸気ホース
 - 液体/蒸気セパレータ
 - カーボンキャニスター
 - キャニスターのマウンティングブラケット
 - キャブレターパージポートコネクタ

注記： *蒸発ガス制御システム関連。

4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン/機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者または運転者の不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、運転者によるエンジン/機器の酷使、または運転者による設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

保証権利と責任に関する質問、または最寄りの認定BRPディーラーの名称と位置に関する質問がある場合は、www.brp.comにあるお問い合わせフォームに記入するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているアドレスの1つにメールを送付するか、1-888-272-9222に電話してBRPにご連絡ください。

カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定

保証期間は、新しいオフハイウェイレクリエーションビークル（「OHRV」）が最終購入者に納入された日に始まります。

Bombardier Recreational Products Inc.（「BRP」）は、最終購入者および以降の各購入者に対し、OHRVが以下の状態であることを保証します。

1. OHRVがすべての適用法、規則、および規制に準拠して設計、製造、および装備が行われ、販売の時点でこれらに準拠していること。
2. 部材および製作作業に、保証部分の不具合を引き起こす可能性がある欠陥がないこと。すべての交換用部品が、あらゆる部材の観点から、BRPの工ゲゼクティブ注文証明書に記載されている部品と同一であること。

排出ガス関連部品の保証は、次のように適用されるものとします。

1. 合理的な理由で保証部品または保証ステーションをOHRV所有者にご利用いただけない応急修理を除き、いずれの保証対象部品の修理または交換も、OHRV所有者への費用負担なく、保証ステーションにて実施されるものとします。応急修理が認められている場合は、利用できるいずれかのサービス施設にて、または所有者が、交換部品を使用して修理を実施してよいものとします。BRPは、上述の応急修理や交換に関する診断費などの費用を、BRPが提示する交換された全保証部品の小売価格、保証修理に関するBRPの推奨時間に基づいた労務費、および地理的に妥当とされる時間賃率を超えない範囲で、所有者に払い戻すものとします。
2. OHRVが修理のために最初に保証ステーションに搬入されてから30日を超えない合理的な期間内に、保証された部品が入手できないまたは修理が不完全なままとなる場合は、応急修理を要する状況として扱います。
3. 書面の説明書に記載されているメンテナンス部品として交換が予定されていない保証部品については、以下に定められた期間、保証が継続するものとします。保証期間中に当該部品が故障した場合、その部品はBRPによって修理または交換されるものとします。修理または交換された保証対象の部品については、期間満了まで保証が継続するものとします。
4. 書面の説明書に記載されている定期メンテナンスのみが予定されている保証部品については、以下に定められた期間、保証が継続するものとします。当該説明書に示されている、「必要に応じて修理または交換」の影響に対する声明によって、保証対象期間が短縮されることはありません。修理または交換された保証対象の部品については、残りの保証期間が満了するまで、保証が継続します。
5. 書面の説明書に記載されているメンテナンス部品として交換が予定されている保証部品については、その部品の最初の定期交換までの期間、保証が継続するものとします。最初の定期交換までに部品が故障した場合、その部品はBRPによって修理または交換されるものとします。修理または交換された保証対象の部品については、その部品の最初の定期交換までの残りの期間が満了するまで、保証が継続します。
6. 保証サービスや修理は、メーカー系列のディーラー、または対象のOHRVのサービスを実施するためにフランチャイズ契約されているディーラーのいずれかで行われます。
7. 診断作業が保証ステーションで行われる場合、OHRVの所有者は、保証部品に不具合があるという判断に結びつく当該診断の費用を負担しないものとします。
8. BRPは、保証部品の保証の下で、故障箇所付近で生じた他の車両部品の損傷について、責任を負うものとします。
9. BRP指定の交換用部品は、OHRV所有者に提供されている保証修理に無償で使用可能なものです。この部品を使用することで、BRPの保証義務が減る

ことはありません（BRPが保証対象外の交換用部品の修理や交換について責任を負わない場合を除く）。

10. 大気資源委員会によってカリフォルニア州車両条例のセクション27156の禁止事項から免除されている追加部品または改造部品については、OHRVで使用することが可能です。当該部品の使用や部品そのものは、保証請求を許可しないことの理由にはならないものとします。BRPは、追加部品または改造部品の使用によって生じた保証部品の故障を保証する責任を負いません（当該部品が保証されている場合を除く）。

条件と免責事項

- BRPは酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変により生じたOHRVまたは部品の故障については、一切の保証を拒否する場合があります。

お客様の保証の権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会は、2024年式全地形対応車両に関する蒸発ガス処理システムの保証について説明を行います。カリフォルニアでは、新しいレクリエーションオフハイウェイビークルは、州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。BRPは、ご使用の全地形対応車両について酷使、懈怠、不適切なメンテナンスがあった場合を除き、下記の期間にわたり、全地形対応車両の蒸発ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレター、燃料噴射装置、燃料タンク、燃料ホース、カーボンキャニスター、エンジンコンピューターなどの部品が含まれている場合があります。また、ホース、ベルト、コネクターなどの蒸発ガス関連のアッセンブリーが含まれている場合もあります。保証の対象となるものがある場合、Bombardier Recreational Products Inc.は、診断、部品および労働費を含めて無料で、ご使用の全地形対応車両を修理します。

OHRV製造元による保証範囲

このOHRVの保証期間は、購入後60カ月、5,000マイルの走行距離、または500運転時間に達するまでとします（いずれか早い方）。

対象部品

1. キャニスターのマウンティングブラケット
2. カーボンキャニスター
3. パージポートコネクター
4. クランプ*
5. 電子制御装置*
6. 燃料キャップ
7. フィラーネット
8. フィラーネットホース
9. 燃料ライン
10. 燃料ラインフィッティング
11. 燃料タンク
12. 圧カリリーフバルブ*
13. パージバルブ
14. チェックバルブ*
15. 蒸気ホース

16. フローリデューサー
17. フィルター*
18. 燃料ポンプ
19. 蒸発ガス処理システムに影響を与える可能性がある、ここに記載されていないその他のすべての部品

注記： *蒸発ガス制御システム関連。

ご使用の全地形対応車両の蒸発ガス関連部品に不具合がある場合は、Bombardier Recreational Products Inc.が部品の修理または交換を行います。

オーナーの保証責任

全地形対応車両の所有者として、お客様はオーナーズマニュアルに記載された必要なメンテナンスを実施する責任を負っています。Bombardier Recreational Products Inc.は、全地形対応車両の保証に関するすべての受領書を安全な場所に保管しておくことを推奨しますが、Bombardier Recreational Products Inc.は、お客様が受領書を紛失したり定期メンテナンスを行わなかったとしても、保証の提供をいたしません。

問題が発生した場合、お客様は所有者として、車両をBombardier Recreational Products Inc.にできるだけ早く搬入する責任があります。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を要します。

ただし、酷使、懈怠、不適切なメンテナンス、または不適切な改造により全地形対応車両またはその部品が故障した場合、Bombardier Recreational Products Inc.は保証適用を拒否できることにご注意ください。

保証の権利や責任についてご質問がある場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

- Bombardier Recreational Products Inc. (電話 : 1-888-272-9222)
- The California Air Resources Board at 4001 Iowa Avenue, Riverside, CA 92507.

BRP国際限定保証：2024 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米国、カナダ、欧州経済領域(「EEA」)の国々(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、トルコ、および独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)以外の地域に2024 Can-Am ATV(以下「製品」)を供給するためにBRPが認定したディーラーによって販売された製品について、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

以下の場合、この限定保証は無効になります：

1. 製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合(以前の所有者による行為である場合も含む)
2. 製品の操作、性能または耐久性に悪影響を及ぼす方法でトレーラーを改造したか、トレーラーの用途を変更するために改造した場合

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。一部の州では、上記の免責事項、制限事項および免責事項を認めていません。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。BRPで制御できない理由のために一部の国で製品または保証部品が入手できない場合、BRPは責任を負わないものとします。

オーストラリアで購入された製品については、以下の「オーストラリアで販売された製品だけに適用」を参照してください。

ディストリビューター、BRP ディストリビューター / ディーラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRP に対する強制力はありません。

BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません：

- 通常の磨耗および消耗品；
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整

- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害。
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 誤用、乱用、過失、または製品のオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（オペレーターズガイドを参照）
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 水や雪が入ったことによる損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、または輸送費、牽引、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この限定的保証は、（1）最初に購入した消費者に納入された日、または（2）その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間

オーストリアおよびニュージーランドのみ：この保証は、（1）最初の小売消費者に納品された日、または（2）その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、パワートレインエンジンおよびトランスミッションシステムのみについては連続する12ヶ月間、個人使用または業務使用の場合は連続する36ヶ月間効力を有します。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

上記内容により特定される保証対象期間は、最小限の保障期間であり、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみに適用

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。

重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されません。

お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法) に

よって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとし、もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているディストリビューター/ディーラー（「ディストリビューター/ディーラー」）から、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品は、認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常に気付いた場合は製品の使用を中止し、異常の発現から2ヶ月以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、ディストリビューター/ディーラーが製品を合理的に確認し、修理できる合理的な機会を設けなければなりません。

通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うものとします。

また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。

この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRPが行うこと

法律によって認められる範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中に、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、いずれかのBRP認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理または交換することに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数

料に関して、これらに限定せず、政府、州、地域およびそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定製品ディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2024 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、欧州経済領域(「EEA」)の加盟国(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、トルコ、および独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)に2024 Can-Am ATV(以下「製品」)を販売するためにBRPが認定したディストリビューター/ディーラー(以下「ディストリビューター/ディーラー」)によって販売された製品について、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

以下の場合、この限定保証は無効になります：

1. 製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合(以前の所有者による行為である場合も含む)
2. 製品の操作、性能または耐久性に悪影響を及ぼす方法でトレーラーを改造したか、トレーラーの用途を変更するために改造した場合

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。一部の州では、上記の免責事項、制限事項および免責事項を認めていません。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。BRPで制御できない理由のために一部の国で製品または保証部品が入手できない場合、BRPは責任を負わないものとします。

フランスで購入された製品については、以下の「フランスで販売された製品のみに適用」を参照してください。

ディストリビューター、BRP ディストリビューター/ディーラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更しないことに同意します。

3) 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません：

- 通常の磨耗および消耗品；

- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害。
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 誤用、乱用、過失、または製品のオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（オペレーターズガイドを参照）
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 水や雪が入ったことによる損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、または輸送費、牽引、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この限定的保証は、（1）最初に購入した消費者に納入された日、または（2）その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

1. 個人使用の所有者の場合は、連続する24ヶ月間。
2. 業務用使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

上記内容により特定される保証対象期間は、最小限の保障期間であり、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5) フランスで販売された製品のみ適用

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常動作を行うことができ、該当する場合、次の条件もクリアする必要があります。

- 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたは模型により購入者に説明されていること。
 - 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される特性を持っていること。
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

6) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国（EEAの場合は連合国）において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラー（「ディストリビューター/ディーラー」）から、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品は、認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国（EEAの場合は連合国）で購入されなければなりません。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

7) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常に気付いた場合は製品の使用を中止し、異常の発現から2ヶ月以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、ディストリビューター/ディーラーが製品を合理的に確認し、修理できる合理的な機会を設けなければなりません。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うものとします。

また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。

この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

8) BRPが行うこと

法律によって認められる範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中に、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、いずれかのBRP認定ディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理または交換することによって限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

9) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定製品ディストリビューター/ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

10) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

空白ページ

顧客情報

データプライバシーについて

Bombardier Recreational Products inc. およびその関連会社と子会社（「BRP」）はプライバシーの保護に努めており、BRPとお客様との関係を管理する際のお客様情報の収集、利用、および開示方法については、一般的な情報開示方針に則っています。詳細については、BRPのプライバシーポリシー（<https://brp.com/en/privacy-policy.html>）をご覧ください。下のQRコードをスキャンしてご確認ください。

当社は十分なセキュリティ対策を講じて、お客様の個人情報を消失や不正アクセスから保護しておりますのでご安心ください。

BRPがお客様から直接、または認定ディーラーもしくは認定された第三者から収集するお客様の個人情報には次のものがあります。

- 連絡先、人口統計および登録情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、所有履歴、連絡時の言語など）
- 車両情報（シリアル番号、購入日および納入日、製品の利用状況、車両の位置および動作など）
- 第三者情報（BRPパートナーから得た情報、合同マーケティング活動情報、ソーシャルメディアなど）
- 技術的情報（IPアドレス、デバイスの種類、オペレーティングシステム、ブラウザのタイプ、閲覧したウェブページ、BRPまたはディーラーのウェブサイトやモバイルアプリケーションを使用するときのクッキーや類似技術など）
- BRPとのやり取りの情報（BRPの社内営業担当者に連絡する際に収集される情報、BRPウェブサイトでの購入品目、BRPメールの登録、BRP主催のコンテストや懸賞への参加、BRP主催のイベントへの出席など）
- 取引情報（返品処理に必要な情報、ウェブサイトやモバイルアプリケーションを通じて当社の製品やサービスを購入するときの支払い情報、BRP製品の購入に関連するその他の情報など）

この情報は、次の目的のために使用および処理される場合があります。

- 安全性およびセキュリティ
- 販売時およびアフターセールスのカスタマーサポート（購入やメンテナンスの完了やフォローアップなど）
- 登録および保証
- コミュニケーション（BRP満足度調査の送付など）
- オンライン行動広告、プロファイリング、位置に基づくサービス（カスタマイズ体験の提供など）
- コンプライアンスおよび紛争解決
- マーケティングおよび広告
- アシスタンス（納入時の問題のサポート、返品処理、BRP製品の購入に関連するその他の問題）

また、当社は、お客様個人を特定できない集計データや統計データを生成するために個人情報を使用する場合があります。

お客様の個人情報は、次の組織に開示される場合があります：BRP、BRP認定ディーラー、ディストリビューター、サービスプロバイダー、広告およびマーケティングリサーチパートナー、および認定されたその他の第三者。

当社は、当社がサービスを提供しているまたは合同マーケティング活動において関わりを持っているBRP認定ディーラーやパートナーなど、第三者を含め、さまざまなソースからお客様に関する情報を取得する場合があります。また、お客様がFacebookやTwitterなどのソーシャルメディアプラットフォームで当社とやり取りする際に、それらのプラットフォームからお客様に関する情報を取得する場合があります。

状況によっては、お客様の居住地域外でお客様の個人情報が伝達される場合があります。お客様の個人情報は、当社の保持ポリシーに従って、当社が個人情報を取得した目的に必要な期間に限り保持されます。

お客様のデータプライバシー権（アクセスする権利や訂正する権利など）を行使するには、または、マーケティング、満足度調査、および一般的なデータプライバシーについての質問を目的としたアドレスリストから削除するために同意を撤回するには、BRPのデータ保護担当者にメール（privacyofficer@brp.com）でご連絡いただくか、次の住所宛てに郵送でご連絡ください：
BRP Legal Service, 726 St-Joseph, Valcourt, Quebec, Canada, J0E 2L0

BRPがお客様の個人情報を処理する際は、<https://www.brp.com/en/privacy-policy.html>に記載されている、または下記QRコードから確認できる自社のプライバシーポリシーに従って処理します。



お問い合わせ先

www.brp.com

アジア太平洋

オーストラリア

Level 26
477 Pitt Street
Sydney, NSW 2020

中国

上海市徐汇区衡山路10号6号楼301
Rm 301, Building 6,
No.10 Heng Shan Rd,
Shanghai, China

日本

108-0075東京都港区港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ニュージーランド

Suite 1.6, 2-8 Osborne Street,
Newmarket, Auckland 2013

欧州、中東、アフリカ

ベルギー

Oktrooiplein 1
9000 Gent

チェコ共和国

Stefanikova 43a
Prague 5
150 00

ドイツ

Itterpark 11
40724 Hilden

フィンランド

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

フランス

Arteparc Bâtiment B
Route de la côte d'Azur,
13 590 Meyreuil

ノルウェー

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Salg, marketing, ettermarked

スウェーデン

Spinnvägen 15
903 61 Umeå

Sweden 90821

スイス

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne

中南米

ブラジル

Av. James Clerck Maxwell, 230
Campinas, Sao Paulo
CEP 13069-380

メキシコ

Av. Ferrocarril 202
Parque Industrial Querétaro
Santo Rosa Jauregui, Querétaro
C.P. 76220

北米

カナダ

3200A, rue King Ouest,
Suite 300
Sherbrooke (Québec) J1L 1C9

米国

10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177

住所と所有権の変更


お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。


- 認定Can-Amディーラーに連絡する。
- **北米のみ:** 1 888 272-9222までお電話ください。
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。


例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。


盗難に遭った場合: 車両が盗難にあった場合は、BRPまたは認定Can-Amディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
	Eメールアドレス	

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
	Eメールアドレス	

このページは
意図的に空白です

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
	Eメールアドレス	

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>	
車両識別番号		
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)	
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名	
	番地	町村 アパート
	市/郡	都道府県 郵便番号
	国	電話番号
	Eメールアドレス	

このページは
意図的に空白です

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記： _____

注記: _____

注記： _____

注記: _____

空白ページ

モデル番号 _____

車両

識別番号 (V.I.N.) _____

エンジン

識別番号 (E.I.N.) _____

オーナー: _____

氏名

郵便番号

都道府県

市/郡

町村

番地

アパート

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売時にディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所

⚠ 警告

運転には危険が伴います。
十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、**重傷や死亡事故**につながるおそれがあります。

- **本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。**
- **適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。認定されたトレーニングコースを修了してください。**
- **車両の定員を超えないようにしてください。**
- **1UPモデルでは絶対に同乗者を乗せないでください。同乗者を乗せると制御不能に陥る危険が高くなります。**



- **本車両を舗装面で絶対に運転しないでください。本車両を舗装面で運転すると制御不能に陥る危険が高くなります。**
- **本車両を公道で絶対に運転しないでください。本車両を公道で運転すると、別の車両と衝突する可能性があります。**
- **オペレーターおよび同乗者（MAXモデルの場合）は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、および防護服を必ず着用してください。**
- **薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。それは反応時間を遅らせ、判断力を損ないます。**
- **絶対に速度を出しすぎないでください。地形、視界条件、またはご自分の経験に適合しない過剰な速度で運転すると、制御不能に陥る危険が高くなります。**
- **絶対にウイリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。**

®、TMおよびBRPのロゴはBombardier Recreational Products Inc.またはその関連会社の商標です。

©2023 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

無断複写・転載を禁じます。

www.brp.com

SKI-DOO®

SEA-DOO®

CAN-AM®

LYNX®

ROTAX®

ALUMACRAFT®

MANITOU®

QUINTREX®